

郡山市ふれあい科学館年報

— 令和3年度版 —



開館20周年記念
トークイベント「宇宙への夢を描く」



開館20周年記念
特別企画「メーテルと記念撮影」



スペースパーク企画展
「ふしぎ発見! ピラミッドサイエンス」



スペースパーク企画展
「未来の遊園地 デジタルパークへようこそ!」



スペースパーク企画展
「ロボットフェスティバル」



サイエンスフェスティバル

郡山市ふれあい科学館指定管理者

公益財団法人郡山市文化・学び振興公社

目 次

はじめに		(1) 年報の発行	62
Ⅰ 施設のあらまし		(2) 科学館ニュース「はしのうみ」の発行	62
1 設置目的	1	10 調査・研究	
2 運営方針	2	(1) 天文関連協議会調査	63
3 施設概要	3	(2) 天文学術会議調査	63
4 組織概要	5	(3) 展先協議会等調査	63
5 歴代館長	6	(4) 展示最新情報調査	64
6 沿革	6	11 その他	
Ⅱ 令和3年度事業活動実績		(1) 運営協力	65
1 宇宙劇場運営		(2) ボランティア活動の推進	66
(1) プラネタリウム番組投映	19	Ⅲ 令和3年度広報・営業活動	
(2) 宇宙劇場コンサート	25	1 広報PR活動	
2 展示ゾーン運営		(1) 広報戦略活動	71
(1) 体験型展示物の運転	27	(2) 広報紙の配布	72
(2) 常設展示物の活用	27	2 営業活動	73
(3) 科学普及事業	29	Ⅳ 令和4年度事業活動計画	
3 展望ロビー利活用事業		1 宇宙劇場運営	74
(1) パブリックビューイング	33	2 展示ゾーン運営	79
(2) 展望ロビーパネル展	33	3 展望ロビー利活用事業	81
(3) Nゲージ鉄道ジオラマ	34	4 展示ゾーン利活用事業	82
(4) 展望ロビーイルミネーション	35	5 教育普及活動	85
4 展示ゾーン利活用事業		6 宇宙や科学に関する情報発信事業	89
(1) 企画展	36	7 作品募集	90
(2) パソコン工房の活用	38	8 出版	90
(3) 学校長期休業期間の特別事業	39	9 調査・研究	90
(4) 団体利用向け科学教室	41	10 その他	90
(5) 科学技術へのいざない	42	Ⅴ 令和4年度広報・営業活動	
5 教育普及活動		1 広報PR活動	
(1) 学校向け巡回展	43	(1) 広報戦略活動	94
(2) 講師派遣	43	(2) 広報紙の配布	95
(3) 職場体験としての機会提供	47	2 営業活動	95
(4) クラブ活動	48	Ⅵ 予算・決算	
(5) 講座・講演会	49	1 令和3年度決算	96
(6) 観望会	53	2 令和4年度予算	97
(7) 学習支援	54	Ⅶ 施設利用状況	
6 宇宙や科学に関する情報発信事業		1 月別入館者数	98
(1) 企画パネル展	55	2 施設別入館者数	99
(2) 学術発表	55	3 宇宙劇場区分別入館者数	103
7 開館20周年記念事業		4 展示ゾーン区分別入館者数	104
(1) 開館20周年記念オンライン企画	57	5 平成28年度から令和2年度までの入館者数の変遷	106
(2) 宇宙劇場トークイベント	58	6 令和3年度施設利用状況の結果分析	109
(3) 開館20周年記念特別企画「メーテルと記念撮影」	59	Ⅷ その他	
(4) 開館20周年記念イベント プラネタリウム特別プログラム	59	1 条例・規則	112
8 作品募集	60	2 利用案内	121
9 出版		3 スペースパークボランティアの会会則	122

はじめに

郡山市ふれあい科学館は、平成13年10月1日に開館し、令和3年度は開館20周年を迎えた節目の年でしたが、記念すべきこの年も新型コロナウイルスに翻弄された一年となり、前年度同様様々な感染症対策を実施しながらの施設運営、事業実施となりました。

「開館20周年記念事業」として、10月2日・3日を無料開放し「オープニングセレモニー」をはじめ「プラネタリウム特別投映」、「記念講演」、「ハイスクール科学祭」、「はやぶさ2を支えた福島技術展」、「ロボットダンスショー」等を開催する計画でしたが、7月下旬からの新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、8月23日から9月23日まで「まん延防止等重点措置」が適用され全館臨時休館となったため、感染症拡大防止の観点からやむを得ず記念事業は中止して、通常開館といたしました。そしてそれらの事業の一部は、ウェブサイトからの動画配信へと開催方法を変更しました。

さらには、その他の記念事業につきましては、9月～10月にはプラネタリウム一般番組「開館20周年記念 21世紀の宇宙 - 驚きと発見の20年 -」10月～11月には松本零士先生のドーム映像番組「銀河鉄道999 星空はタイムマシーン」、11月にはメカデザイナーとして「銀河鉄道999」など、数多くの松本零士先生の作品に携わった板橋克己先生をお迎えしてのトークイベント「宇宙への夢を描く」、23階ホワイエにて「メーテルと記念撮影」、3月には「ロボットフェスティバル」を拡充して開催しました。

その他、3年度の主な事業であります。宇宙劇場では夏には「アニマル・ハンター ～どうぶつたちのオモシロ行動学～」、冬には「星のまもり鳥～まんてんぼし村とはい色のきり～」、「ヒーリングアース」、展示ゾーンでは、夏のスペースパーク企画展は「ふしぎ発見！ピラミッドサイエンス」、冬のスペースパーク企画展は「未来の遊園地 デジタルパークへようこそ！」を開催しました。

10月から12月にかけて、感染者数も落ち着いておりましたが、年明けから再び新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、1月27日から3月6日まで「まん延防止等重点措置」が適用され2度目の全館臨時休館を余儀なくされました。来館者数も例年並みに回復傾向ではありましたが、非常に大きな痛手となりましたが、今後も感染症対策を継続しながら、安心してご来館いただける施設運営、事業実施を目指してまいります。

また、この年当科学館のキャラクター「エンゼルナ」・「ミーニャン」の制作者であり、平成13年10月1日の開館以来名誉館長をお務めいただきました漫画家の松本零士先生が6月末をもって退任されました。先生にはイベントに数多くご出席いただき、来館された皆さんとの交流や、先生の作品を通した「宇宙への夢を持てる科学館づくり」などにご尽力いただいたことに対して厚く御礼申し上げます。

コロナ禍で移動の制限があることから、スタートした「おうちでスペパ」も2年目を迎えました。YouTube、Instagram、Facebookなどで天文や科学などの情報を発信し当科学館の魅力をお伝えしていきたいと思っております。そして、今後とも、皆様方の温かいご支援とご意見等をいただきながら、常に進化続ける「グローイングミュージアム」、SDGs「質の高い教育をみんなに」の視点に立って鋭意努力してまいります。

より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

郡山市ふれあい科学館
館長 佐藤 宏

I 施設のあらし

1 設置目的

郡山市ふれあい科学館スペースパークは、宇宙の時代といわれている 21 世紀において、人類が羽ばたこうとしている広大な宇宙やそれを支える様々な科学などに触れ、子どもから大人までの幅広い年代の皆さんに、宇宙や科学に対しての夢や希望を育むとともに、多くの皆さんがこの場に集い、様々なふれあいを通じて、市民文化が向上することを目指しており、具体的には、以下の目的で設置した施設となっています。

(1) 理科離れ、科学技術離れへの対応

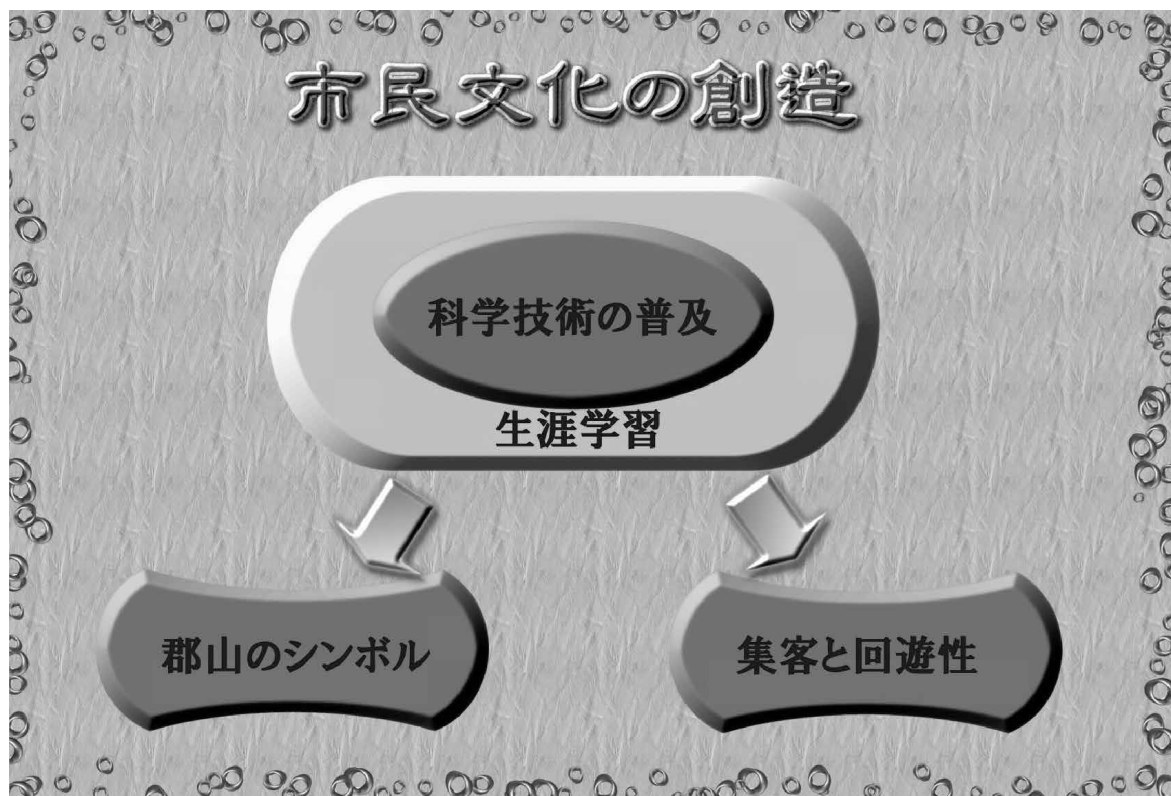
近年の子どもたちの理科離れや科学技術離れに歯止めをかける県内初の本格的な理工系科学館を建設し、楽しみながら学べるような施設とする。

(2) 市民の生涯学習意欲への対応

科学技術の普及を通じ、多世代の市民が利用できる生涯学習施設として活用する。

(3) 都心部の回遊性と集客

21 世紀の郡山を象徴する高層ビル“ビッグアイ”のシンボル施設として設置し、回遊性と集客力を向上することにより、市街地の活性化を図る。



2 運営方針

基本コンセプト

宇宙の中のわたしたち

わたしたちの存在する宇宙とわたしたちの関わり

基本テーマ

地球人から宇宙人へ

地球人も宇宙に存在する宇宙人の一人であることをさまざまな宇宙的体験で認識し、宇宙の視点から地球人であることを再認識

上記のコンセプトやテーマのほか、施設設置の目的等を達成し、常に成長する科学館“グローピング・ミュージアム”を実現するため、以下のポイントを重視した施設運営を図っています。

ポイント1 科学する心を喚起する科学館

科学に関する一通りの知識を理解させる情報発信を重視した「完結型の科学館」から、能動的・主体的な活動を促し、無関心層にもアピールできる参加者の視点を重視した「科学する心を喚起する科学館」へと成長することを目指しています。

ポイント2 コミュニケーション重視の科学館

体験性やインタラクティブ性を重視し、機械的に情報を発信する「展示情報重視の科学館」から、人と人とのコミュニケーションを通じた知的体験により情報を発信する「コミュニケーション重視の科学館」へと成長することを目指しています。

ポイント3 ボランティア参加型科学館

科学館が一方向的に運営体制や案内、安全管理等を行う「サービス型の科学館」から、経験や知識の有効活用、市民交流の活性化等の視点を取り入れた「ボランティア参加型の科学館」となることを目指しています。

また、来館者や地域と科学館が有機的に結びつき、レベルを向上することができるよう、以下の視点を重視した事業展開を行っています。



◎無関心層◎

展望ロビーの一般利用者のほか、郡山駅や商業施設の利用者など、特に宇宙や科学に興味のない無関心層に対しては、遊び感覚で宇宙や科学を楽しむことができ、興味を喚起させる事業展開を図ります。

◎関心層◎

子ども連れの家族や小中学校等の団体など、宇宙や科学というテーマに興味をもって来館する関心層に対しては、テーマ性のある番組や参加体験型の展示のほか、講演

会やサイエンスショー・ワークショップなどを通じて、関心の度合いを高める事業展開を図ります。

◎探求層◎

宇宙や科学に興味があり、自らその先にあるものを追求する探求層に対しては、目的に応じてデータ化された情報の提供や専門機関等からの情報支援等により、様々な知的欲求を満足できる事業展開を図ります。

3 施設概要



所在地：福島県郡山市駅前二丁目 11 番 1 号
(ビッグアイ 20～24 階)

構 造：地下 1 階、地上 24 階、鉄骨造
※ビル全体の構造（地上高 133 m）

面 積：4,337.37㎡（内専用部分 3,459㎡）

郡山市ふれあい科学館 フロア案内

宇宙劇場－23・24F－

劇場、ホワイエ

○規模

直径 23 m（傾斜型）、座席数 238 席

○機器

スーパーヘリオス、全天ビデオシステムほか

○展示品

アースタッチング

展望ロビー－22F－

メインエントランス

○展示品

Nゲージ鉄道ジオラマ（運転シミュレーター）、シンボルオブジェ「プライマル」、マップオンプラネット、ドリームアートロケットプロジェクトタペストリーほか

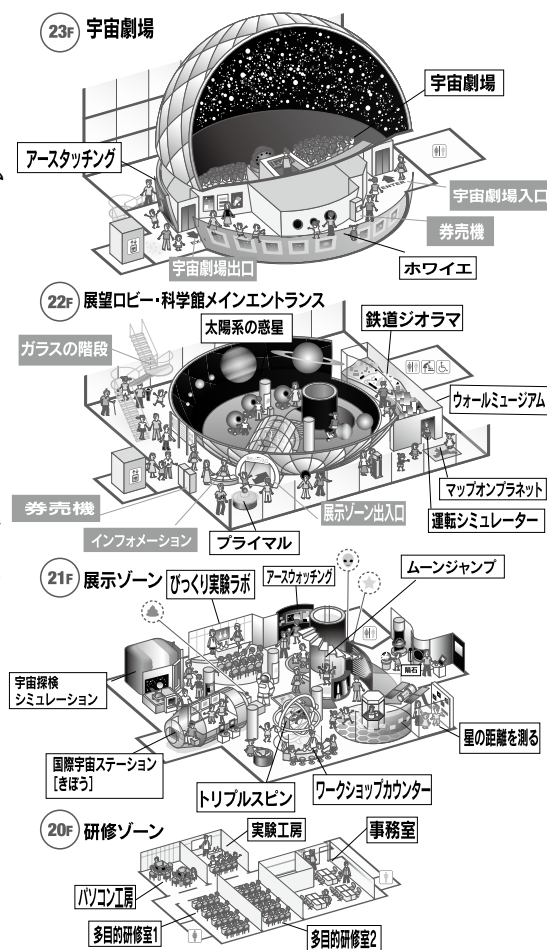
展示ゾーン－21F－

○展示品

－プロローグ－

プロローグ「惑星」、コペルニクスを考え

スペースパークフロアマップ



- た宇宙、ハーシェルの考えた宇宙、ハッブルの考えた宇宙ほか
- －スペースフロンティア－
- 国際宇宙ステーション「きぼう」、宇宙探検シミュレーション、ムーンジャンプ、トリプルスピンほか
- －クエスト・オブ・ザ・ユニバース－
- すばる望遠鏡模型&主鏡、宇宙のポートレート、進化する宇宙・ふくらむ宇宙、プラズマボール、隕石、太陽系シミュレーターほか
- －アースウォッチング－
- アースウォッチングほか

研修ゾーン－ 20F －

多目的研修室、パソコン工房、実験工房、ボランティア室、事務室ほか

総事業費

4,331,480,716 円

－年度別内訳－

H11： 542,395,000円

H12： 2,594,887,000円

H13： 1,194,198,716円

－内容別内訳－

建設費： 2,810,762,998円

床取得費： 1,509,000,000円

事務費： 11,717,718円

－財源別内訳－

地域総合整備事業債： 911,300,000円

基金繰入金（寄附金）： 2,810,762,998円（寄附金総額： 3,023,812,680円）

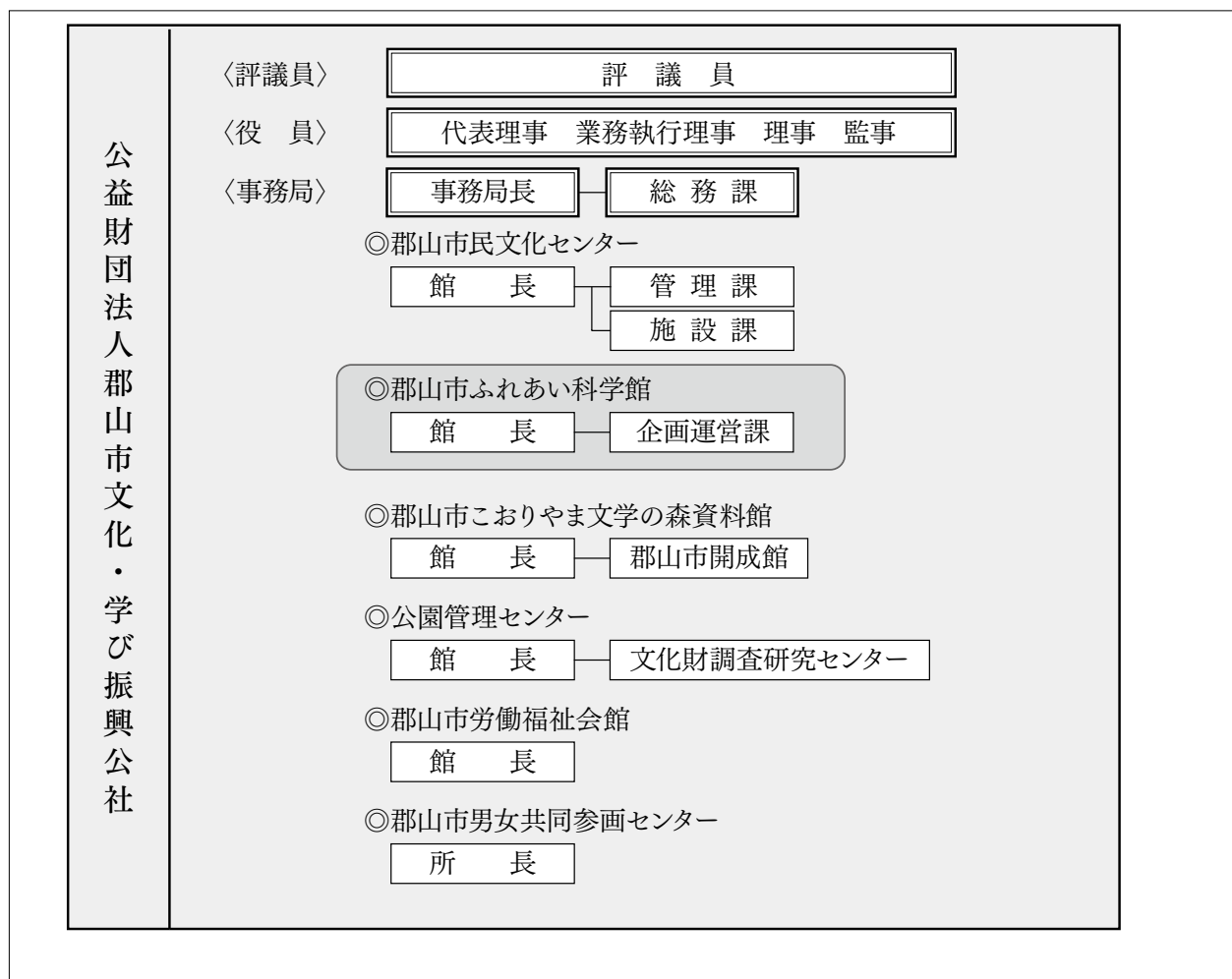
＊寄附金残額（213,049,682円）は展示更新基金として積立

雇用保険料個人負担分： 14,583円

一般財源： 609,403,135円

4 組織概要

(1) 組織図<令和3年度>



(2) 職員配置〈令和4年3月31日現在〉

館長（1）

－企画運営課（30）－

課長（嘱）（1）、主任主査（1）、主任（5）、主査（2）、主事（2）、非常勤嘱託職員（1）臨時職員（18）

合計 31 人

5 歴代館長

初代館長	永戸法夫	平成13年10月1日～平成14年3月31日
第2代館長	大森高志	平成14年4月1日～平成16年3月31日
第3代館長	箭内政勝	平成16年4月1日～平成19年3月31日
第4代館長	佐藤秀一	平成19年4月1日～平成22年3月31日
第5代館長	遠藤育夫	平成22年4月1日～平成25年3月31日
第6代館長	伊東利幸	平成25年4月1日～平成28年3月31日
第7代館長	市川正道	平成28年4月1日～平成29年3月31日
第8代館長	佐久間政彦	平成29年4月1日～平成30年3月31日
第9代館長	岡崎強	平成30年4月1日～令和3年3月31日
第10代館長	佐藤宏	令和3年4月1日～

6 沿革

▶平成10年度

<平成10年4月>

○郡山駅西口再開発ビルの建設計画発表→（仮称）ふれあい科学館建設構想発表

※郡山市教育委員会青少年課が所管

<平成10年10月～平成11年1月>

○基本計画策定

▶平成11年度

<平成11年5月～11月>

○基本実施設計策定

<平成12年3月>

○財団法人郡山市文化施設管理公社への管理運営委託協定書締結

▶平成12年度

<平成12年4月>

○郡山市教育委員会内に科学館準備室設置

<平成12年9月>

○科学館キャラクター決定（制作者：漫画家 松本零士氏）

<平成12年12月>

○科学館愛称決定（愛称：スペースパーク）※応募総数：2,849点

<平成13年3月>

○郡山市ふれあい科学館条例制定

▶平成13年度

<平成13年4月>

○ビッグアイに科学館準備室移転

<平成13年7月>

○シンボルマーク及びロゴタイプ決定

<平成 13 年 8 月>

○22階展望ロビーをプレオープン

<平成 13 年 10 月>

○郡山市ふれあい科学館開館

※郡山市ふれあい科学館オープン式を開催、名誉館長を松本零士氏に委嘱

○郡山市ふれあい科学館開館記念“宇宙へワープ”開催（会場：郡山市民文化センター）

※日本科学未来館館長 毛利衛氏、松本零士氏、国立天文台助教授広報普及室長 渡部潤一氏ほか出席

<平成 13 年 11 月>

○郡山市ふれあい科学館開館記念“第1回星の講演会「すばる望遠鏡が見た新たな宇宙」”開催

<平成 13 年 12 月>

○郡山市ふれあい科学館開館記念“サイエンスショー”開催

<平成 14 年 1 月>

○ギネス認定（「地上から世界で一番高いところにあるプラネタリウム」）

<平成 14 年 2 月>

○郡山市ふれあい科学館開館記念“エネルギー体験館”開催（会場：ビッグパレットふくしま）

○有料ゾーン入館者が10万人突破

<平成 14 年 3 月>

○展望ロビー入館者が郡山市人口（336,943人）突破

○ロボット犬アイボ導入

▶平成 14 年度

<平成 14 年 6 月>

○鉄道ジオラマボランティア33人活動開始

<平成 14 年 7 月>

○開館1周年記念“松本零士講演会”開催

<平成 14 年 8 月>

○展望ロビー入館者が50万人突破

<平成 14 年 10 月>

○常陸宮両殿下御視察

○開館1周年記念事業“鉄道フェスティバル”開催

<平成 14 年 12 月>

○開館1周年記念“サイエンスショー”開催

<平成 15 年 3 月>

○展示ゾーン新展示物設置

H2 ロケットフェアリング（協力：宇宙開発事業団）

船外活動装置装備宇宙服レプリカ（協力：日本宇宙少年団）

▶平成 15 年度

＜平成 15 年 4 月＞

○特別展“毛利宇宙飛行士の部屋～ユニバソロジの世界～”開催

＜平成 15 年 6 月＞

○宇宙飛行士で日本宇宙少年団団長の毛利衛氏がこおりやま分団の激励のため来館

＜平成 15 年 7 月＞

○“松本零士のスペースアニメ展”開催

○“松本零士のふれあいトーク”開催

○スペースパークボランティア活動開始

＜平成 16 年 2 月＞

○スペースパークボランティアの会設立

＜平成 16 年 3 月＞

○展望ロビー入館者が100万人突破

▶平成 16 年度

＜平成 16 年 5 月＞

○リニア彗星、ニート彗星の接近に合わせ彗星大観望会を開催

＜平成 16 年 6 月＞

○有料ゾーン入館者が50万人突破

＜平成 16 年 9 月＞

○高円宮妃殿下御視察

＜平成 16 年 10 月＞

○“郡山市制施行80周年・合併40年記念 郡山市ふれあい科学館開館 3 周年記念
小柴昌俊講演会「心に夢のタマゴを持とう」”開催

＜平成 16 年 11 月＞

○展示ゾーン新展示物設置 パラボラアンテナ（協力：国立天文台野辺山電波観測所）

○天文教育普及研究会・東北支部会開催

＜平成 17 年 2 月＞

○県内 5 館連携事業“100年前の実験に挑戦!!—石井研堂とその時代—”開催（福島県立博物館、福島県立図書館、磐梯山噴火記念館、郡山市立美術館、郡山市ふれあい科学館）

○郡山市制施行80周年・合併40年記念事業・郡山市ふれあい科学館開館 3 周年記念事業“第10回星の講演会「神田 紅 宇宙を語る」”開催

▶平成 17 年度

＜平成 17 年 9 月＞

○アインシュタイン特別企画 ～不思議な世界 紹介～開催（9・10月）

＜平成 18 年 3 月＞

○展示ゾーンに「びっくり実験ラボ」オープン

オープニングイベント“杉木優子びっくりサイエンスショー”開催

▶平成 18 年度

<平成 18 年 9 月>

○郡山市ふれあい科学館開館 5 周年記念“全館企画「宇宙飛行士スペシャル」”開催
(9・10月)

<平成 18 年 10 月>

○郡山市ふれあい科学館開館 5 周年記念事業“「飛び出せ！郡山から未来へ！～宇宙
開拓の未来～」”開催

○郡山市ふれあい科学館開館 5 周年記念投映“「銀河鉄道の星物語 宮沢賢治が見
た風景～小岩井農場から見る銀河鉄道の星座たち～」”開催

○郡山市ふれあい科学館開館 5 周年記念投映“「螺旋の宇宙誌」”開催

○国際宇宙ステーション (ISS) の日本上空通過に合わせ観望会を開催

<平成 18 年 11 月>

○郡山市ふれあい科学館開館 5 周年記念投映“「ふくしまから宇宙へ」”開催

<平成 19 年 3 月>

○“ロボットで遊ボット！特別企画「ASIMOが郡山にやってくる！」”開催

▶平成 19 年度

<平成 19 年 7 月>

○“夏休み特別番組「銀河鉄道999 ～星空はタイムマシーン～ 太陽系・恐竜絶滅
編」”投映開始

<平成 19 年 10 月>

○「第 5 回郡山地域ホームページコンテスト 2007」教育・公的機関部門 優秀賞受
賞

<平成 19 年 12 月>

○“スペースパーク企画展「ダンボールで遊ぼう～迷路でたんけん♪～」”開催

○展望ロビー入館者が 200 万人突破

<平成 20 年 1 月>

○有料ゾーン入館者が 100 万人突破

▶平成 20 年度

<平成 20 年 6 月>

○“「JAXA 太陽ふしぎ展」”開催

○“特別展「星出さん宇宙へ行く！～星出彰彦宇宙飛行士企画展～」”開催

<平成 20 年 7 月>

○スペースパークの新しい仲間アザラシロボットパロ命名「ミライ」

○“夏休み特別番組「ダイナソー DX パタゴニア・巨大恐竜の謎」”投映開始

<平成 20 年 12 月>

○“全館企画「月の科学」オープニングイベント「月の石がやってきた！」”開催

○“冬休み特別番組「宇宙エレベーター～科学者の夢見る未来～」”投映開始

▶平成 21 年度

<平成 21 年 4 月>

- 世界天文年2009 世界主要企画「世界一周観望会in郡山」開催

<平成 21 年 7 月>

- “夏休み特別番組「3Dワンダフルプラネット」” 投映開始
- “世界天文年2009「部分日食観望会」” 開催

<平成 21 年 11 月>

- “全館企画「世界天文年2009～ガリレオの世界を体験しよう～」” 開催

<平成 21 年 12 月>

- “スペースパーク企画展「ようこそ！ダーウィンの部屋へ」” 開催
- “冬休み特別番組「アースストーリー～恐竜の進化とヒトの未来～」” 投映開始
- “世界天文年2009 グランドフィナーレ in 郡山” 開催

▶平成 22 年度

<平成 22 年 7 月>

- “宇宙劇場 夏休み特別番組「プレヒストリック・パーク」” 投映開始

<平成 22 年 11 月>

- “全館企画「ようこそ！宇宙ステーションへ」” 開催

<平成 22 年 12 月>

- “スペースパーク企画展「レゴ・エデュケーション展 ～みて・さわって・うごかして～」 開催
- “宇宙劇場 冬休み特別番組「サンタVSスノーマン」” 投映開始

<平成 23 年 3 月>

- 「東日本大震災」により 3 月11日より休館

▶平成 23 年度

<平成 23 年 4 月>

- 「東日本大震災」により 4 月28日まで休館、4 月29日より開館
- “スペースパーク企画展「～視覚の科学～トリックアート展」” 開催

<平成 23 年 7 月>

- “宇宙劇場 夏休み特別番組「Bugs! ～昆虫たちの不思議な物語～」” 投映開始
- “はやぶさがやってきた～はやぶさ帰還カプセル特別展示～」 開催

<平成 23 年 8 月>

- “「『宙（そら）のまにまに』の世界～作品原画展&柏原麻実先生講演会～」” 開催
- 有料ゾーン入館者が150万人突破

<平成 23 年 10 月>

- 郡山市ふれあい科学館開館10周年記念イベント開催
 - ・開館10周年記念セレモニー
 - ・記念講演 渡部潤一氏「宇宙この10年とその未来」
 - ・科学の祭典 in こおりやま
 - ・鉄道フェスティバル「きかんしゃトーマスとなかまたち」

<平成 23 年 12 月>

- “郡山市ふれあい科学館開館10周年記念「ドラえものの科学みらい展」” 開催
- “宇宙劇場 冬休み特別番組「シーレックス」” 投映開始

<平成 24 年 1 月>

- 「宇宙劇場の改修」により 1 月10日より休館

<平成 24 年 2 月>

- 展望ロビー入館者が300万人突破

▶平成 24 年度

<平成 24 年 4 月>

- “宇宙劇場リニューアルオープン記念セレモニー” を開催

<平成 24 年 5 月>

- 郡山駅西口駅前広場及びペDESTリアンデッキを会場に、“金環日食観望会” を開催

<平成 24 年 6 月>

- 郡山駅西口駅前広場を会場に、“金星太陽面通過観望会” を開催

<平成 24 年 7 月>

- “夏休みドーム映像番組「月の魔法とサンゴの海」” を 7 月14日から16日、7 月21日から 8 月26日まで投映

<平成 24 年 12 月>

- “スペースパーク企画展「からくり人形の世界展」” を12月 1 日から 1 月14日まで開催
- “冬のドーム映像番組「いきものがたり」” を12月 1 日から 2 月24日までロングラン投映

<平成 25 年 1 月>

- 全国のプラネタリウム22施設の関係者とプラネタリウムメーカー技術者の合わせて55人が参加して“ハイブリッドプラネタリウム研修会” を開催

<平成 25 年 2 月>

- “イブニングアワー「アラスカからオーロラ生中継！」” を夜間投映
- 独立行政法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）と共催し、“星出宇宙飛行士ミッション報告会～こおりやまに宇宙飛行士がやってくる！～” を郡山市民文化センター中ホールで開催

▶平成 25 年度

<平成 25 年 5 月>

- “パークス天文台遠隔操作による電波観測実習” を開催

<平成 25 年 7 月>

- “夏休みドーム映像番組「宇宙兄弟 一点のひかり」” を 7 月20日から 8 月25日まで投映

<平成 25 年 11 月>

- “全館企画「アイソンスペシャル！」” を11月 9 日から12月 8 日まで開催

- “アイソン彗星観望会” を郡山市総合地方卸売市場駐車場で開催

<平成 25 年 12 月>

- “冬のドーム映像番組「恐竜探検隊 パンゲアのひみつ」” を12月1日から1月13日まで放映
- “スペースパーク企画展「エレメントハンター」～元素の謎を探れ！～” を12月7日から1月13日まで開催

<平成 26 年 1 月>

- “天文教育普及研究会東北支部研究会” を開催

<平成 26 年 3 月>

- “スペースパークボランティアの会設立10周年記念式典・記念講演会・記念祝賀会” を開催

▶平成 26 年度

<平成 26 年 7 月>

- “夏休みドーム映像番組「大恐竜時代 恐竜パッチの大冒険」特別試写会” を開催
- “夏休みドーム映像番組「大恐竜時代 恐竜パッチの大冒険」” を7月19日から8月24日まで放映

<平成 26 年 9 月>

- “郡山市制施行90周年・合併50年記念 ホワイエ企画展「郡山から見上げた星空」写真展” を9月2日から10月31日まで開催
- “郡山市制施行90周年・合併50年記念 第5回国際科学映像祭 優秀作品上映会” を9月27日・28日に開催
- “郡山市制施行90周年・合併50年記念 ドーム映像番組「銀河鉄道999 赤い星 ベテルギウス いのちの輝き」特別試写会” を開催

<平成 26 年 10 月>

- “郡山市制施行90周年・合併50年記念 ドーム映像番組「銀河鉄道999 赤い星 ベテルギウス いのちの輝き」” を10月4日から26日まで放映
- “皆既月食観望会” を「ミュージカルがくと館」と「開成山公園自由広場」で開催
- “郡山市制施行90周年・合併50年記念「鉄道の日」鉄道フェスティバル” を開催

<平成 26 年 11 月>

- “郡山市制施行90周年・合併50年記念 第26回星の講演会「ファンタジック・オーロラ in 郡山」” を開催
- JAXAによる惑星探査機「はやぶさ2」が平成26年12月に打ち上げられるのに合わせ、はやぶさ2について紹介する企画展“飛び立て！はやぶさ2”を11月26日から1月12日まで展示ゾーンエレベーターホールで開催

<平成 26 年 12 月>

- “郡山市制施行90周年・合併50年記念 スペースパーク企画展「見て聞いて、さわって感じよう！～感覚体感フィールド～」を12月6日から1月12日まで開催

▶平成 27 年度

<平成 27 年 4 月>

- “皆既月食観望会”を「ミューカルがくと館」と「開成山公園自由広場」で開催
- 有料ゾーン入館者が200万人突破

<平成 27 年 7 月>

- “夏休みドーム映像番組「ガラパゴス ～地上で唯一の楽園～」特別試写会”を開催
- “夏休みドーム映像番組「ガラパゴス ～地上で唯一の楽園～」”を7月18日から8月24日まで投映

<平成 27 年 9 月>

- 第5回国際科学映像祭ドームフェスタにおいて、人気投票上位でクオリティの高い科学映像作品の投映を行う、「第6回国際科学映像祭ドームフェスタ プレイベント」を開催
- 第6回国際科学映像祭実行委員会（事務局：国立天文台天文情報センター内）などとの共催で、国内外からの最新の科学映像の上映のほか、海外からの科学者の招待講演などを行う「第6回国際科学映像祭ドームフェスタ」を9月23日から26日に開催
- 第6回国際科学映像祭ドームフェスタにおいて人気投票1位となったクオリティの高い科学映像作品の投映を行う、「第6回国際科学映像祭ドームフェスタ アフターイベント」を開催

<平成 27 年 10 月>

- “「鉄道の日」鉄道フェスティバル”を開催

<平成 27 年 11 月>

- 名古屋市科学館が主催し、ブラザー工業株式会社の協力のもと全国7カ所の科学館と共催して、国際宇宙ステーションに滞在中の油井亀美也宇宙飛行士とのリアルタイム交信を行うイベント「ブラザーアーストーク ～JAXA 油井宇宙飛行士とリアルタイムで交信～」を開催

<平成 27 年 12 月>

- スペースパーク企画展「錯覚美術館」を12月5日から1月11日まで開催
- “冬のドーム映像番組「ポラリス-氷のナゾに挑むペンギンとシロクマの宇宙大作戦！-」”を12月5日から1月11日まで投映

<平成 28 年 3 月>

- “春のドーム映像番組「ポラリス-氷のナゾに挑むペンギンとシロクマの宇宙大作戦！-」”を3月5日から31日まで投映

▶平成 28 年度

<平成 28 年 4 月>

- “春のドーム映像番組「ポラリス -氷のナゾに挑むペンギンとシロクマの宇宙大作戦！」”を4月1日から5日まで投映

<平成 28 年 7 月>

- “夏休みドーム映像番組「ウォーキングwithダイナソー 太古の地球へ」特別試写会”を開催
- “夏休みドーム映像番組「ウォーキングwithダイナソー 太古の地球へ」”を7月16日から8月24日まで投映

<平成 28 年 8 月>

- 展望ロビー入館者が400万人突破

<平成 28 年 10 月>

- 郡山市ふれあい科学館開館15周年記念イベント開催
 - ・開館15周年記念式典
 - ・記念講演 渡部潤一氏（国立天文台副台長）
 - ・記念コンサート 辻村結實子氏（シンガーソングライター）
 - ・ハイスクール科学祭
 - ・トリックアート展
- 開館15周年記念「鉄道の日鉄道フェスティバル～きかんしゃトーマスとなかまたち」を開催

<平成 28 年 12 月>

- 開館15周年記念スペースパーク企画展「プラレールフェスティバル」を12月3日から1月9日まで開催
- “冬のドーム映像番組「ナットのスペースアドベンチャー」”を12月3日から1月9日まで投映

<平成 29 年 3 月>

- 春のドーム映像番組「くまのがっこう ジャッキーのおほしさま」、「Planetarian ～ちいさなほしのゆめ～ プラネタリウム特別版」を3月4日から31日まで投映

▶平成 29 年度

<平成 29 年 4 月>

- “春のドーム映像番組「くまのがっこう ジャッキーのおほしさま」「planetarian～ちいさなほしのゆめ～プラネタリウム特別編」”を4月1日から5日まで投映

<平成 29 年 7 月>

- “夏休みドーム映像番組「ティラノサウルス 最強恐竜 進化の謎」特別試写会”を開催
- “夏休みドーム映像番組「ティラノサウルス 最強恐竜 進化の謎」”を7月14日から8月24日まで投映
- スペースパーク企画展「3Dゴーストハウスの科学」を7月15日から8月24日まで開催

<平成 29 年 10 月>

- “「鉄道の日」鉄道フェスティバル”を開催
- “春のドーム映像番組「くまのがっこう ジャッキーのおほしさま」”を10月7

日から9日までアンコール投映

<平成29年11月>

- “春のドーム映像番組「planetarian～ちいさなほしのゆめ～プラネタリウム特別編」”を11月1日から30日までアンコール投映

<平成29年12月>

- スペースパーク企画展「びっくり!鏡のふしぎな世界 鏡の魔法展」を12月2日から1月8日まで開催
- “冬のドーム映像番組「ノーマン・ザ・スノーマン～北の国のオーロラ～」”を12月2日から1月8日まで投映

<平成30年3月>

- 春のドーム映像番組「グレーの子パンダ 小さなグレートの成長日記」を3月3日から31日まで投映

▶平成30年度

<平成30年4月>

- 第9代館長 岡崎強就任
- 春のドーム映像番組「グレーの子パンダ 小さなグレートの成長日記」を4月1日から5日まで投映

<平成30年7月>

- “夏休みドーム映像番組「ジュラシックヒーローズ 星空の警備隊」特別試写会”を開催
- “夏休みドーム映像番組「ジュラシックヒーローズ 星空の警備隊」”を7月14日から8月26日まで投映
- スペースパーク企画展「犯人はだれだ! 科学捜査にチャレンジ」を7月14日から8月26日まで開催

<平成30年8月>

- 有料ゾーン入館者が250万人突破

<平成30年9月>

- 3D天文シミュレーション「Mitaka 3D」導入
- 科学館専用車に松本零士名誉館長原作の「銀河鉄道999」をデザインしたラッピングカー導入

<平成30年10月>

- “秋のドーム映像番組「星の旅 ―世界編―」”を10月6日から12月2日まで投映
- “「鉄道の日」鉄道フェスティバル”を10月6日から8日まで開催
- 「2018全国少年少女発明クラブ創作展」が、10月13日・14日に「ビッグパレットふくしま」を会場に開催され、運営協力している郡山市少年発明クラブからも5作品を出展した。13日には当クラブの活動の様子を公益財団法人発明協会の野間口会長以下役員の方々が視察した。

<平成30年12月>

○スペースパーク企画展「きかんしゃトーマスとなかまたち」を12月8日から1月7日まで開催

○“冬のドーム映像番組「ポラリス2 ルシアと流れ星の秘密」”を12月8日から1月7日まで投映

<平成31年3月>

○春のドーム映像番組「星の旅 ―世界編―」を3月1日から31日までアンコール投映

▶平成31年度・令和元年度

<平成31年4月>

○春のドーム映像番組「星の旅 ―世界編―」を4月1日から7日までアンコール投映

○スペースパーク企画展「フォトラボ ―映える写真はいいね―」を4月27日から5月6日まで開催

<令和元年7月>

○“夏休みドーム映像番組「オーシャン ～青い海の仲間たち～」特別試写会”を開催

○“夏休みドーム映像番組「オーシャン ～青い海の仲間たち～」”を7月13日から8月25日まで投映

○スペースパーク企画展「恐怖の謎に迫る ―THE ホラーハウス―」を7月13日から8月25日まで開催

<令和元年10月>

○“「鉄道の日」鉄道フェスティバル”を10月12日から14日まで開催

<令和元年12月>

○スペースパーク企画展「昭和レトロ展 ―親子であそぼう！昭和ワールド―」を12月7日から1月7日まで開催

○“冬のドーム映像番組「ムーミン谷のオーロラ」”を12月7日から1月7日まで投映

<令和2年2月>

○「新型コロナウイルス感染症拡大防止」のため宇宙劇場が2月26日から休館

○「新型コロナウイルス感染症拡大防止」のため展望ロビーが2月29日から休館

▶令和2年度

<令和2年4月>

○「新型コロナウイルス感染症拡大防止」のため展示ゾーンが4月18日から休館（全館休館）

<令和2年5月>

○「新型コロナウイルス感染症拡大防止」のため5月18日まで全館休館、5月19日から全館開館

<令和2年7月>

○“ドーム映像番組「新・恐竜大進撃」”を7月18日から9月27日まで投映

○電車のおもちゃで遊ぼう！、企画パネル展「星の衝突で、何ができた？ ー月のうさぎと私たちの地球ー」を7月18日から8月23日まで開催

<令和2年9月>

○スペースパーク企画展「ようこそ、ふわふわスポーツパークへ！」を9月19日から22日まで開催

<令和2年10月>

○“ドーム映像番組「ムーミン谷のオーロラ」”を10月3日から11月29日までアンコール投映

○“「鉄道の日」鉄道フェスティバル”を10月10日・11日に開催

<令和2年11月>

○福島民報社との共同主催事業“はやぶさ2パネル展「小惑星探査の旅」”11月20日から12月6日まで開催

<令和2年12月>

○スペースパーク企画展「ワールドオブサイエンス&サウンド」を12月5日から1月11日まで開催

○“ドーム映像番組「ノーマン・ザ・スノーマン～流れ星のふる夜に～」”を12月5日から1月31日まで投映

<令和3年2月>

○福島県沖地震による安全確認のため、2月14日から17日まで休館

▶令和3年度

<令和3年4月>

○第10代館長 佐藤宏就任

<令和3年6月>

○松本零士先生、郡山市ふれあい科学館名誉館長退任

<令和3年7月>

○“夏休みドーム映像番組「アニマルハンター ～どうぶつたちのオモシロ行動学～」”を7月17日から8月22日まで投映

○スペースパーク企画展「ふしぎ発見！ピラミッドサイエンス」を7月17日から8月22日まで開催

<令和3年8月>

○「新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置」の適用のため8月23日から全館休館

<令和3年9月>

○「新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置」が解除され9月24日から全館開館

<令和3年10月>

○郡山市ふれあい科学館開館20周年記念イベントが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止となり、開館20周年記念オンライン企画を10月2日から公式YouTubeチャンネルにて配信

- ・郡山市長あいさつ・20年のあゆみ
- ・20周年記念スペシャル版 スペパ工作
- ・スペースパーク宇宙劇場の舞台裏
- ・ロボットゆうえんちによるロボットショー
- ・鉄道ジオラマショー
- ・はやぶさ2を支えた福島の技術！

- “開館20周年記念ドーム映像番組「銀河鉄道999 星空はタイムマシーン」”を10月2日から11月28日まで投映
- “「鉄道の日」鉄道フェスティバル”が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止

<令和3年11月>

- 開館20周年記念 宇宙劇場トークイベント「宇宙への夢を描く」メカデザイナー板橋克己さんをゲストに迎え開催
- 開館20周年記念特別企画「メーテルと記念撮影！」を開催

<令和3年12月>

- スペースパーク企画展「未来の遊園地 デジタルパークへようこそ！」を12月4日から1月10日まで開催
- “ドーム映像番組「星のまもり鳥～まんてんぼし村とはい色のきり～」、「ヒーリングアース」”を12月4日から1月10日まで投映

<令和4年1月>

- 展望ロビー入館者が500万人突破
- 「新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置」の適用のため1月27日から全館休館

<令和4年3月>

- 「新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置」が解除され3月7日から展望ロビー、8日から宇宙劇場、展示ゾーンが開館
- 福島県沖地震による安全確認のため、3月17日休館

Ⅱ 令和3年度事業活動実績

1 宇宙劇場運営

(1) プラネタリウム番組投映

様々な年代や利用目的に合ったプラネタリウム番組を制作するとともに各種映像等の収集を行い、宇宙劇場において、天文や宇宙などに関する番組の投映を実施した。

<宇宙劇場の番組投映開始時刻> ※投映時間は約 45 分間

曜日／回	第1回目	第2回目	第3回目	第4回目	第5回目	第6回目
平 日	10 時 15 分	11 時 30 分	14 時	15 時 30 分	19 時 (※ 1)	
土曜・日曜・祝日	11 時	12 時 30 分	14 時	15 時 30 分	17 時	
夏休み期間等 (※ 2)	10 時 30 分	11 時 40 分	13 時	14 時 20 分	15 時 40 分	17 時

※ 1 金曜日のみ投映

※ 2 夏休み期間、10～11月の土曜・日曜・祝日、12/4～1/10の土曜・日曜・祝日・冬休み期間

一般番組

子どもから大人までの幅広い年代層の方が、季節の星空を楽しみ、天文や宇宙開発、地球環境などの様々な事柄を知ることのできるプラネタリウム番組を制作し、基本的に2ヶ月ごとに更新して投映した。

投映時間：平日の第3回目及び土曜・日曜・祝日の第2・4回目、団体利用がない平日の第1・2回目、夏休み期間の第4・6回目、10～11月の土曜・日曜・祝日、12/4～1/10の・土曜・日曜・祝日・冬休み期間の第2・5回目

番組タイトル	投映期間	投映回数	観覧者数
星空 100 万年の旅	令和 3 年 4 月 1 日 (木)～30 日 (金)	65 回	499 人
宇宙を旅する ー宇宙開発新時代ー	令和 3 年 5 月 1 日 (土)～6 月 30 日 (水)	108 回	1,685 人
惑星ツアー	令和 3 年 7 月 1 日 (木)～8 月 22 日 (日) ※まん延防止等重点措置の適用により休館のため8月23日(月)～31日(火)投映休止	96 回	2,279 人
21 世紀の宇宙 ー驚きと発見の 20 年ー	令和 3 年 9 月 24 日 (金)～10 月 31 日 (日) ※まん延防止等重点措置の適用により休館のため9月1日(水)～23日(木)投映休止	60 回	940 人
宇宙の地図作り	令和 3 年 11 月 2 日 (火)～12 月 30 日 (木)	95 回	2,055 人

爆発する星たち	令和4年1月2日(日)～26日(水) ※まん延防止等重点措置の適用により休館のため1月27日(木)～2月27日(日)投映休止	39回	683人
光のカーテン ーオーロラ紀行ー	令和4年3月8日(火)～31日(木) ※まん延防止等重点措置の適用により休館のため3月1日(火)～6日(日)投映休止	48回	828人

観覧者総数 8,969人



星空 100 万年の旅



宇宙を旅する
ー宇宙開発新時代ー



惑星ツアー



21 世紀の宇宙
ー驚きと発見の 20 年ー



宇宙の地図作り



爆発する星たち



光のカーテン
ーオーロラ紀行ー

キッズアワー

季節の星座紹介と星座神話・映像演出を組み合わせ、子どもと大人が一緒に楽しめるように、易しい解説を加えた家族向けのプラネタリウム番組を投映した。

投映時間：土曜・日曜・祝日の第1・3回目、夏休み期間の第2回目、10～11月の土曜・日曜・祝日、12/4～1/10の・土曜・日曜・祝日・冬休み期間の第3回目

番組タイトル	投映期間	投映回数	観覧者数
おたんじょうびのせいざ	令和3年4月1日(木)～5月30日(日)	50回	965人
おりひめぼし・ひこぼし	令和3年6月5日(土)～7月31日(土)	38回	1330人

宇宙ミステリーツアー 2021	令和3年8月1日(日)～9月26日(日) ※まん延防止等重点措置の適用により休館のため8月23日(月)～9月23日(木)投映休止	26 回	883 人
ながれぼしをみよう!	令和3年10月2日(土)～11月28日(日)	20 回	1,040 人
こどものほしたち	令和3年12月4日(土)～令和4年1月23日(日) ※まん延防止等重点措置の適用により休館のため1月29日(土)・30日(日)投映休止	30 回	1,267 人
せかいのほしぞら	令和4年3月12日(土)～31日(木) ※まん延防止等重点措置の適用により休館のため2月5日(土)～3月6日(日)投映休止	26 回	847 人

観覧者総数 6,332 人



おたんじょうびのせいざ



おりひめぼし・ひこぼし



宇宙ミステリーツアー
2021



ながれぼしをみよう!



こどものほしたち



せかいのほしぞら

学習番組 ※番組の選択は申込順

小学校や中学校などの学校団体を対象に、理科や総合的な学習の時間など、学習の目的に合った番組を選択して観覧できるプラネタリウム番組を投映した。

放映期間：学校長期休業期間及びゴールデンウィーク期間を除く平日の第1・2回目

番組タイトル (対象)	放映期間	放映回数	観覧者数
星座を見つけよう (小学校低学年以上)	通 年	20 回	1,118 人
日なたと日かげ (小学校中学年以上)		4回	436 人
月と星の動き (小学校中学年以上)		31 回	1,695 人
月と太陽 (小学校高学年以上)		1回	61 人
地球と宇宙 (中学生向け)		5回	275 人
宇宙のお話 (中学生以上)		3回	72 人

観覧者総数 3,657 人

幼児番組 ※幼児週間に集中して放映したほか幼児週間以外には学習番組枠で希望により放映した。

幼稚園や保育所などの団体を対象に、星座にまつわる神話などを交えて、小さな子どもが星空に対して興味をもてるプラネタリウム番組を放映した。

放映期間：学校長期休業期間及びゴールデンウィーク期間を除く平日の第1・2回目

番組タイトル	放映期間	放映回数	観覧者数
うちゅうきちへいこう!	令和3年4月～5月	1回	12 人
たなばたとなつのほし	令和3年6月～8月 ※まん延防止等重点措置の適用により休館のため8月23日(月)～9月23日(木)中止	21 回	1,470 人
なないろどうわとほしめぐり(秋)	令和3年9月～11月 ※まん延防止等重点措置の適用により休館のため8月23日(月)～9月23日(木)中止	13 回	720 人
たいようけいたんけんたい	令和3年12月～令和4年3月 ※まん延防止等重点措置の適用により休館のため1月27日(木)～3月6日(日)中止	5回	329 人

観覧者総数 2,531 人

ドーム映像番組

全天周映像(ドーム映像)に星空紹介を加えた娯楽性の高い番組を、学校長期休業期間中を中心に放映した。今年度は開館20周年を記念して秋季にもドーム映像番組の放映を行った。

<夏休みドーム映像番組「アニマル・ハンター ～どうぶつたちのオモシロ行動学～」>

放映期間：令和3年7月17日～8月24日の第1・3・5回目

<開館 20 周年記念ドーム映像番組「銀河鉄道 999 星空はタイムマシーン」>

投映期間：令和 3 年 10 月 2 日～ 11 月 28 日の土曜・日曜・祝日の第 1・4 回目

<冬のドーム映像番組「星のまもり鳥 ～まんてんぼし村とはい色のきり～」

「ヒーリングアース」>

投映期間：令和 3 年 12 月 4 日～令和 4 年 1 月 10 日の土曜・日曜・祝日・冬休み期間

(令和 3 年 12 月 24 日～令和 4 年 1 月 7 日) の第 1・4 回目

番組タイトル	投映期間	投映回数	観覧者数
アニマル・ハンター ～どうぶつたちのオモシロ行動学～	令和 3 年 7 月 17 日(土)～8 月 22 日(日) ※まん延防止等重点措置の適用により休館のため 8 月 23 日(月)・24 日(火)中止	108 回	3,540 人
開館 20 周年記念 銀河鉄道 999 星空はタイムマシーン	令和 3 年 10 月 2 日(土)～11 月 28 日(日)	40 回	1,529 人
星のまもり鳥 ～まんてんぼし村とはい色のきり～	令和 3 年 12 月 4 日(土) ～令和 4 年 1 月 10 日(月・祝)	22 回	1,193 人
ヒーリングアース	令和 3 年 12 月 4 日(土) ～令和 4 年 1 月 10 日(月・祝)	22 回	1,361 人

観覧者総数 7,623 人



アニマル・ハンター
～どうぶつたちの
オモシロ行動学～



開館 20 周年記念
銀河鉄道 999 星空は
タイムマシーン



星のまもり鳥
～まんてんぼし村と
はい色のきり～
ヒーリングアース

字幕つきプラネタリウム

プラネタリウム番組の解説内容にあわせて、要約筆記された字幕を映し出し、聴覚障がい者と一般の方が共に観覧できる番組を投映した。(字幕作成協力：要約筆記こおりやま)

☆開催日時 令和 4 年 3 月 27 日(日) 12 時 30 分～13 時 15 分

☆内 容 一般番組「光のカーテンーオーロラ紀行ー」

☆観覧者数 60 人

※ 2 回予定のうち 1 回は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため投映休止

ベビープラネタリウム

乳児とその保護者が、周囲に気兼ねなく利用できる番組を提供した。

番組タイトル	投映日時	観覧者数
はるのほし	令和3年4月22日(木) 10時25分～11時	55 人
ほしのどうぶつえん	令和3年5月27日(木) 10時25分～11時	56 人
ちいさなせかい・おおきなうちゅう	令和3年8月25日(水) 10時25分～11時 ※まん延防止等重点措置の適用により休館のため中止	0人
ほしぞらピクニック	令和3年10月28日(木) 10時25分～11時	65 人
ほしぞらクリスマスかい	令和3年12月16日(木)・21日(火) 10時25分～11時	188 人
たのしいうちゅうりょこう	令和4年2月17日(木)・22日(火) 10時25分～11時 ※まん延防止等重点措置の適用により休館のため中止	0人

観覧者総数 364 人

いきいきプラネタリウム教室

高齢者が天文を楽しく学ぶことができる番組を提供した。

番組タイトル	投映日時	観覧者数
今夜の星空と5月 26 日の皆既月食	令和3年5月20日(木) 10時15分～11時	21 人
今夜の星空と世界の星空	令和3年8月26日(木) 10時15分～11時 ※まん延防止等重点措置の適用により休館のため中止	0人
今夜の星空と天界 2022	令和3年11月25日(木) 10時15分～11時	21 人
今夜の星空と日本の星座	令和4年3月10日(木) 10時15分～11時	7 人

観覧者総数 49 人

イブニングアワー

一般に天文に関する興味関心の高い時季に、その話題を大人向けに紹介するなど、夜間の利用が増加すると見込まれる時季に宇宙劇場を夜間開館し、通常の宇宙劇場番組投映の幅を広げたニーズに応えるプラネタリウム番組を投映した。

番組タイトル	放映日時	放映回数	観覧者数
熟睡プラネタリウム	令和3年11月20日(土)・21日(日)・23日(火・祝) 18時30分～19時30分	3回	69 人
開館 20 周年記念 GReeeeN 特集	令和3年12月の土曜・日曜 18時30分～19時30分	8回	355 人
バレンタインスペシャルー 星の輝く夜に	令和4年2月12日(土)・13日(日) 18時30分～19時30分 ※まん延防止等重点措置の適用により 休館のため中止	0回	0人

観覧者総数 424 人

英語版プラネタリウム

外国人に配慮した市民誰もが気軽に利用できる施設づくりと、インバウンドに対応した利用拡大を目的として、英語による解説を行うプラネタリウム放映を2回計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

(2) 宇宙劇場コンサート

宇宙劇場における通常の番組以外に、多目的な利用も考慮したコンサートを開催し、市民の天文や宇宙への興味関心を高めながら、文化芸術に接する機会を提供した。

星と音楽のひととき

様々なジャンルの音楽(CD)を聴きながら、ゆったりと星空を楽しむリラクゼーション番組を放映した。

放映時間：平日(祝日・学校長期休業期間等を除く。)の第4回目

土曜・日曜・祝日・学校長期休業期間の第5回目(夏休み期間を除く。)

毎週金曜日の第6回目

番組タイトル	放映期間	放映回数	観覧者数
シンガーソングライター特集ー女性編ー	令和3年4月1日(木)～30日(金)	31回	264 人
シンガーソングライター特集ー男性編ー	令和3年5月1日(土)～6月30日(水)	61回	525 人
応援ソング特集ースポーツ編ー	令和3年7月1日(木)～9月30日(木) ※7月17日(土)～8月24日(火)を除く。 ※まん延防止等重点措置の適用により 休館のため8月23日(月)～9月23日(木)中止	24回	241 人

開館 20 周年記念 松本零士特集	令和3年7月17日(土)～8月20日(金)	5回	137人
ドラマ主題歌特集	令和3年10月1日(金)～11月30日(火)	60回	852人
リクエスト特集	令和3年12月1日(火)～令和4年1月30日(日) ※まん延防止等重点措置の適用により休館のため1月27日(木)～3月6日(日)中止	51回	763人
デュオ特集	令和4年2月1日(火)～3月31日(木) ※まん延防止等重点措置の適用により休館のため1月27日(木)～3月6日(日)中止	24回	240人

観覧者総数 3,022人

プラネタリウムコンサート

宇宙劇場の機能を効果的に活用した生演奏の星空コンサートを予定したが、まん延防止等重点措置の適用により休館のため中止した。

<「郡山ウインドアンサンブル ブラスコンサート」>

☆開催日 令和4年1月30日(日)

☆開催時間 ①11時～11時45分 ②13時30分～14時15分

☆演奏 郡山ウインドアンサンブル(金管五重奏)

(3) 全国プラネタリウム大会

日本プラネタリウム協議会(JPA)と共催しての大会の開催、市民向けのプラネタリウムを活用した事業の実施を予定したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期となった。

全国プラネタリウム大会 2020・郡山

プラネタリウムの進歩発展を図り、豊かな文化の創造、科学教育及び天文普及に寄与することを目的に、プラネタリウムに関する研究発表、実践報告、基調講演、ブース展示等を行うことを予定した。

☆開催期間 令和3年6月7日(月)～9日(水)を予定したが、令和4年2月28日(月)～3月2日(水)に延期。その後、令和4年度に再延期。

プラネタリウムフェスティバル

全国プラネタリウム大会開催を契機に、プラネタリウムの魅力を多角的に紹介し、天文に関する興味関心を喚起することを目的に、全国で特色ある投影を行っているプラネタリウム解説者による講演や、期間限定でのドーム映像番組投映を行うことを予定した。

☆開催期間 全国プラネタリウム大会開催前後の休日等を予定したが、令和4年度に延期。

2 展示ゾーン運営

(1) 体験型展示物の運転

ムーンジャンプ

地球の約6分の1に相当する月面の重力環境を疑似体験できる装置の運用を行った。

☆開催時間 10時～17時45分（随時）

☆開催場所 展示ゾーン スペースフロンティア

☆対象 展示ゾーン入館者

☆定員 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、定員を30分ごとに10人程度のところを半数程度にして運用。

トリプルスピン

宇宙飛行士がかつて行っていた訓練メニューの一部を疑似体験できる装置の運用を行った。

☆開催時間 10時～17時45分（随時）

☆開催場所 展示ゾーン スペースフロンティア

☆対象 展示ゾーン入館者

☆定員 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、定員を30分ごとに7人程度のところを半数程度にして運用。

宇宙探検シミュレーション

宇宙船の搭乗を疑似体験できる装置の運用を行った。

☆開催時間 休止

☆開催場所 展示ゾーン スペースフロンティア

☆対象 展示ゾーン入館者

☆定員 1回8人

(2) 常設展示物の活用

展示物活用

常設展示物の解説シートの配布や、展示解説の充実を図るため、連携機関からの借入物の展示を行い、有効活用を図る。

<展示解説>

館内に、展示物に精通した職員を配置し、来館者の案内、質問等に対応した。

<展示解説シート>

展示物について、より詳しく知りたい人向けにお持ち帰り用解説シートを制作し、配布した。

<たんけんシート>

質問の答えを探してシートに書き込みながら展示物を見学することにより、展示ゾ

ーンの主なポイントを巡ることができるワークシートを設置した。

☆開催日 随時

☆開催場所 展示ゾーン

☆対象 展示ゾーン入館者

<ロボット展示>

☆開催場所 展示ゾーン トリプルスピン前

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため展示を休止した。

<わくわくカウンター>

入館者の多い時期に科学の幅広い分野を楽しみながら体験できる実験工作を開催する。

☆開催日 不定期（土曜・日曜・祝日及び学校長期休業期間等）に開催）

☆開催場所 ワークショップカウンター

☆対象 展示ゾーン入館者

メニュー	内 容
ぶつとびロケット	スーパーボールの反発力でストローロケットを飛ばすペーパークラフトを製作した。
UV ちょうちょう	紫外線でビーズの色が変わるアクセサリーを製作した。
ベンハムのこま	回すと模様が違って見えるこまを製作した。
クリスマスカード	期間限定のクリスマスカードを製作した。
絵合わせパズル	紙を折りたたんで4枚の絵をそろえるパズルを製作した。
ひっくりカエル	ゴムの弾性で跳ね返るペーパークラフトを製作した。

資料の収集保管

展示ゾーンにて、常設展示されている資料について、維持・管理を行った。

資料の展示

展示ゾーンにて、下表のとおり資料の展示を行った。

展示区分	展示物	備考
クエスト オブ ザ ユニバース	石質隕石	産地：モロッコ（サハラ砂漠）
	石鉄隕石	産地：チリ（アタカマ砂漠）
	鉄隕石	産地：アルゼンチン チャコ
	パラボラアンテナ	国立天文台野辺山宇宙電波観測所（寄贈）
	鹿島 34m アンテナの鏡面パネル	国立研究開発法人情報通信研究機構（寄贈）

スペースフロンティア	宇宙服 (レプリカ)	
	宇宙服 (レプリカ)	
	さわれる宇宙服 (レプリカ)	日本宇宙少年団 (借用)
	H-IIA ロケット フェアリング	JAXA (借用)
	H-IIB ロケット (1/25 模型)	日本宇宙少年団 (借用)
	はやぶさ2衝突装置レプリカ 1 / 5スケール)	日本工機株式会社 (寄贈)
	はやぶさ2衝突装置の衝突体レプリカ (実物大)	東成イービー東北株式会社 (寄贈)
その他	金子式ジュピター型 プラネタリウム投影機	郡山市児童文化会館 昭和 45 年～昭和 55 年使用

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、通常さわれる展示物もさわれない処置をとった。

展望ロビーにおいて、下表のとおり資料の展示を行った。

展示区分	展示物	備考
スペースフロンティア	ドリームアートロケットプロジェクト タペストリー	日本宇宙少年団 (借用)

(3) 科学普及事業

びっくり実験ラボや実験工房等を活用した、科学実験メニューを実施した。

サイエンスショー

来館者の科学に関する興味を喚起するため、身近なものや大掛かりな装置などを使った科学実験を展示ゾーン内のびっくり実験ラボにおいて実施した。約 2 ヶ月ごとにメニューを更新して実施した。(約 20 分間)

☆開催時間 平日 10 時 30 分～、13 時～

土曜・日曜・祝日・学校長期休業期間 10 時 30 分～、13 時～、16 時～

☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆定 員 14 人程度 (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、定員を約半数にして実施。)

開催期間	メニュー	開催回数	参加者数	内 容
令和3年 4月	風船で大実験	38 回	206 人	柑橘系果物の皮に含まれるリモネンがゴムを溶かす性質を利用したゴム風船割りやゴム風船の伸び縮みで温度が変わるなどの実験を行った。

令和3年 5・6月	台所で科学実験	60 回	447 人	電子レンジへ蛍光灯を入れてスイッチを入れると光る実験や紫芋粉末を水に溶かした溶液を使い、台所にある色々な液体の酸性・中性・アルカリ性を調べる実験などを行った。
令和3年 7～9月	不思議な素材で大実験	81 回	544 人	α ゲルマット、形状記憶合金、有機 EL、発泡セラミックスなどの素材を使い、その素材の性質を紹介するなどの実験を行った。
令和3年 10・11月	振り子のひみつ	73 回	599 人	振り子が使われている身近なものを紹介し、振り子の重さや長さによって振れる周期が変わるのかなどの実験を行った。
令和3年12月 ～令和4年2月	サバイバルの科学	62 回	398 人	人が生き抜くために必要なものである水、火、防災グッズを紹介した。必要なものを得るために行う手順について実験を通して説明した。
令和4年 3月	シャボン玉で大実験	34 回	262 人	三角や星型の枠でシャボン玉を作る実験や、水中シャボン玉作りにも挑戦した。また、水素でシャボン玉を作り水素の特性を説明した。
令和3年 5月 (ゴールデン ウィーク)	びっくり! 超低温の世界	5 回	143 人	液体窒素の中に濡れた紙やボールなどを入れて凍らせたり、液体窒素が気体になるとどのぐらい体積が増えるかなどの実験を行った。
令和3年 7・8月 (夏休み)	酸アルカリ大実験 ～色水で遊ぼう!～	32 回	276 人	ムラサキイモの粉末を使用して、家庭にある身近なものが酸性なのかアルカリ性なのかを調べたり、塩酸にマグネシウムリボンを入れ水素を発生させるなどの実験を行った。

参加者数 2,875 人



台所で科学実験の様子



不思議な素材で大実験の様子



振り子のひみつの様子

サイエンススタジオ

科学の幅広い分野を楽しみながら体験できる実験工作のワークショップを、約 2 ケ月ごとにメニューを替えて開催した。(約 20 分間)

☆開催時間 ① 11 時 30 分～、② 14 時～

☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆定 員 14 人程度 (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、定員を約半数にして実施。)

開催期間	メニュー	開催回数	参加者数	内 容
令和3年 4・5月	電気の大実験～電池作りや発電をしてみよう～	108 回	388 人	身近にあるもので電気が流れるかどうかの実験を行ったほか、塩水と2種類の金属で電池を作る実験、さらに、光で電気を作る実験を行った。また乾電池チェッカーの工作を行った。
令和3年 6・7月	レンズで実験しよう!	108 回	694 人	身のまわりのいろいろなところで使われているレンズの種類や仕組みについて実験を行った。さらに、簡易ルーペ作りを行った。
令和3年 8～10月	月ってどんなところ?	110 回	825 人	重力や気圧など、月面の特殊な環境について、地球と比較しながら実験を行った。最後に月の模様に関するスリットアニメを作って、挑戦してもらった。
令和3年 11・12月	ゆらゆらドキドキ! バランスの科学	100 回	550 人	バランスをテーマに、物の重心を探す実験ややじるべえを使った実験を行った。また、指先で絶妙なバランスをとれるトンボの製作を行った。
令和4年 1・2月	不思議の海の科学実験	36 回	241 人	海の不思議をテーマに、海はどうしてしょっぱくなったのかを解説したり、海が青く見える理由などを実験した。また、浮き沈みに関する工作を行った。
令和4年 3月	磁石のひみつ	42 回	212 人	磁石をテーマに、磁石のさまざまな性質を確かめる実験を行った。また、ゴム磁石を使った工作を行った。

参加者数 2,910 人



レンズで実験しよう!の様子



月ってどんなところ?の様子



ゆらゆらドキドキ!バランスの科学の様子

3D 天文シミュレーション

展示ゾーンへの入館者を対象に、3D天文シミュレーションシステム「Mitaka 3D」を用いて、立体視で宇宙の姿を紹介する実演を開催した。

☆開催時間 土曜・日曜・祝日・学校長期休業期間 15 時～

☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ

☆対 象 展示ゾーン入館者

- ☆内 容 立体視により地球から宇宙の果ての姿までを紹介する実演。
- ☆定 員 12 人程度 (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、定員を約半数にして実施。)

参加者数 1,123 人



3D 天文シミュレーションの様子

3 展望ロビー利活用事業

(1) パブリックビューイング

日本人宇宙飛行士や日本の人工衛星・探査機の打ち上げ時に JAXA が配信を行う映像をリアルタイムで公開予定だったが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施を見送った。

(2) 展望ロビーパネル展

パネル展「TEAMS パネル巡回展 海と生きものとわたしたち ～ 3.11 からの復興をめざして～」

開催地である郡山市ふれあい科学館が位置する「東北」の海の現状と課題、取り組みを紹介するために、東北マリンサイエンス拠点形成事業（TEAMS）の巡回パネル「海と生きものとわたしたち～ 3.11 からの復興をめざして～」を展示した。来館者には、マグネットをパネルに貼って答えるクイズなどで楽しみながら学んでいた。

☆開催日時 令和4年3月8日(火)～21日(月・祝)

☆協力 全国科学館連携協議会、東北マリンサイエンス拠点形成事業（TEAMS）



パネル展「TEAMS パネル巡回展 海と生きものとわたしたち～ 3.11 からの復興をめざして～」の様子

パネル展「第23回海洋の夢コンテスト受賞作品展「50年後の海」」

「50年後の海」をテーマに子どもたちが絵や文字で表現した作品の鑑賞を通して、未来の海の姿を想像していただいた。加えて、これらの作品の海洋研究開発機構（JAMSTEC）の講評もご覧いただくことで、現実な視点に立って海の未来を考えるきっかけとしていただいた。

☆開催日時 令和4年3月8日(火)～21日(月・祝)

☆協力 JAMSTEC(海洋研究開発機構)



パネル展「第23回海洋の夢コンテスト
受賞作品展「50年後の海」」の様子

(3) Nゲージ鉄道ジオラマ

Nゲージ鉄道ジオラマ

線路の幅が9mmのNゲージ鉄道模型を使用し、明治の郡山、昭和初期の郡山、現代の郡山を再現し、郡山の発展の様子を紹介した。

<鉄道ジオラマショー>

☆開催時間 土・日・祝の①11時～、②15時～（約20分間）

☆見学者数 1,595人



鉄道ジオラマショーの様子

<簡易シミュレーター>

☆開催時間 開館日の10時～17時（ショー開催時間以外）

<運転シミュレーター>

☆開催時間 開館日の10時～17時

☆料 金 200円（約5分間）

☆運転者数 1,610人

<ウォールミュージアム>

☆開催時間 開館日の10時～17時30分

<たんけん！鉄道ジオラマシート>

質問の答えを探して、シートに書き込みながら鉄道ジオラマを見学することにより、鉄道ジオラマの主なポイントを巡るワークシートを設置した。

☆開催時間 開館日の10時～17時30分

<トレインガイド>

☆展示時間 随時

(4) 展望ロビーイルミネーション

地上高 96m の幻想的な夜景とシンボルオブジェ「プライマル」のクリスタルな輝きと共に楽しんでいただけるよう、季節に合わせたイルミネーションを設置した。

ハロウィンディスプレイ Halloween Night in SPACEPARK 2021

☆開催日時 令和3年10月1日(金)～31日(日) 日没～20時



ハロウィンイルミネーションの様子

クリスマスイルミネーション Christmas Dreams in SPACEPARK 2021

☆開催日時 令和3年11月12日(金)～12月25日(土) 日没～20時



クリスマスイルミネーションの様子

ウインターイルミネーション

☆開催日時 令和3年12月26日(日)～令和4年1月10日(月・祝) 日没～20時



ウインターイルミネーションの様子

4 展示ゾーン利活用事業

(1) 企画展

スペースパーク企画展「ふしぎ発見！ピラミッドサイエンス」

おそよ 4500 年もの昔に建設された謎の多いピラミッドについて、科学的な側面から学び・体験ができる企画展を開催した。まん延防止等重点措置の適用により休館のため、8月23日(月)・24日(火)の実施を中止した。

☆開催日時 令和3年7月17日(土)～8月24日(火) 10時～17時

☆開催場所 展示ゾーン多目的研修室(20階)

☆対象 展示ゾーン入館者

☆参加者数 6,384人

☆展示内容 計測輪、石積みパズル、そり運び実験、ツタンカーメンの棺、恐怖のミイラクイズ、神様で神経衰弱、ヒエログリフで名刺作りほか



そり運び実験



恐怖のミイラクイズ

スペースパーク企画展「未来の遊園地 デジタルパークへようこそ！」

自分でかいたお魚の絵がゆらゆら泳ぐ水族館や、クイズに答えて打ち上げる花火、自分の身体で画面の中のキャラクターを動かすゲームなど、最新テクノロジーをつめこんだデジタル技術に関する企画展を開催した。

☆開催日時 令和3年12月4日(土)～令和4年1月10日(月・祝) 10時～17時

☆開催場所 展示ゾーン多目的研修室(20階)

☆対象 展示ゾーン入館者

☆参加者数 8,385人

☆展示内容 自分でかいたお魚の絵がゆらゆら泳ぐ水族館、クイズに答えて打ち上げる花火、自分の身体で画面の中のキャラクターを動かすゲームなど



Drawing Aquariumの様子



Running Gameの様子

鉄道の日「鉄道フェスティバル」

10月14日の「鉄道の日」にちなみ、鉄道ジオラマや鉄道関連資料を展示したフェスティバルを開催する計画をしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度の実施を中止した。

☆開催期間 令和3年10月9日(土)・10日(日)

☆開催場所 展望ロビー、展示ゾーン多目的研修室(20階)

スペースパーク企画展「ロボットフェスティバル」

ロボット大会等で活躍している福島県立清陵情報高等学校・福島県立郡山北工業高等学校・福島県立白河実業高等学校と連携して、来館者にロボットと親しんでもらえる事業を開催した。

<ロボット展示・操作体験>

福島県立清陵情報高等学校・福島県立郡山北工業高等学校・福島県立白河実業高等学校で製作したロボットをはじめとするロボットの展示や、ロボットの操作体験ができる催しを開催した。

☆開催日時 令和4年3月26日(土)・27日(日)10時～16時40分

☆開催場所 展示ゾーン多目的研修室(20階)

☆対象 展示ゾーン入館者

☆参加者数 527人

<工作ワークショップ>

福島県立清陵情報高等学校の先生・生徒を講師に招いて、簡単なロボット工作が楽しめるワークショップを開催した。

☆開催日時 令和4年3月27日(日)14時～16時

☆開催場所 展示ゾーン実験工房(20階)

☆対象 小学3年生～中学生の展示ゾーン入館者

☆参加者数 8人



ロボット展示・操作体験の様子



工作ワークショップの様子

(2) パソコン工房の活用

デジタルスタジオ

展示ゾーンへの入館者を対象に、パソコンやデジタルカメラを使用して紙工作等を作成する教室を開催した。(約 50 分間)

☆開催時間 日曜日 13 時 30 分～（イベント開催日は除く。）

☆開催場所 展示ゾーンパソコン工房（20 階）

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆定 員 8 人（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和 3 年度は定員を半数にして実施）

開催期間	メニュー	開催回数	参加者数	内 容
令和3年 4月	下じき作り	4回	45 人	自分の顔写真やイラストを使用してオリジナルの下じきを製作した。
令和3年 5月	バッジ作り	4回	45 人	自分の顔写真やイラストを使用してオリジナルのバッジを製作した。
令和3年 6月	おもちゃでプログラミング	4回	36 人	おもちゃのロボットをプログラミングで操作しゲームに挑戦した。
令和3年 7月	うちわ作り	2回	26 人	自分の顔写真やイラストを使用してオリジナルのうちわを製作した。
令和3年 9月	パワポでプログラミング【ゲーム編】	1回	8 人	パワーポイントを使用したゲームを制作し、それを通してプログラミングに挑戦した。
令和3年 10月	ボールペン作り	5回	52 人	自由にフレームを作り顔写真を入れた、マグネットを製作した。
令和3年 11月	カレンダー作り	4回	36 人	イラストを使用して、オリジナルのカレンダーを製作した。
令和4年 1月	すごろく作り	2回	13 人	自分の写真やイラストを使用して、オリジナルのすごろくを製作した。

令和4年 3月	風船作り	2回	20人	自分の顔写真やイラストを使用して、オリジナルの風船を製作した。
------------	------	----	-----	---------------------------------

参加者数 281人

(3) 学校長期休業期間中の特別事業

サイエンスフェスティバル

県内学校の先生や生徒、科学館支援グループの先生、ふくしまサイエンスぷらっとフォーム、スペースパークボランティアの会などの皆様に協力をいただき、展示ゾーンの入館者を対象に、科学の面白実験や工作を屋台形式で体験できる科学工作教室を開催した。

☆開催日時 ①ゴールデンウィーク：令和3年5月1日(土)～5日(水・祝)
10時～17時

②夏期：令和3年7月17日(土)・18日(日) 10時～17時

☆開催場所 展示ゾーン

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆参加者数 ゴールデンウィーク：1,402人
夏期：540人

☆参加団体 福島県立安積高等学校、福島県立安積黎明高等学校、福島県立郡山高等学校、福島県立あさか開成高等学校、福島県立郡山萌世高等学校、日本大学東北高等学校、帝京安積高等学校、福島工業高等専門学校、福島大学、ふくしまサイエンスぷらっとフォーム個人会員、ムシテックワールド、福島県環境創造センター、新福島芸能倶楽部、折紙倶楽部、福島県ハイテクプラザ、スペースパークボランティアの会

☆内 容 <ゴールデンウィーク>
ゴムで飛ぶ竹とんぼ、スライムを作ろう！、偏光万華鏡、ろ紙でつくる花びら、光るスライム、紫外線で色が変わるアクセサリーをつくろう！、ミニ実験ショー「びっくりレンジ！！」など
<夏期>
バルーンアート、風船ロケット、だまされるな 視覚と味覚の実験、セッケン作り、色が変わる水で絵を描く、UV ちょうちょう、ダイラタンシーなど



帝京安積高等学校の様子



福島県立あさか開成高等学校の様子



福島県ハイテクプラザの様子

<わくわく実験教室>

☆講師 郡山市ふれあい科学館職員

☆開催日時 令和3年5月1日(土)～5日(水・祝) 14時～14時30分

☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ

☆対象 展示ゾーン入館者

☆参加者数 81人

☆内容 「衝突の不思議」をテーマに、同じ質量の球をぶつけた時の運動の様子が分かるニュートンのゆりかごを作った。「放射線を見てみよう」をテーマに、放射線の軌跡を飛行機雲の白い筋のような姿で可視化できる霧箱を作った。



放射線を見てみようの様子

<自由研究ミニ教室>

☆講師 郡山市ふれあい科学館職員

☆開催日時 令和3年7月17日(土)・18日(日) 14時～14時30分

☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ

☆対象 展示ゾーン入館者

☆参加者数 26人

☆内容 「紫外線を調べよう!」をテーマに、自由研究の取り組み方について研究例を交えながら紹介した



紫外線を調べよう!の様子

夏休み科学工作コーナー

科学を楽しむことができる工作コーナーを実施した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、8月23日(月)・24日(火)の実施を中止した。

☆開催日時 令和3年7月20日(火)～8月24日(火) 10時～17時

☆開催場所 展示ゾーン

☆対象 展示ゾーン入館者

☆内容 パタパタマグネット、残像ピラミッド、UV ちょうちょう、ピラミッドパズル、ブンブンごまの工作メニューを数日ごとに替えて行った。

(4) 団体利用向け科学教室

サイエンス教室（団体向け）

学校や子ども会などの団体向けに、簡単な科学の実験や工作を体験する「ワークショップ」や楽しい科学実験を見ることができる「サイエンスショー」を開催した。

☆開催日 平日の午前・午後に1回ずつ

☆開催場所 多目的研修室又は実験工房

☆対象 幼稚園・小学校・中学校団体

☆参加者数 1,650人

☆内容 ワークショップ（ぐにゅっとスライム、ビー玉顕微鏡、コケッココポップ等25種類）、サイエンスショー（びっくり！超低温の世界など）

サイエンススクール（団体向け）

各学年の授業の学習内容に直結した実験、さらには発展的な実験も取り入れ、子どもたちの知識の定着、そして、心に残るダイナミックな実験をした。

サイエンススクールの、3つの特徴

- ① 新学習指導要領に対応し、各学年の内容に応じた実験メニュー
- ② 科学館だからこそできるダイナミックな実験
- ③ 専門スタッフが生解説、確かな知識の定着に結びつく実験

☆開催時間 平日の午前・午後に1回ずつ（ゴールデンウィーク及び学校の長期休業期間等を除く。）

- ☆開催場所 多目的研修室
- ☆対 象 小学生
- ☆参加者数 130 人
- ☆内 容 1・2 年 ドレミの音で大実験（20 分） 風船で大実験（20 分）
 3 年 磁石の性質（30 分）
 4 年 空気（水）の性質（30 分）
 5 年 振り子の運動（30 分）
 6 年 燃焼のしくみ（30 分）

3D天文シミュレーション（団体向け）

学校等の団体向けに、3D天文シミュレーションシステム「Mitaka 3D」を用いて、立体視で宇宙の姿を紹介する実演を行った。

- ☆開催時間 平日の午前・午後に1回ずつ（ゴールデンウィーク及び学校の長期休業期間等を除く。）
- ☆開催場所 多目的研修室
- ☆対 象 小中高校等の学校
- ☆参加者数 65 人
- ☆内 容 立体視により地球から宇宙の果ての姿までを紹介する実演。

(5) 科学技術へのいざない

新潟大学工学部と連携し新潟大学で研究している最新の科学や、簡単な科学実験・工作を行った。

- ☆開催日時 令和3年11月27日(土)・28日(日) 11時～16時
- ☆開催場所 展示ゾーン多目的研修室(20階)
- ☆対 象 展示ゾーン入館者
- ☆参加者数 424 人
- ☆内 容 「水素社会と水素検知～マスクでの透過実験をしてみよう～、キラキラのスーパーボールを作ってみよう、かたい砂が水のようになる「液状化」の実験、ぬり絵でQRコードをつくってみよう！、紙とんぼを飛ばそう！、風船ロケット(科学館)」の実験・工作を行った。



科学技術へのいざない開催の様子

5 教育普及活動

(1) 学校向け巡回展

ホワイエ企画展で使用したパネルを、市内の小中学校に貸出し、宇宙の不思議に身近に触れることができる巡回展を行った。

☆開催期間 令和3年5月～令和4年2月（学校長期休業期間を除く。）

☆貸出回数 53回

(2) 講師派遣（アウトリーチ事業（出前講座））

星の宅配便

科学館の職員と天文ボランティアが天体望遠鏡を持参して市内の各地区に出向き、星空の観察などを行う観望会を、市内公民館との共催により開催した。

	開催日時	開催場所	共催団体	参加者数	内 容
第1回	令和3年4月24日(土) 18時30分～20時	名倉 地域公民館	名倉 地域公民館	51人	月の観察、星の見方の紹介など
第2回	令和3年5月23日(日) 18時30分～20時	薫 地域公民館	薫 地域公民館	0人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
第3回	令和3年6月13日(日) 19時～20時30分	富田公民館	富田公民館	34人	悪天候のため、星図の使い方、望遠鏡で天体写真の観察など
第4回	令和3年7月24日(土) 19時～20時30分	日和田公民館	日和田公民館	28人	金星の観察、星の見方の紹介など
第5回	令和3年8月21日(土) 19時～20時30分	永盛 地域公民館	永盛 地域公民館	0人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
第6回	令和3年9月18日(土) 18時30分～20時	片平公民館	片平公民館	0人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
第7回	令和3年10月10日(日) 18時～19時30分	小山田 地域公民館	小山田 地域公民館	35人	月・木星・土星・金星の観察、星の見方の紹介など
第8回	令和3年11月14日(日) 17時～18時30分	田村公民館	田村公民館	46人	月・木星・土星・金星の観察、星の見方の紹介など

参加者総数 194人



望遠鏡での観察の様子



室内講座の様子

科学の宅配便

市内各地に出向き、科学館で行っている実験工作の出前講座を開催した。出前講座を通して科学の普及と広報を行った。

	開催日時	開催場所	参加者数	内 容
第1回	令和3年6月23日(水) 14時35分～15時25分	芳山小学校 (科学クラブ)	33人	「ぶくぶく入浴剤」を製作した。 材料の性質を学んだ。
第2回	令和4年1月26日(水) 13時30分～14時10分	針生保育所	17人	「ぐにゅっとスライム」を製作した。
第3回	令和4年1月27日(木) 13時30分～14時10分	御代田保育所	24人	「ぐにゅっとスライム」を製作した。

参加者総数 74人



材料の性質を学んでいる様子



工作の様子

こどもまつり

第54回郡山市こどもまつりにおいて、ミュージカルがくと館に郡山市ふれあい科学館ブースを出展し協力する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

高校天文部支援事業

市内各高校の天文クラブ等との交流を深め、天文に関する知識や技術面の向上を目指し、クラブ活動を支援した。

☆参 加 校 福島県立安積高等学校、福島県立安積黎明高等学校

開催日	開催場所	内 容	参加者数
令和3年6月15日(火)	多目的研修室、宇宙劇場	活動日とテーマの検討、超新星爆発について	14人
令和3年7月7日(水)	多目的研修室、宇宙劇場	活動テーマの検討、プラネタリウムのしくみについて	8人
令和3年7月13日(火)	多目的研修室、宇宙劇場	活動日とテーマの検討、望遠鏡の組み立て	8人
令和3年7月15日(木)	宇宙劇場	赤道儀の使い方、天体写真の撮り方	6人
令和3年10月12日(火)	多目的研修室	天体写真について	9人
令和3年11月26日(金)	多目的研修室	ふたご座流星群について	8人
令和3年12月14日(火)	宇宙劇場	プラネタリウムのしくみ・操作	9人

参加者総数 62人

ふくしまサイエンスぷらっとフォームアウトリーチ活動

福島大学や県内の公設研究機関と科学・博物館で構成される機関に加盟し、連携して科学普及のイベントを行う予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

その他講師派遣

<第5回いなわしろフェスティバル 春>

☆派遣日時 令和3年6月6日(日) 10時～15時

☆派遣場所 国立磐梯青少年交流の家

<平成記念郡山こどものもり公園「星空の観察会」>

☆派遣日時 令和3年8月1日(日) 19時～21時

☆派遣場所 平成記念郡山こどものもり公園

<郡山石筵ふれあい牧場「第3回流星観察体験」>

☆派遣日時 令和3年8月7日(土) 19時～20時30分

☆派遣場所 郡山石筵ふれあい牧場

<須賀川市民交流センター「tette スクールファミリー「夏空観察プラネタリウム」>

☆派遣日時 令和3年8月9日(月) 10時～11時30分

☆派遣場所 須賀川市民交流センター

※派遣予定が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

<大安場史跡公園市民参加型事業「古墳でお月見」>

☆派遣日時 令和3年9月19日(日) 18時～20時

☆派遣場所 大安場史跡公園

※派遣予定が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

<カルチャーパークドリームランド感謝祭>

☆派遣日時 令和3年11月7日(日) 15時～16時

☆派遣場所 郡山カルチャーパーク 展示室

<郡山石筵ふれあい牧場「親子水ロケット製作打ち上げ体験」>

☆派遣日時 令和3年11月20日(土) 10時～14時

☆派遣場所 郡山石筵ふれあい牧場

<須賀川市稲田公民館「親子チャレンジ講座」>

☆派遣日時 令和3年11月20日(土) 18時30分～20時

☆派遣場所 須賀川市稲田公民館

<川俣こども科学館>

☆派遣日時 令和3年11月21日(日) 10時～12時

☆派遣場所 川俣町鶴沢公民館

<須賀川市民交流センター「tette スクールファミリー「冬空プラネタリウム」>

☆派遣日時 令和3年12月4日(土) 10時～11時30分

☆派遣場所 須賀川市民交流センター

<いしかわ子ども交流センター プラネタリウム特別投映>

☆派遣日時 令和3年12月12日(日) 15時30分～16時20分

☆派遣場所 いしかわ子ども交流センター

<平成記念郡山こどものもり公園「日時計の工作&天文学講座」>

☆派遣日時 令和4年3月20日(日) 10時～12時

☆派遣場所 平成記念郡山こどものもり公園

<仁井田公民館「天体観測」>

☆派遣日時 令和4年3月21日(月・祝) 18時30分～20時30分

☆派遣場所 仁井田公民館

(3) 職場体験としての機会提供

博物館実習プログラム

学芸員の資格取得を目指す学生を実習生として受け入れ、科学館における活動を通して、学芸員の資質を養うための研修を行った。

☆開催期間 令和3年11月4日(木)～11日(木)

※8日(月)を除く7日間

☆開催場所 実験工房、宇宙劇場、展示ゾーン、多目的研修室等

☆実 習 生 4人

埼玉学園大学人間学部人間文化学科 : 1人

石巻専修大学理工学部生物科学科 : 1人

国立大学法人福島大学理工学群共生システム理工学類 : 1人

郡山女子大学短期大学部地域創成学科 : 1人

実 習 日	実 習 内 容
令和3年11月4日(木)	開講式、実習説明、展示見学、展示実習、接遇研修、宇宙劇場機器説明
5日(金)	展示実習、宇宙劇場番組見学、館内対応
6日(土)	展示実習、催し物見学
7日(日)	展示実習、館内対応
8日(月)	休館日
9日(火)	番組見学、展示実習発表準備、同発表、宇宙劇場実習準備
10日(水)	宇宙劇場実習準備、同解説練習
11日(木)	宇宙劇場実習準備、宇宙劇場課題発表、宇宙劇場発表講評、閉講式



博物館実習の様子

インターンシップ（就業体験）受入れ

<福島大学インターンシップ>

大学の正規授業であるインターンシップ（就業体験）の学生を研修生として受け入れ、科学館における就業体験を通して、地域の人間育成のためのキャリア教育に貢献するための研修を行った。

☆開催期間 令和3年8月10日（火）～21日（土）

☆開催場所 実験工房、宇宙劇場、展示ゾーン、多目的研修室等

☆研修生 2人（経済経営学類）

<福島県立郡山支援学校経験者研修「社会体験研修」>

福島県教育委員会の事業である企業等体験研修の教員を研修生として受け入れ、豊かな人間性やコミュニケーション力、広い視野などの教員として求められる資質、能力の向上を図る教育に貢献するための研修を行った。

☆開催期間 令和3年8月5日（木）・6（金）

☆開催場所 実験工房、宇宙劇場、展示ゾーン、多目的研修室等

☆研修生 1人

（4）クラブ活動

天文科学クラブ

1年を通して星空と宇宙の楽しみ方や科学の不思議を体験することができるクラブを開催した。

☆開催回数 Aクラス7回、Bクラス6回（令和3年6月～令和4年3月）

☆開催場所 多目的研修室、実験工房、宇宙劇場、郡山駅西口駅前広場

☆対象 小学3年生～中学3年生

☆クラブ員 40人（Aクラス：20人、Bクラス：20人）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため定員を減らして実施

メニュー	クラス	開催日	参加者数
星空観察の楽しみ方	A	令和3年6月5日（土）	19人
	B	令和3年6月12日（土）	19人
浮き沈みの科学	A	令和3年7月3日（土）	18人
	B	令和3年7月10日（土）	19人
銀河の形をしらべよう	A	令和3年10月16日（土）	12人
	B	令和3年10月23日（土）	17人
カラフルサイエンス	A	令和3年11月13日（土）	16人
	B	令和3年11月20日（土）	19人
カタチの科学	A	令和3年12月18日（土）	17人
	B	令和3年12月19日（日）	15人

かがやく太陽のひみつ ※まん延防止等重点措置の適用により休館のためBクラスのみ中止	A	令和4年1月15日(土)	12人
	B	令和4年1月29日(土)	0人
あったかい科学 ※まん延防止等重点措置の適用により休館のため中止	A	令和4年2月12日(土)	0人
	B	令和4年2月19日(土)	0人
プラネタリウムで星空観察	A	令和4年3月19日(土)	36人
	B	令和4年3月20日(日)	43人

延べ参加者数 262人



星空観察の楽しみ方の様子



カラフルサイエンスの様子

(5) 講座・講演会

星の講演会

天文現象や宇宙開発など様々なテーマについて、宇宙や科学に関する興味関心を高めることのできる講演会を、専門の講師を招いてオンラインで開催した。

第38回星の講演会

<ブラックホールとは何か？～最新研究で迫るその正体～>

☆講師 当真 賢二氏(東北大学准教授)

☆開催日時 令和4年2月23日(水・祝) 16時～17時30分

☆開催場所 YouTubeによる生配信

☆参加者数 YouTube視聴者数は147人

☆内容 人類初のブラックホール観測に成功したプロジェクトのメンバーである東北大学の当真先生から、ブラックホール研究の最前線と魅力を紹介していただいた。



開催中の様子



開催中の様子

星空案内人資格認定制度（星のソムリエ®）

山形大学理学部などが提唱する「星空案内人資格認定制度」の全国運営組織に参加し、天文カレッジ・天文ボランティア研修等の一環として資格認定講座を開講し、「星空案内人」資格認定を行った。

☆開催期間 令和3年4月～令和4年3月

☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場

☆開催回数 8回 ※令和4年1月27日～3月6日の実施予定分をまん延防止等重点措置適用により休館のため中止した。

☆受講者総数 55人

<星空案内人資格認定証授与式>

所定の認定基準を満たした受講者に対して、資格認定証の授与を行った。

☆開催日時 令和4年1月16日(日) 15時30分～17時

☆開催場所 多目的研修室

☆対象 星空案内人1人、星空案内人（準案内人）12人

☆内容 資格認定証授与

天文カレッジ

探求層である高校生以上の大人を対象に、天文学の話題や天体観察の手法を学習する講座を、テーマ別に2期開催した。

<『星のソムリエ®』になりませんか？>

☆開催回数 8回（令和3年9月～令和4年1月）

☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場

☆対象 高校生以上

メニュー	開催日時	参加者数
さあ、はじめよう	令和3年6月23日(水)19時～21時	14人
星座を見つけよう	令和3年7月14日(水)19時～21時	14人
望遠鏡のしくみ	令和3年10月13日(水)19時～21時	13人

望遠鏡を使ってみよう	令和3年10月27日(水)19時～21時	12人
宇宙はどんな世界	令和3年11月10日(水)19時～21時	13人
星空の文化に親しむ	令和3年11月24日(水)19時～21時	11人
星空案内の実際	令和3年12月8日(水)19時～21時	10人
認定証授与式および特別講座	令和4年1月16日(日)15時30分～17時	13人

延べ参加者数 100人

<日本の宇宙探査機>

☆開催回数 4回（令和4年2月～3月）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止



天文カレッジの様子

科学ゼミナール

県内の文化施設、県内外の大学等と連携し共同でワークショップを開催した。

<パイプロボコン>

☆講師 岡本 正行 氏（株式会社 MANOI 企画／
ロボットゆうえんち）

☆開催期間 令和3年8月7日(土)～10日(火)
10月23日(土)・24日(日)
12月28日(火)～30日(木)

☆開催場所 展望ロビー

☆対象 一般来館者

☆内容 「メカモグラ」というパイプの中を移動できるロボットを使用したタイムアタック大会や、ロボットサッカー操作体験ができる催しを開催した。



「パイプロボコン」の様子

<海のミクロの世界 - 星の砂で見よう - >

☆講師 豊福 高志 氏（海洋研究開発機構 海洋科学技術戦略部 部長）

☆開催日時 令和4年3月20日(日)
14時～15時

☆開催場所 多目的研修室

☆対象 小学校3年生以上（新3年生も申込可）

☆参加者数 18 名

☆内 容 「有孔虫」の死骸（星の砂）を顕微鏡で観察する活動や海洋研究活動に関する講話を通して、有孔虫をはじめとする海の生き物の多様で不思議な姿と海洋科学の魅力を知る講座を開催した。



「海のミクロの世界－星の砂で見てみよう」の様子

<福島大学との連携事業 おもしろ科学びっくり箱>

「アートで謎解き〈海〉のふしぎ」

☆講 師 渡邊 晃一 氏（福島大学 人間発達文化学類教授、芸術による地域創造研究所 所長）

☆開催日時 令和4年3月21日（月・祝）
14時～15時30分

☆開催場所 多目的研修室

☆対 象 小学校3年生以上（新3年生も申込可）

☆参加者数 14 名

☆内 容 美術解剖学的な視点から海の生き物の体の構造や動き、進化の過程に関する講話や、絵を描く活動を通して、リアルな海の生き物の姿に対して関心を高めていただく講座を開催した。



「アートで謎解き〈海〉のふしぎ」の様子

<小惑星リュウグウの玉手箱－海洋研究と宇宙研究－>

☆講 師 高野 淑識氏（海洋研究開発機構 生物地球科学センター長代理）

☆開催日時 令和4年1月29日（土） 14時～15時

☆開催場所 多目的研修室

☆対 象 一般

☆内 容 「はやぶさ2」が持ち帰った小惑星リュウグウのサンプル分析に関する講話を予定したが、まん延防止等重点措置の適用により休館のため中止した。

<日本大学工学部との連携事業>

「電波で見る宇宙！」

☆講 師 高野 秀路 氏（日本大学工学部教授）

☆開催日時 令和4年2月20日（日） 14時～15時30分

☆開催場所 多目的研修室

☆対 象 小学1年生～一般（小学3年生以下は保護者同伴）

☆内 容 電波を使って観測する宇宙の姿に関する講座を予定したが、まん延防止等重点措置の適用により休館のため中止した。

＜曾田香料株式会社との連携事業＞

「香りの魅力 - オリジナル香水を作ってみよう - 」

- ☆講 師 鈴木 文香 氏（曾田香料株式会社調香師）
- ☆開催日時 令和4年2月19日（土） 13時30分～16時30分
- ☆開催場所 多目的研修室
- ☆対 象 小学5年生以上（小学生は保護者同伴）
- ☆内 容 「香り」「香水」に関する講座を開催予定したが、まん延防止等重点措置の適用により休館のため中止した。

連携事業

講座「天文学から SDGs を知ろう！」

親子向け「発見！ 私たちの生活と天文学」

- ☆講 師 縣 秀彦 氏（国立天文台天文情報センター 准教授・普及室長）
- ☆開催日時 令和4年3月12日（土） 13時30分～14時30分
- ☆開催場所 多目的研修室
- ☆対 象 小学生と保護者
- ☆内 容 小学生向けに天文学の視点から SDGs を理解する講座を開催予定したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

一般向け「天文学と SDGs -今年国際基礎科学年！ -」

- ☆講 師 縣 秀彦 氏（国立天文台天文情報センター 准教授・普及室長）
- ☆開催日時 令和4年3月12日（土） 16時～17時30分
- ☆開催場所 多目的研修室
- ☆対 象 一般（中学生以上）
- ☆内 容 一般向けに天文学の視点から SDGs を理解する講座を開催予定したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

(6) 観望会

駅前観望会

駅前において、天体望遠鏡などを使用し、少しの時間で気軽に参加でき、宇宙への興味関心を高める自由参加形式の天体観望会を開催した。

- ☆開催場所 郡山駅西口駅前広場、郡山駅歩行者連絡橋
- ☆対 象 一般（当日自由参加）

開 催 日 時	観望内容	参加者数
令和3年4月17日(土)18時30分～19時30分	月など	悪天候のため中止
令和3年5月22日(土)19時～19時45分	月など	悪天候のため中止
令和3年6月19日(土)19時30分～20時30分	月など	悪天候のため中止

令和3年7月17日(土)19時30分～20時30分	月など	72 人
令和3年8月14日(土)19時～20時	月・土星など	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
令和3年9月11日(土)18時30分～19時30分	月・木星・土星 など	まん延防止等重点措置 の適用により休館
令和3年10月16日(土)17時30分～18時30分	月・木星・土星 など	悪天候のため中止
令和3年11月13日(土)17時～18時	月・木星・土星 など	97人
令和4年3月12日(土)18時～19時	月など	40 人

参加者総数 209 人



駅前観望会の様子

(7) 学習支援

天体望遠鏡貸出

市内地域の指導者的な人を対象に天体望遠鏡の貸し出しを行った。

☆実施期間 令和3年4月～令和4年3月

科学館支援グループ

小・中・高等学校及び大学の先生で構成するグループが、ゴールデンウィークや夏休みに開催するサイエンスフェスティバルへ出展して科学館の運営をサポートした。

6 宇宙や科学に関する情報発信事業

(1) 企画パネル展

ホワイエ企画展

宇宙劇場ホワイエにおいて、投映する番組に合わせた写真やデータなどのパネル展示を開催した。

テーマ	展 示 期 間
第6回ふくしま星・月の風景フォトコンテスト作品展	令和3年4月1日(木)～7月11日(日)
日本星景写真協会写真展 「星の風景 2021」	令和3年7月17日(土)～9月26日(日) ※まん延防止等重点措置の適用により休館のため令和3年8月23日(月)～9月23日(木)開催中止
恒河沙 in スペースパーク 板橋克己作品展	令和3年10月2日(土)～11月28日(日)
日本の宇宙飛行士たち	令和3年12月4日(土)～令和4年1月30日(日) ※まん延防止等重点措置の適用により休館のため令和4年1月27日(木)～1月30日(日)開催中止
太陽のすがた	令和4年2月5日(土)～3月27日(日) ※まん延防止等重点措置の適用により休館のため令和4年2月5日(土)～3月6日(日)

展示ゾーンパネル展

展示ゾーンにおいて、科学分野で話題性のあるテーマでパネル展示を開催した。

テーマ	展 示 期 間
スペースパーク サイエンスピック	令和3年4月1日(木)～令和4年3月31日(木)
小惑星探査機「はやぶさ2」 衝突装置展示	令和3年7月20日(火)～令和4年3月31日(木)
緊急開催! ノーベル物理学賞 紹介パネル展	令和3年10月16日(土)～令和4年1月10日(月・祝)
「水の惑星『地球』展 -海と宇宙から知る地球のすがた-」	令和4年3月8日(火)～21日(月・祝)

(2) 学術発表

学術会議や協議会等が開催する研究発表会や研修会等に参加し、発表を行った。

<「星のソムリエ[®]」天文教育普及賞お祝いの会>

☆開催日 令和3年6月20日(日)

☆開催場所 オンライン

<月惑星探査アーカイブサイエンス拠点集会 2021 >

☆開催日 令和3年10月11日(月)

☆開催場所 オンライン

<全国プラネタリウムオンライン研修会 2021 >

☆開催日 令和3年11月8日(月)

☆開催場所 オンライン

7 開館 20 周年記念事業

(1) 開館 20 周年記念 オンライン企画

開館 20 周年を記念したオリジナル動画を制作し、公式 YouTube チャンネルにて配信した。また、動画内に出てくるキーワードを集める「ミーニャンのキーワードさがし」を併せて開催した。

動 画 名	時 間	内 容
郡山市長あいさつ	約3分	郡山市長のあいさつ
20 年のあゆみ	約 10 分	スペースパークの 20 年のあゆみを写真や映像で振り返る。
鉄道ジオラマショー	約 20 分	鉄道の発達とともに発展してきた郡山の歴史を紹介。
20 周年記念スペシャル版 スペパ工作	約6分	おうちでできるハロウィンの工作を3つ紹介。
ロボットゆうえんちによるロボットショー	約3分	ロボットゆうえんち所属ロボから 20 周年のお祝いメッセージとダンス披露。
「はやぶさ2を支えた福島 ^{さか} の技術！」	約 10 分	小惑星探査機「はやぶさ2」を支えた福島県内の企業・大学などの技術を紹介。
スペースパーク宇宙劇場の舞台裏	約 10 分	宇宙劇場の開館当時と現在の違いや、普段ご紹介できない舞台裏を紹介。



郡山市長あいさつ



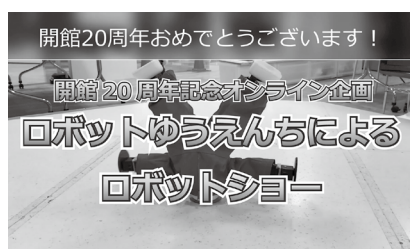
20 年のあゆみ



鉄道ジオラマショー



20 周年記念スペシャル版スペパ工作



ロボットゆうえんちによるロボットショー



「はやぶさ2を支えた福島^{さか}の技術！」

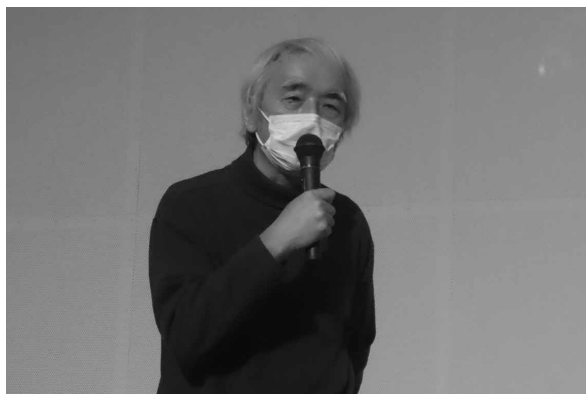


スペースパーク宇宙劇場の舞台裏

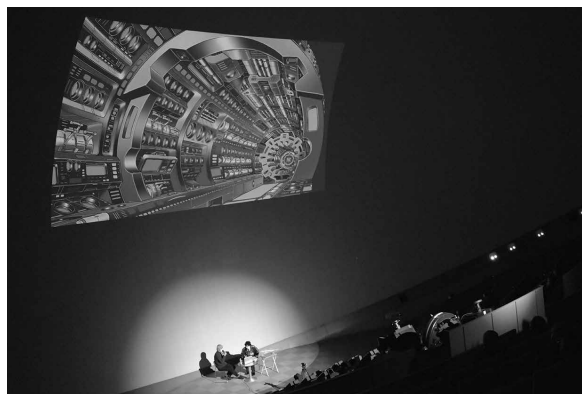
(2) 宇宙劇場トークイベント

開館 20 周年記念宇宙劇場トークイベント「宇宙への夢を描く」

- ☆講師 板橋 克己氏（メカデザイナー／零時社）
- ☆開催日時 令和3年11月27日（土） 16時～17時30分
- ☆開催場所 宇宙劇場
- ☆対象 一般
- ☆参加者数 80人
- ☆内容 長年松本零士氏のメカデザイナーとして、作品制作に携わってきた講師の、作品を描く過程における宇宙や宇宙船の描き方や、宇宙に対する夢や憧れを映像とトークで紹介いただいた。
イベント後半は、開館20周年記念ドーム映像番組「銀河鉄道999 星空はタイムマシーン」の投映を行った。



トークイベント「宇宙への夢を描く」の様子



トークイベント「宇宙への夢を描く」の様子

プラネタリウム特別プログラム・宇宙劇場トークイベント「宇宙と私 一時間と空間の旅」

- ☆講師 黒田 有彩氏（タレント）
- ☆開催日時 令和4年2月5日（土） 15時40分～17時
- ☆開催場所 宇宙劇場
- ☆対象 一般
- ☆内容 宇宙の面白さや楽しみ方を、宇宙飛行士を目指す黒田さんに語っていただく予定であったが、まん延防止等重点措置の適用により休館のため中止した。

プラネタリウム特別プログラム・宇宙劇場トークイベント「天文学 これまでの20年 これからの20年」

- ☆講師 渡部 潤一氏（国立天文台 副台長）
- ☆開催日時 令和4年2月6日（日） 15時40分～17時
- ☆開催場所 宇宙劇場
- ☆対象 一般
- ☆内容 天文学のこれまでの20年と、期待される新発見などこれからの20年を

語っていただく予定であったが、まん延防止等重点措置の適用により休館のため中止した。

(3) 開館 20 周年記念特別企画「メーテルと記念撮影！」

開館 20 周年記念ドーム映像番組「銀河鉄道 999」の投映に併せてメーテルのコスプレイヤーを招いて記念撮影会を開催した。

☆開催日時 令和 3 年 11 月 27 日(土)・28 日(日) 10 時～17 時

☆開催場所 23 階ホワイエ



「メーテルと記念撮影！」の様子

(4) 開館 20 周年記念イベント プラネタリウム特別プログラム

開館 20 周年を記念し、宇宙劇場を無料開放してさまざまな内容のプラネタリウム投映を行うことを予定したが、まん延防止等重点措置の適用により休館のため中止した。

☆開催期間 令和 4 年 2 月 5 日(土)・6 日(日)

☆開催場所 宇宙劇場

8 作品募集

ふくしま星・月の風景フォトコンテスト事業

福島県内の風景と星・月が撮影された写真を募集し、選出された作品展を開催することで、福島県の星・月の風景を通して天文普及を図った。また、これまでのコンテスト作品の巡回展示を県内外で行い、広く普及活動を実施した。

<第6回 ふくしま 星・月の風景 フォトコンテスト>

作品展

☆展示期間 令和3年4月1日(木)～7月11日(日)

☆展示場所 23階ホワイエ

<ふくしま 星・月の風景 フォトコンテスト作品展 巡回展示>

つくば展

☆展示期間 令和3年4月1日(木)～18日(日)

令和3年10月30日(土)～11月28日(日)

☆展示場所 つくばエキスポセンター(茨城県つくば市)

☆主催共催 公益財団法人つくば科学万博記念財団

☆内 容 第5回コンテスト選出写真40点(4月)、第6回コンテスト選出写真40点(10～11月)

郡山医療介護病院展

☆展示期間 令和3年7月1日(木)～9月30日(木)

☆展示場所 郡山医療介護病院(郡山市)

☆主催共催 郡山医療介護病院

☆内 容 第3回コンテスト選出写真から作品10点

中野展

☆展示期間 令和3年8月4日(水)～12日(木)

☆展示場所 ケンコー・トキナー ショールームギャラリー(東京都中野区)

☆主催共催 株式会社ケンコー・トキナー

☆内 容 第6回コンテスト選出写真40点

裏磐梯展

☆展 示 日 令和3年9月21日(火)

☆展示場所 ラビスパ裏磐梯(北塩原村)

☆主催共催 北塩原村商工観光課

☆内 容 第6回コンテスト選出写真40点

福島展

- ☆展示期間 令和3年10月1日(金)～27日(水)
- ☆展示場所 福島テルサ(福島市)
- ☆主催共催 福島テルサ
- ☆内 容 第4回・第5回コンテスト選出作品から、作品20点

石川展

- ☆展示期間 令和3年11月2日(火)～令和4年3月31日(木)
- ☆展示場所 いしかわ子ども交流センター(石川県金沢市)
- ☆主催共催 いしかわ子ども交流センター
- ☆内 容 第1回～第3回コンテスト選出写真を2か月ごとに入れ替えて展示

三鷹展

- ☆展示期間 令和4年2月4日(金)～3月31日(木)
- ☆展示場所 三鷹市天文・科学情報スペース(東京都三鷹市)
- ☆主催共催 三鷹市天文・科学情報スペース
- ☆内 容 第6回コンテスト選出写真40点

いわき展

- ☆展示期間 令和4年2月26日(土)～3月31日(木)
- ☆展示場所 いわき市民ギャラリー(いわき市)
- ☆主催共催 いわき・ら・ら・ミュウ
- ☆内 容 過去のコンテスト選出写真から特別賞以上選出作品38点

9 出版

(1) 年報の発行

1年間の活動記録をまとめた年報を作成し、ウェブサイトで公開した。

(2) 科学館ニュース「ほしのうみ」の発行

天文トピックス、科学実験アラカルトの情報を掲載した季刊誌「ほしのうみ」を作成し、ウェブサイトで公開した。

10 調査・研究

(1) 天文関連協議会調査

宇宙や天文に関する様々な情報の集積を図るとともに、関係機関との連携を強化し、新たな事業の企画立案及び既存事業の充実を図るための調査研究を行った。

調 査 日	調 査 先	内 容
令和3年6月20日(日)	「星のソムリエ®」天文教育普及賞お祝いの会(オンライン)	星空案内人資格認定制度に関する情報収集および発表
令和3年11月8日(月)～9日(火)	全国プラネタリウムオンライン研修会2021(オンライン)	プラネタリウム投映手法に関する調査および講演
令和3年11月15日(月)～25日(木)	JGSS フィルムフェスティバル2021(オンライン)	ドーム映像番組に関する情報収集
令和4年3月6日(日)～7日(月)	第14回星空案内人(星のソムリエ®)シンポジウム(オンライン)	星空案内人資格認定制度に関する情報収集
令和4年3月14日(月)～15日(火)	オンラインプラネタリウム研究会2021(オンライン)	プラネタリウム運営及び事業に関する調査

(2) 天文学術会議調査

最新の天文学や天文普及の手法に関する調査研究を行った。

調 査 日	調 査 先	内 容
令和3年4月24日(土)	シンポジウム「これからの博物館制度を考える」(オンライン)	博物館法改正による博物館認証制度等の調査
令和3年9月13日(月)～15日(水)	日本天文学会 2021 秋季年会(オンライン)	最新の天文学に関する調査
令和3年10月11日(月)	月惑星探査アーカイブサイエンス拠点集会 2021(オンライン)	最新の月惑星探査に関する調査及び発表

(3) 展示協議会等調査

科学館として長期的・継続的な観点に立ち、科学館・博物館でつくる協議会などに参加し市民への教育普及活動に資する資料収集や調査活動を行った。

調 査 日	調 査 先	内 容
令和3年10月8日(金)	全国科学館連携協議会 2021 年度第1回 国内研修(オンライン)	港区立みなと科学館 オンライン視察
令和4年1月28日(金)	全国科学館連携協議会 2021 年度第2回国内研修(オンライン)	青森県立三沢航空科学館 リニューアル事例紹介
令和4年2月18日(金)	全国科学博物館協議会 第29回 研究発表大会等(オンライン)	博物館の社会的役割を考える～変動する社会における博物館の運営と活動～
令和4年2月25日(金)	全国科学館連携協議会 2021 年度東北ブロック会議(オンライン)	コロナ禍での科学館運営の工夫についての情報交換

(4) 展示最新情報調査

科学館として長期的・継続的な観点に立ち、科学技術や研究成果、また、それらの展示手法などの最新情報を収集するため、全国からさまざまな企業等が出展する展示会の視察を行った。

調 査 日	調 査 先	内 容
令和3年 11 月 20 日(土)	ロボット・航空宇宙フェスタふくしま 2021(ビッグパレットふくしま)	最先端の宇宙開発やロボットに関する情報収集

11 その他

(1) 運営協力

郡山市少年少女発明クラブ

社団法人発明協会福島県支部と共催し「郡山市少年少女発明クラブ」を運営した。製作を通して、発明の楽しさを体験するクラブを開催した。

☆開催期間 令和3年5月～令和4年2月（毎月1回 日曜日 10時～12時）

☆開催場所 多目的研修室

☆開催回数 8回

☆対象 小学3年生～中学3年生

☆クラブ員 20人

☆専任指導員 黒森 五郎氏、大越 清美氏、小野 一豊氏、横田 俊徳氏

☆内容 エコバック製作、ゴムで発明しよう、エコな発電機を作ろう、電磁石を作ろう、万華鏡を作ろう、乾電池を作ろう、片手で持てるお菓子皿を作ろう、ランプシェードを作ろうなど。



ランプシェードを作ろう

日本宇宙少年団こおりやま分団

宇宙及び科学への探求心と向上心を促し、青少年の健全な育成に寄与するなどの目的で設立されて活動をしている日本宇宙少年団こおりやま分団の活動について、科学館職員が天体望遠鏡工作の指導や宇宙に関する講義を行うなどの支援を行った。

☆活動期間 令和3年4月～令和4年3月の毎月1回程度実施

☆活動場所 郡山市ふれあい科学館など

☆活動内容 プラネタリウム工作など

ふくしまサイエンスぷらっとフォーム

福島大学や県内の公設研究機関と科学館・博物館で構成される機関に加盟し、科学普及等の情報交換を行った。

<第1回 ワーキンググループ会議>

☆開催日時 令和3年9月14日（火） 14時30分～16時

☆開催場所 オンライン会議

<第2回 ワーキンググループ会議>

☆開催日時 令和3年12月8日(金) 13時15分～16時

☆開催場所 オンライン会議

<第3回 ワーキンググループ会議>

☆開催日時 令和4年3月18日(金) 13時15分～15時45分

☆開催場所 オンライン会議

(2) ボランティア活動の推進

ボランティア活動の推進

<全体の概要>

平成16年2月に自主運営組織「スペースパークボランティアの会(略称:S.P.V)」が発足し、今年度18年目を迎えた。



スペースパークボランティアの会

本年度は、会員各自が、さらに積極的に活動のレベルアップを図るとともに、活動範囲の拡大、そして、市民へボランティア活動を理解し、広め、生涯学習ボランティア活動のより一層の発展を目指し、ボランティア活動を行った。

<スペースパークボランティア大募集>

案内・科学・天文の各グループのボランティアを広く市内外から募集した。

募集スケジュール

募 集 期 間	登録前オリエンテーション及びボランティア研修
令和3年3月2日(火)～4月30日(金)	令和3年 5月23日(日) 令和3年 6月20日(日) 令和3年 10月24日(日)

※登録前オリエンテーション及びボランティア研修

スペースパークボランティアの会及び活動内容について理解を深めることを目的としたオリエンテーションと研修を開催した。

<登録状況>

☆グループ別

	案 内	科 学	天 文	合 計
前年度からの登録更新者	10人	31人	34人	75人
令和3年度登録者	0人	5人	4人	9人
合 計	10人	36人	38人	84人

☆区分別

	性 別		職業の有無			地域別		
	男	女	有 職	無 職	学 生	市 内	市 外	県 外
前年度からの 登録更新者	38人	37人	36人	38人	1人	66人	6人	3人
令和3年度 登 録 者	5人	4人	3人	4人	0人	9人	0人	0人
合 計	43人	41人	39人	42人	1人	75人	6人	3人

※職業未記入者 2 名

☆年代別

年 代	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代
人 数	1人	6人	7人	5人	16 人	30 人	16 人	3人

<ボランティア活動>

○案内グループボランティア

☆活 動 時 間 平日：午前の部（9 時 30 分～ 13 時）

土曜・日曜・祝日：午前の部（ 9 時 30 分～ 13 時）

午後の部（12 時 30 分～ 16 時）

☆内 容 展望ロビーでの景色・郡山の歴史案内、科学館の総合案内、高齢者・身障者の観覧補助、郡山の歴史説明

☆延べ活動時間 16 時間

☆延べ活動人数 6 人

○科学グループボランティア

☆活 動 時 間 土曜・日曜・祝日・学校休業期間：午前の部（ 9 時 30 分～ 13 時）

午後の部（12 時 30 分～ 16 時）

☆内 容 実験・工作教室などの説明や製作の補助

☆延べ活動時間 814 時間

☆延べ活動人数 245 人

○天文グループボランティア

☆活 動 時 間 天体観望会及び自主イベントのある夜間等

☆内 容 天体観望会などでの案内及び望遠鏡の操作補助

☆延べ活動時間 62 時間

☆延べ活動人数 18 人

<出張ボランティア活動>

館外での生涯学習活動の場を求め、広く出張ボランティア活動を実施し、市民活動の

一環として市民と共に楽しみ、お互いの感動を共有し、市内のさらなる生涯学習活動の促進を目指すものであったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会員の参加を中止した。

<自主企画イベント スパースパークボランティアまつり>

案内、科学、天文の各グループが、一年間の生涯学習活動の成果を、それぞれの活動の特色を活かした様々な企画により、市民の方々に発表する予定であったが、まん延防止等重点措置の適用により休館のため中止した。

☆開催日時 令和4年3月6日(日) 10時～16時

☆開催場所 22階展望ロビー

☆内 容 紙芝居の実演、工作など

<館事業サポート活動>

○サイエンスフェスティバル（ゴールデンウィーク）

科学グループ

☆開催期間 令和3年5月3日(月・祝)～5日(水・祝)

☆メニュー ぶっとびロケット

○サイエンスフェスティバル（夏期）

科学グループ

☆開催日 令和3年7月18日(日)

☆メニュー UV ちょうちょう

○夏休み工作コーナー（不定期）

科学グループ

☆開催日 不定期

☆メニュー かざぐるま

○鉄道フェスティバル

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業が中止となった。

科学グループ

☆開催期間 令和3年10月9日(土)・10日(日)

○企画展「水の惑星『地球』展—海と宇宙から知る地球のすがた—」関連イベント海の生き物折り紙

まん延防止等重点措置の適用により休館のため、会員の参加を中止した。

科学グループ

☆開催期間 令和4年1月29日(土)～2月13日(日)

<科学館の事業における天体観望会等>

○駅前観望会

- ☆開催回数 3回
- ☆開催場所 郡山駅西口駅前広場、郡山駅歩行者連絡橋
- ☆内 容 郡山駅前での天体望遠鏡による天体観望及び講座への協力

○星の宅配便

- ☆開催回数 5回
- ☆開催場所 市内公民館
- ☆内 容 市内各地での天体望遠鏡による天体観望及び講座への協力

○天体観望会

- ☆開催回数 6回
- ☆開催場所 平成記念郡山こどものもり公園、郡山石筵ふれあい牧場、須賀川市稲田公民館、仁井田公民館
- ☆内 容 市内外各施設での天体望遠鏡による天体観望及び講座への協力

<科学グループ研修>

○科学ボランティアツアー（自主研修）

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

<科学グループ自主勉強会>

○科学ボランティア勉強会

- ☆開催日 令和3年12月5日(日)
- ☆テーマ 「眼を知る！そして解けたベンハムのこまの謎」
- ☆開催場所 実験工房

<令和3年度総会>

令和3年度活動報告、役員選出案、令和4年度活動計画案を審議し、また、会員の活動表彰（一定の活動時間を達成した会員に贈る）を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

- ☆開催日時 令和4年3月13日(日) 13時30分～14時30分
- ☆開催場所 多目的研修室

<講演会>

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

- ☆開催日 令和4年3月13日(日)
- ☆開催場所 多目的研修室

科学館のウェブサイトに掲載している、S・P・Vの活動紹介ウェブサイト更新及び広報誌「S・P・Vつうしん」を年2回発行した。

S.P.Vつうしん第65号

S.P.Vつうしん第 66 号

Ⅲ 令和3年度広報・営業活動

1 広報PR活動

(1) 広報戦略活動

科学館の事業・運営内容を、市民及び県民に告知するため、広報戦略活動を展開した。

プログラムガイド

宇宙劇場の番組案内やイベント情報などを掲載したチラシを作成し、年5回発行した。

☆構成 A4カラー2ページ

☆発行総数 375,000部

学校・団体利用の手引き

小中学校などの団体が、授業の一環として科学館を利用する際に学年や目的に応じて有効に活用できるよう、利用方法等をまとめたウェブ版を作成して、学校団体利用の促進を図った。

ウェブサイト

季節ごとの星空紹介や科学館のイベントなど、宇宙や科学に関する様々な情報を発信した。

☆更新回数 209回

☆参照回数 223,698回

メールマガジン

科学館の最新ニュース・イベント案内のほか、星座の紹介などを毎月メールで配信した。

☆配信回数 13回

☆配信先 878か所（令和4年3月時点）

テレビスポット

☆期間等 令和3年7月17日～8月22日 福島テレビ、15秒スポット40本

☆内容 夏休みドーム映像番組「アニマル・ハンター ～どうぶつたちのオモシロ行動学～」・スペースパーク企画展「ふしぎ発見！ピラミッドサイエンス」

☆期間等 令和3年12月4日～26日 福島テレビ、15秒スポット40本

☆内容 冬のドーム映像番組「星のまもり鳥 ～まんてんぼし村とはい色のきり～」・「ヒーリングアース」・スペースパーク企画展「未来の遊園地 デジタルパークへようこそ！」

新聞広告

☆掲載日等 令和4年1月1日 朝日新聞

☆内 容 冬のドーム映像番組「星のまもり鳥 ～まんてんぼし村とはい色のきり～」「ヒーリングアース」・スペースパーク企画展「未来の遊園地 デジタルパークへようこそ！」

広報紙及び雑誌等への掲載

市の広報紙「広報こおりやま」や「ラジオ市政広報」をはじめ、教育委員会や各課で発行する印刷物等へ科学館の案内を掲載した。

その他、タウン誌や旅行雑誌からの依頼等により、科学館の案内や情報を積極的に提供し、科学館のPRに努めた。

看板等の設置

ビッグアイ入口への看板設置や、ペDESTロリアンデッキへのフラッグバナーの掲示などを行った。

SNS 等による情報発信（#おうちでスぺパ）

Facebook によるイベントや番組の情報発信を行った。また、Instagram や YouTube による実験・工作や天文・宇宙に関する情報発信「#おうちでスぺパ」を行った。

☆更新回数：Facebook 101 回、Instagram 254 回、YouTube 15 回

(2) 広報紙の配布

広報紙を県内各地に配布した。

広 報 紙 送 付 先	
幼稚園・保育所	市内 (89)
小学校	市内 (54)、市外 (278)
中学校	市内 (28)
高等学校	市内 (1)、市外 (2)
公民館	市内 (43)
関係機関・道の駅など	市内 (56)、市外 (56)

2 営業活動

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市内のみの営業とし、各事業所等を訪問して営業活動を行った。来年度の学校利用については、市内小中学校に電話と資料送付で説明を行った。

営業訪問先（資料配布含む）	
ホテル・商店・病院など	ホテル(22)、観光業者(4)、商店(8)、病院(4)、その他(23)
小学校(義務教育学校含む)	市内(51)
中学校(義務教育学校含む)	市内(27)

Ⅳ 令和 4 年度事業活動計画

1 宇宙劇場運営

(1) プラネタリウム番組投映

様々な年代や利用目的に合ったプラネタリウム番組の制作や各種映像等の収集を行い、宇宙劇場において、天文や宇宙などに関する番組を日常的に投映する。

<番組投映開始時刻> ※投映時間は約 45 分

曜日／回	第1回目	第2回目	第3回目	第4回目	第5回目	第6回目
平 日	10 時 15 分	11 時 30 分	14 時	15 時 30 分		19 時 (※)
土曜・日曜・祝日	11 時	12 時 30 分	14 時	15 時 30 分	17 時	19 時 (※)

※金曜日のみ投映

※夏期間及び冬期間は別途番組開始時刻を定め実施

一般番組

子どもから大人までの幅広い年代層の方が、季節の星空を楽しみ、天文や宇宙開発、地球環境などの様々な事柄を知ることのできるプラネタリウム番組を2ヶ月ごとに更新して投映する。

投映時間：平日の第3回目及び土曜・日曜・祝日の第2・4回目、団体利用がない平日の第1・2回目（学校休業期間は時季により異なる。）

番組タイトル	投映期間
光のカーテンーオーロラ紀行ー	令和4年4月1日(金)～30日(土)
虹色で見る宇宙	令和4年5月1日(日)～6月30日(木)
ビッグバン	令和4年7月1日(金)～8月31日(水)
地球と生命	令和4年9月1日(木)～10月30日(日)
大望遠鏡が見た宇宙	令和4年11月1日(火)～12月30日(金)
合体するブラックホール?ー重力波天文学ー	令和5年1月2日(月)～2月28日(火)
星空の世界旅行	令和5年3月1日(水)～31日(金)

キッズアワー

季節の星空紹介と星座神話・宇宙探検のミニ番組を組み合わせ子どもと大人が一緒に楽しめるように、やさしい解説を加えたプラネタリウム番組を投映する。

放映時間：土曜・日曜・祝日の第1・3回目、学校長期休業期間（時季により放映回は異なる。）

番組タイトル	放映期間
ブラックホールたんけんたい	令和4年4月1日(金)～5月29日(日)
たなばたのおはなし	令和4年6月4日(土)～7月31日(日)
つきりょこう	令和4年8月1日(月)～9月25日(日)
宇宙ミステリーツアー 2022	令和4年10月1日(土)～11月27日(日)
火星にでかけよう！	令和4年12月3日(土)～令和5年1月29日(日)
オーロラのたび	令和5年2月4日(土)～3月31日(金)

学習番組

※番組の選択は先着順

小学校や中学校などの学校団体を対象に、理科や総合的な学習の時間など、学習の目的に合った番組を選択し、観覧することができるプラネタリウム番組を放映する。

放映時間：学校の長期休業期間及びゴールデンウィーク期間を除く平日の第1・2回目

番組タイトル（対象）	放映期間
星座を見つけよう（小学校低学年以上）	小中学校の長期休業期間及びゴールデンウィーク期間を除く平日（第1・2回目）
日なたと日かげ（小学校中学年以上）	
月と星の動き（小学校中学年以上）	
月と太陽（小学校高学年以上）	
地球と宇宙（中学生向け）	
宇宙のお話（中学生以上）	

幼児番組

※学習番組枠で希望により放映（幼児週間以外）

幼稚園や保育所などの団体を対象に、星座にまつわる神話などを交えた、小さな子どもが星空に対して興味をもてるプラネタリウム番組を放映する。

放映時間：学校の長期休業期間及びゴールデンウィーク期間を除く平日の第1・2回目

番組タイトル	投映期間
なないろどうわとほしめぐり（春）	令和4年4月～5月
おりひめとひこぼし	令和4年6月～8月
おつきみとながればし	令和4年9月～11月
ふゆのほしめぐり	令和4年12月～令和5年3月

ドーム映像番組

全天ビデオシステムによる全天ドーム映像や星空紹介を加えた娯楽性の高い番組を春休みや夏休み期間、秋及び冬の期間に投映する。

投映時間：7/2～7/18の土曜・日曜・祝日・7/20～8/24（8/19～23を除く）の第1・3・5回目、8/19～8/23の第1・3・5・7回目、12/3～1/9の土曜・日曜・祝日・学校休業期間の第1・4回目

番組タイトル	投映期間
ハナビリウム	令和4年7月2日(土)～8月24日(水)
HAYABUSA2～REBORN	令和4年7月2日(土)～8月24日(水)
宇宙なんちゃら こてつくん プラネタリウム	令和4年12月3日(土)～令和5年1月9日(月)

字幕つきプラネタリウム

プラネタリウム番組の解説内容にあわせて、要約筆記された字幕を映し出し、聴覚障がい者と健常者が共に観覧できる番組を投映する。（字幕作成協力：要約筆記「要約筆記こおりやま」）

☆内 容 通常のプラネタリウム番組に要約筆記した字幕を映し出す。
（年2回）

☆定 員 各220人以下

いきいきプラネタリウム教室

高齢者が天文を楽しく学ぶことができる番組を提供する。

番組タイトル	投映日
今夜の星空と並ぶ惑星たち	令和4年5月26日(木)
今夜の星空と中秋の名月	令和4年8月25日(木)
今夜の星空と11月8日の皆既月食・天王星食	令和4年10月27日(木)

今夜の星空と長寿の星	令和5年3月9日(木)
------------	-------------

ベビープラネタリウム

乳児とその保護者が、周囲に気兼ねなく利用できる番組を提供する。

番組タイトル	投 映 日
おたんじょうびのせいざ	令和4年4月14日(木)
ほしとおともだち	令和4年5月19日(木)
みんなでおつきみ	令和4年8月26日(金)
たのしいうちゅうりょこう	令和4年11月17日(木)
ほしぞらクリスマスかい	令和4年12月16日(金)・22日(木)
ふゆのほしめぐり	令和5年2月16日(木)・21日(火)

イブニングアワー

大人の利用促進及び中心市街地に立地するメリットを活かし、宇宙劇場の夜間開館を行い、番組内容も大人向けや時季、話題の天文現象に応じた番組を提供する。

☆内 容 セタやお月見・クリスマス等の年中行事や特定のテーマを集中的に解説する。

(年6回実施予定)

☆定 員 各220人以下

英語版プラネタリウム

英語における解説を加えたプラネタリウム投映を行い、市内・県内在住の外国人の観覧機会を提供する。

☆内 容 英語による星座解説と宇宙の話題の紹介。

(年2回実施予定)

☆定 員 各220人以下

プラネタリウムフェスティバル

全国プラネタリウム大会・郡山の開催を記念し、期間限定でのドーム映像番組の投映や、全国で特色あるプラネタリウム解説者による講演を行う。

<ドーム映像まつり>

☆開催期間 4月29日(金・祝)～5月5日(木・祝)

☆内 容 期間限定でのドーム映像番組6本の投映。

☆定 員 各220人以下

<特別放映「星兄の爆笑！プラネタリウムショー」>

☆開催日時 6月5日（日） 14時30分～、17時30分～

☆内 容 爆笑星空解説を全国で行っている星のお兄さん（星兄：田端英樹氏）のプラネタリウム解説。

☆定 員 各220人以下

<プラネタリウム100周年公認企画 特別講演会「時・暦・プラネタリウム」>

☆開催日時 令和5年1月22日（日）16時～17時30分

☆内 容 日本標準時の子午線のある街・明石市立天文科学館から、ブラック星博士と井上毅館長を迎えて、時と天文の関わりのお話を紹介する講演会とプラネタリウムライブショーを行う。

☆定 員 各220人以下

宇宙劇場特別イベント

宇宙劇場を活用した特色あるイベントを行う。

<トークイベント>

☆開催日時 10月9日（日） 16時～17時40分

☆内 容 福島県出身の天文学者・渡部潤一氏および宇宙飛行士を目指すタレント・黒田有彩氏による宇宙をテーマとしたトークイベント。

☆定 員 各220人以下

<声優星空プラネタリウム朗読会>

☆開催日 冬季予定

☆内 容 声優による朗読とプラネタリウムによる星空の演出を加えた朗読会。

☆定 員 各220人以下

(2) 宇宙劇場コンサート

宇宙劇場における通常の番組以外に、多目的な利用も考慮したコンサートを開催し、市民の天文や宇宙への興味関心を高めながら、文化芸術に接する機会を提供する。

星と音楽のひととき

様々なジャンルの音楽（CD）を聴きながら、ゆったりと星空を楽しむリラクゼーション番組を放映する。

☆開催時間 平日（祝日・学校休業期間等を除く。） 15時30分～16時15分、土曜・日曜・祝日・学校休業期間等 17時～17時45分、毎週金曜日 19時～19時45分

☆観 覧 券 当日発売

☆観 覧 料 通常の宇宙劇場と同様

☆定 員 各220人以下

プラネタリウムコンサート

宇宙劇場の機能を効果的に活用した生演奏の星空コンサートを開催する。

<郡山ウインドアンサンブル ブラスコンサート>

☆開催日時 令和4年7月3日(日)

① 11時～11時45分 ② 13時30分～14時15分

☆演奏者 郡山ウインドアンサンブル(金管五重奏団)

☆観覧料 通常の宇宙劇場と同様

☆定員 各220人以下

<星空音楽館 ☆歌って楽しむプラネタリウム>

☆開催日時 令和4年11月19日(土)

① 11時～11時45分 ② 13時30分～14時15分

☆演奏者 つじむらゆみこさん

☆観覧料 通常の宇宙劇場と同様

☆定員 各220人以下

<ZABADAK LIVE in spacepark V>

☆開催日時 令和5年3月26日(日)

① 11時～11時45分 ② 13時30分～14時15分

☆演奏者 ZABADAK

☆観覧料 通常の宇宙劇場と同様

☆定員 各220人以下

2 展示ゾーン運営

(1) 体験型展示物の運転

ムーンジャンプ、トリプルスピン、宇宙探検シミュレーションにスタッフを配置し、これらの体験型展示物を運転し来館者の利用に提供する。

(2) 常設展示物の活用

展示物活用

常設展示物の解説シートの配布や、展示解説の充実を図るため、連携機関からの借出物の展示を行い、有効活用を図る。

<展示解説>

館内に、展示物に精通した職員を配置し、来館者の案内、質問等に対応する。

<展示解説シート>

展示物について、より詳しく知りたい人向けにお持ち帰り用解説シートを制作、配布する。

<たんけんシート>

質問の答えを探してシートに書き込みながら展示物を見学することにより、展示ゾーンの主なポイントを巡ることができるワークシートを設置する。

☆開催日 随時

☆開催場所 展示ゾーン

☆対象 展示ゾーン入館者

<ロボット展示>

☆開催場所 展示ゾーン トリプルスピン前

<わくわくカウンター>

入館者の多い時期に科学の幅広い分野を楽しみながら体験できる実験工作を開催する。

☆開催日 不定期（土曜・日曜・祝日及び小中学校の長期休業期間等で開催）

☆開催場所 展示ゾーン ワークショップカウンター

☆対象 展示ゾーン入館者

☆内容 科学工作

科学に関する情報提供（科学図書の設置、科学・天文ニュースの掲示）
宇宙メダカの展示

(3) 科学普及事業

びっくり実験ラボや実験工房等を活用した、科学実験メニューを実施する。

サイエンスショー

来館者の科学に関する興味を喚起するため、身近なものや大掛かりな装置などを使った科学実験を実施する。（約 20 分間）

☆開催時間 平日 10 時 30 分～、13 時～

土曜・日曜・祝日・学校長期休業期間 10 時 30 分～、13 時～、16 時～

☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ

☆対象 展示ゾーン入館者

☆定員 14 人程度

☆内容 シャボン玉で大実験、ドレミの音で大実験、空気の力で大実験など

サイエンススタジオ

科学の幅広い分野を楽しみながら、体験できる実験工作を開催する。（約 20 分間）

☆開催時間 毎日 11 時 30 分～、14 時～

（サイエンスフェスティバル開催日は除く。）

☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ

☆対象 展示ゾーン入館者

☆定員 14 人程度

☆内 容 磁石のひみつ、生き物たちの見る世界 など

3D天文シミュレーション

3D天文シミュレーションシステム「Mitaka 3D」を用いて、立体視で宇宙の姿を紹介する実演を行う。

☆開催時間 土曜・日曜・祝日・学校長期休業期間 15時～

☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆定 員 12人程度

☆内 容 立体視により地球から宇宙の果ての姿までを紹介する実演。

3 展望ロビー利活用事業

(1) パブリックビューイング

日本人宇宙飛行士や日本の人工衛星・探査機の打ち上げ時に JAXA が配信を行う映像をリアルタイムで公開する。

(2) 展望ロビーパネル展

展示ゾーンにおいて、科学分野で話題性のあるテーマでパネル展示を開催する。

(3) Nゲージ鉄道ジオラマ

Nゲージ鉄道ジオラマ

線路の幅が9mmのNゲージ鉄道模型を使用し、明治の郡山、昭和初期の郡山、現代の郡山を再現し、郡山の発展の様子を紹介する。

<鉄道ジオラマショー>

☆開催時間 土・日・祝の①11時～ ②15時～ (約20分間)

<簡易シミュレーター>

☆開催時間 開館日の10時～17時30分 (ショー開催時間以外)

<運転シミュレーター>

☆開催時間 開館日の10時～17時30分

☆料 金 200円 (約5分間)

<ウォールミュージアム>

☆開催時間 開館日の10時～17時30分

<たんけん！鉄道ジオラマシート>

質問の答えを探して、シートに書き込みながら鉄道ジオラマを見学することにより、

鉄道ジオラマの主なポイントを巡るワークシートを設置する。

☆開催時間 開館日の10時～17時30分

<トレインガイド>

☆展示時間 随時

(4) 展望ロビーイルミネーション

地上高96mの幻想的な夜景とシンボルオブジェ「プライマル」のクリスタルな輝きと共に楽しんでいただけるよう、季節に合わせたイルミネーションを設置する。

ハロウィン

☆開催日時 令和4年9月30日(金)～10月31日(月) 日没～20時

クリスマス

☆開催日時 令和4年12月2日(金)～25日(日) 日没～20時

ウィンターイルミネーション

☆開催日時 令和4年12月26日(月)～令和5年1月上旬 日没～20時

4 展示ゾーン利活用事業

(1) 企画展

スペースパーク企画展「あそぶどうぶつずかん」

デジタルコンテンツで、どうぶつとジャンプ力やかけっこ競走などで勝負しながら、自分とどうぶつをくらべたり、どうぶつについて知ったり、生態の不思議を実感したり、動物の多様性がわかる企画展を開催する。

☆開催日時 令和4年7月16日(土)～8月15日(月) 10時～17時

☆開催場所 展示ゾーン 多目的研修室(20階)

☆対象 展示ゾーン入館者

☆展示内容 どうぶつとジャンプ力くらべ、どうぶつとかけっこ、ゴリラとたたかいごっこ、どうぶつデジタルずかん、どうぶつのおもさあて など

スペースパーク企画展「錯覚美術館 ～立体の華麗な変身～」

二つの方向から見たとき、全く別の形に見える作品を体系的に展示し、目で見てモノのかたちを認識する脳の働きを体験し、考えるヒントとなる科学展示。脳が「間違えてしまう」瞬間、錯覚・錯視が引き起こす驚きをお楽しみいただく。

☆開催日時 令和4年12月3日(土)～令和5年1月9日(月・祝) 10時～17時

☆開催場所 展示ゾーン 多目的研修室(20階)

☆対象 展示ゾーン入館者

- ☆展示内容 ファザード【大海原】、古典的多義図形、変身立体、トポロジー攪乱、軟体立体、高さ反転立体、透身立体、方向変身立体、多シルエット立体など

スペースパーク企画展「ロボットフェスティバル」

ロボット製作等に取り組んでいる近隣の実業高等学校等と連携してロボットの展示を行い、来館者にロボット工学の世界に触れていただく。

- ☆開催日時 令和5年3月25日(土)・26日(日) 10時～16時40分

- ☆開催場所 展示ゾーン 多目的研修室(20階)

- ☆対象 展示ゾーン入館者

- ☆内容 ロボット展示、操作体験

大会やコンテストに出場したロボット等、高校生が製作したロボットの展示や操作体験を行う。

鉄道の日「鉄道フェスティバル」

10月14日の「鉄道の日」にちなみ、スペースパークボランティアの会やJR東日本郡山駅などの協力のもと、全国最大級の規模を誇るNゲージ鉄道ジオラマや鉄道関連資料を活用したフェスティバルを開催する。

- ☆開催期間 令和4年10月8日(土)～10日(月・祝)

- ☆開催場所 展望ロビー、展示ゾーン 多目的研修室(20階)

- ☆対象 一般来館者、展示ゾーン入館者

- ☆内容 鉄道関連資料・写真展示、Nゲージ鉄道車両操作体験、プラレールコーナーなど

(2) パソコン工房の活用

デジタルスタジオ

展示ゾーンへの入館者を対象に、パソコンやデジタルカメラを使用して紙工作等を作成する教室を開催する。(約50分間)

- ☆開催時間 日曜日 13時30分～(イベント開催日は除く。)

- ☆開催場所 展示ゾーンパソコン工房(20階)

- ☆対象 展示ゾーン入館者

- ☆定員 8人

- ☆内容 マグネット作り、うちわ作り、カレンダー作りなど

(3) 学校長期休業期間中の特別事業

サイエンスフェスティバル

展示ゾーンの入館者を対象に、簡単な科学実験や工作を屋台形式で体験できる科学工作教室を開催する。

- ☆開催日時 ①ゴールデンウィーク期間:令和4年4月29日(金・祝)～5月5日(木・

祝) ※5月2日(月)を除く

②夏期期間：令和4年7月16日(土)～18日(月・祝)

☆開催場所 展示ゾーン

☆対象 展示ゾーン入館者

☆講師 科学館支援グループ、小中学校・高等学校の教員及び児童生徒、大学の教員、科学館職員、科学館ボランティア、市内外その他機関職員など

☆内容 カライドサイクル、色が変わる水で絵を描く、アンモナイトを復元しよう！ほか

夏休み科学実験・工作コーナー

夏休み期間中、科学を楽しむことができる実験・工作コーナーを開催する。

☆開催期間 令和4年7月20日(水)～8月24日(水)

☆開催場所 展示ゾーン

☆対象 展示ゾーン入館者

☆内容 ぶっとびロケット、種！タネ！たね！、カラフル化石ほか

(4) 団体利用向け科学教室

サイエンス教室（団体向け）

学校や子ども会などの団体向けに、簡単な科学の実験や工作を体験する「ワークショップ」を開催する。

☆開催日 平日の午前・午後に1回ずつ

☆開催場所 多目的研修室又は実験工房

☆対象 幼稚園・小学校・中学校団体等

☆内容 ワークショップ（ぐにゅっとスライム、ビー玉顕微鏡、コケッココップ等25種類）

サイエンススクール（団体向け）

各学年の授業の学習内容に直結した実験、さらには発展的な実験も取り入れ、子どもたちの知識の定着、そして、心に残るダイナミックな実験を行う。

サイエンススクールの、3つの特徴

- ① 新学習指導要領に対応し、各学年の内容に応じた実験メニュー
- ② 科学館だからこそできるダイナミックな実験
- ③ 専門スタッフが生解説、確かな知識の定着に結びつく実験

☆開催時間 平日の午前・午後に1回ずつ（ゴールデンウィーク及び学校の長期休業期間等を除く。）

☆開催場所 多目的研修室

☆対象 小学生

- ☆定 員 50 人程度
- ☆内 容 1・2 年 ドレミの音で大実験 (20 分) 風船で大実験 (20 分)
- 3 年 磁石の性質 (30 分)
- 4 年 空気 (水) の性質 (30 分)
- 5 年 振り子の運動 (30 分)
- 6 年 燃焼のしくみ (30 分)

3D天文シミュレーション(団体向け)

学校等の団体向けに、3D天文シミュレーションシステム「Mitaka 3D」を用いて、立体視で宇宙の姿を紹介する実演を行う。

- ☆開催時間 平日の午前・午後に1回ずつ（ゴールデンウィーク及び学校の長期休業期間等を除く。）
- ☆開催場所 多目的研修室
- ☆対 象 小中高校等の学校
- ☆定 員 1回30人程度
- ☆内 容 立体視により地球から宇宙の果ての姿までを紹介する実演。

(5) 科学技術へのいざない

新潟大学工学部と連携し新潟大学で研究している最新の科学や、簡単な科学実験・工作を行う。

- ☆開催日時 令和4年10月29日(土)、30日(日)11時～16時
- ☆開催場所 展示ゾーン多目的研修室(20階)
- ☆対 象 展示ゾーン入館者

5 教育普及活動展

(1) 学校向け巡回展

ホワイエ企画展で使用したパネル等を、市内の小中学校に貸出し、宇宙の不思議さなどを身近に触れることができる巡回展を行う。

- ☆開催期間 令和4年5月～令和5年2月（学校長期休業期間を除く。）
- ☆対 象 市内小中学校

(2) 講師派遣(アウトリーチ事業(出前講座))

星の宅配便

科学館職員と天文ボランティアが天体望遠鏡を持参して市内の各地区に出向き、星空の観察などを行う観望会を、市内公民館との共催により開催する。

- ☆開催時期 令和4年4月～11月
- ☆開催回数 8回(予定)
- ☆開催場所 中央公民館を通じて、各公民館と協議のうえ決定

☆定 員 各 50 人程度（各公民館で募集）

科学の宅配便

市内各地に出向き、科学館で行っている実験工作を実施し出前講座を開催する。

☆開催時期 平日 13 時以降（各月申込み月日で調整する。2～3 団体程度）
（ゴールデンウィーク、学校長期休業期間等を除く。）

☆開催場所 市内小学校・幼稚園及び地域公民館など

☆対象者数 20 人以上 150 人程度の団体（要相談）

☆内 容 団体向け科学工作メニュー（25 種類）の中から 1 つを選ぶ

こどもまつり

郡山市から第 57 回郡山市こどもまつりにおけるコーナー運営についての協力要請があり、ミューカルがくと館に郡山市ふれあい科学館ブースを出展し協力する。

☆開 催 日 令和 4 年 5 月 5 日（木・祝）

☆開催場所 開成山公園・ミューカルがくと館 ほか

☆活動内容 太陽観察と太陽観察メガネ作り

※主催：こどもまつり実行委員会

高校天文部支援事業

市内を中心とした各高校の天文部等との交流を深め、天文に関する知識や技術面からクラブ活動を支援する。

☆開催期間 令和 4 年 6 月、7 月、9 月、10 月、11 月、12 月を予定

☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場など

ふくしまサイエンスぷらっとフォーム アウトリーチ活動

福島大学を中心とし県内の公設研究機関と科学・博物館などが連携し科学普及を行う「ふくしまサイエンスぷらっとフォーム」に当館も加盟し、他機関のイベントに参加して科学普及を行う。

☆開催期間 通年

講師派遣

各種機関等との連携事業として依頼により当館職員を講師として派遣し講座を開催する。

☆開催期間 通年

(3) 職場体験としての機会提供

博物館実習プログラム

学芸員の資格取得を目指す学生を実習生として受け入れ、科学館における活動を通して、学芸員の資質を養うための研修を開催する。

☆開催期間 令和4年9月7日(水)～14日(水)

※12日(月)の休館日を除く7日間

インターンシップ(就業体験)受入れ

学校又は学生の求めに応じ、インターンシップ(就業体験)や中学生等の職場体験学習生を受け入れ、自己の職業適性や職業生活設計など職業選択について考える契機となり、就労意欲の向上に繋がるよう研修を開催する。

(4) クラブ活動

天文科学クラブ

天文分野は、宇宙劇場(プラネタリウム)や天体望遠鏡等を使用して、天文学の基礎知識を学習することにより宇宙への興味・関心を高め、科学分野は、実験・観察・工作を一人一人体験することで、自然に対するものの見方や考え方を養い、自然の様々な現象に対する興味を喚起するクラブを開催する。

☆開催時間 土曜日 9時45分～11時45分を基本とする

☆開催場所 多目的研修室、実験工房、宇宙劇場ほか

☆開催回数 8回(令和4年6月～令和5年2月)

☆対 象 小学3年生～中学3年生

☆募集人数 20人×2クラス(合計40人)

(5) 講演会

星の講演会

天文や宇宙開発などに関わる機関等と連携し、宇宙や科学に関する興味関心を高めることのできる講演会を、専門の講師を招き開催する。

<第39回星の講演会 人類が初めて見たブラックホールの姿>

☆開催日時 令和4年12月17日(土) 16時～17時30分

☆開催場所 宇宙劇場

☆定 員 220人

星空案内人資格認定制度(星のソムリエ®)

豊かな知識と経験からおいしいワインを選んでくれるソムリエのように、星空や宇宙の楽しみ方を教えてくれる「星のソムリエ®」を養成する。

☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場

☆開催回数 天文カレッジ、天文ボランティア専門研修講座、12回(通年)

☆対 象 一般(高校生以上)

天文カレッジ

探求層である高校生以上の大人を対象に、天文学の話題や天体観察の手法を学習する講座を開催する。

- ☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場
- ☆開催回数 12回（令和4年4月～令和5年3月）
※新型コロナウイルス感染症対策の状況により変更
- ☆対 象 一般（高校生以上）
- ☆募集人数 16人

科学ゼミナール

県内の類似施設、研究機関、企業等と連携し共同で講演会やワークショップを開催する。

<県内を中心とした研究機関との連携事業>

- ☆概 要 県内の大学等の研究機関から講師を招いて講座を開催する。
- ☆開催回数 3回程度
- ☆連 携 先 福島大学、日本大学、曾田香料株式会社など

連携事業

<連携機関等からの講師招聘による天文学の講座>

- ☆概 要 連携機関の専門家を講師に招いての講座・ワークショップを行う。
- ☆開催回数 2回程度

<海洋研究開発機構との連携による海洋科学に関する講座>

- ☆概 要 海洋研究開発機構の専門家を講師に招いての講座・ワークショップを行う。
- ☆開催回数 2回程度

(6) 観望会

駅前観望会

駅前において、天体望遠鏡などを使用し、少しの時間で気軽に参加でき、宇宙への興味関心を高める自由参加形式の天体観望会を開催する。

- ☆開催場所 郡山駅西口駅前広場、郡山駅歩行者連絡橋
- ☆対 象 一般（当日自由参加）

天体観望会

<皆既月食観望会>

- 令和4年11月8日の皆既月食を観察する観望会を開催する。
- ☆開催日時 令和4年11月8日（火） 17時30分～20時30分
- ☆開催場所 開成山公園、ミューカルがくと館
- ☆内 容 双眼鏡や望遠鏡による月食の観察

<火星観望会>

令和4年12月1日に最接近する火星を観察する観望会を開催する。

☆開催日時 令和4年12月3日(土) 17時30分～20時

☆開催場所 平成記念郡山こどものもり公園

☆内 容 望遠鏡による火星の観察

(7) 学習支援

天体望遠鏡貸出

市内地域の指導者的な人を対象に天体望遠鏡の貸し出しを行う。

☆実施期間 令和4年4月～令和5年3月

科学館支援グループ

小・中・高等学校及び大学の先生で構成するグループに、ゴールデンウィークや夏休みに開催するサイエンスフェスティバルへ出展して科学館の運営をサポートいただく。

6 宇宙や科学に関する情報発信事業

(1) 企画パネル展

ホワイエ企画展

宇宙劇場ホワイエにおいて、投映する番組に合わせた写真やデータなどのパネル展示を開催する。

テーマ	展 示 期 間
星雲・星団の旅	令和4年4月2日(土)～5月29日(日)
ふくしま星・月の風景写真展	令和4年6月4日(土)～26日(日)
はやぶさ2のあゆみ	令和4年7月2日(土)～8月28日(日)
太陽系の仲間たち 前編	令和4年9月3日(土)～11月27日(日)
太陽系の仲間たち 後編	令和4年12月3日(土)～令和5年2月26日(日)
お誕生日の星座	令和5年3月4日(日)～31日(金)

展示ゾーンパネル展

展示ゾーンにおいて、科学分野で話題性のあるテーマでパネル展示を開催する。

(2) 学術発表

学術会議や協議会等が開催する研究発表会や研修会等に参加し、発表を行う。

7 作品募集

ふくしま星・月の風景フォトコンテスト事業

福島県で撮影された星・月の風景写真を募集し、審査を経て展示を行うことにより、多くの自然が残されている福島県と星・月を関連付けて、広く県外に紹介するとともに、多くの県民に星空に目を向けてもらうことを目的とし、その普及を図る。

今年度は、これまでのコンテストの巡回展示を行うことで、広く全国への情報発信を図る。

<「ふくしま星・月の風景フォトコンテスト」巡回写真展>

☆開催時期 通年

☆開催場所 県内各地のギャラリー、全国の科学館等 3か所程度

8 出版

(1) 年報の発行

1年間の活動記録をまとめた年報を作成し、ウェブサイトで公開する。

(2) 科学館ニュース「ほしのうみ」の発行

天文トピックス、科学実験アラカルトの情報を掲載した季刊誌「ほしのうみ」を作成し、ウェブサイトで公開する。

9 調査・研究

最新の宇宙や科学に関する情報を収集し、調査研究する。

全国科学博物館協議会、日本プラネタリウム協議会などが主催する研究発表会等及び公益社団法人日本天文学会などが主催する学術会議に出席し、情報の収集・調査・研究を行う。

また、先進館の事業の運営方法を調査・研究し、郡山市ふれあい科学館の事業の運営方法を改善する。

10 その他

(1) 運営協力

郡山市少年少女発明クラブ

一般社団法人発明協会福島県支部と共催し「郡山市少年少女発明クラブ」を運営する。外部講師を招き、発明の楽しさを体験するクラブを開催する。

☆活動時期 令和4年5月～令和5年2月 毎月1回日曜日(年10回) 10時～12時

日本宇宙少年団こおりやま分団

宇宙及び科学への探求心と向上心を促し、青少年の健全な育成に寄与するなどの目的で設立されて活動をしている日本宇宙少年団こおりやま分団の活動をサポートする。

☆サポート 分団活動を共催し、職員を派遣
分団活動の発表の場の提供等

ふくしまサイエンスぷらっとフォーム

福島大学を中心に県内の公設研究機関や企業と科学館・博物館などが連携し、科学普及を目的とする団体「ふくしまサイエンスぷらっとフォーム」に加盟して、サイエンスフェスティバルなどで協力いただくとともに、他機関のイベントに参加し科学普及を行う。

☆開催期間 通年

全国プラネタリウム大会 2022・郡山

日本プラネタリウム協議会主催の全国プラネタリウム大会を共催し、当館を会場に全国のプラネタリウム関係者による研究発表や基調講演、ブース展示等を通して、プラネタリウムの進歩発展を図り、豊かな文化の創造、科学教育および天文普及に寄与する。

☆開催期間 令和4年6月6日(月)～8日(水)

星空案内人(星のソムリエ®)シンポジウム・郡山

星空案内人資格認定制度運営機構と共催し、全国で活動する星空案内人(星のソムリエ)が集うシンポジウムを開催する。天体観察等の星空案内のノウハウと新たな活動へのアイデアを共有し、活動する人の交流を促進することで、豊かな文化の創造、科学教育および天文普及に寄与する。

☆開催期間 令和4年3月の2日間(日曜・月曜)

はやぶさ2帰還カプセル展示イベント

JAXA(宇宙航空研究開発機構)が全国巡回展示を行っている、小惑星探査機はやぶさ2の帰還カプセルの展示を行い、併せて宇宙劇場でのドーム映像番組の投映や講演会を行うことで、科学技術への理解、太陽系小天体を起点とした天文への興味関心の喚起を図る。

<はやぶさ2帰還カプセル等展示>

☆開催期間 令和4年8月19日(金)～23日(火)

☆開催場所 展示ゾーン多目的研修室(20階)

☆内 容 小惑星探査機「はやぶさ2」の帰還カプセルおよびサンプルの展示、県内関連企業の展示など

<ドーム映像番組「HAYABUSA2～REBORN」>

☆投映期間 令和4年7月2日(土)～8月24日(水)

☆開催場所 宇宙劇場

<講演会「もうひとつの”はやぶさ” ミッション」>

☆開催日時 令和4年7月23日(土)16時～17時50分

☆開催場所 宇宙劇場

☆内 容 「HAYABUSA2 ～REBORN」制作監督の上坂浩光氏によるはやぶさ・はやぶさ2のミッションの紹介

<講演会「はやぶさ／はやぶさ2と福島／会津大学」>

☆開催日時 令和4年8月20日(土)16時～17時30分

☆開催場所 宇宙劇場

☆内 容 会津大学教授の出村裕英氏による、はやぶさ・はやぶさ2と県内の関わり
の紹介

(2) ボランティア活動の推進

<スペースパークボランティアの会会員募集>

当館の設置目的の一つである生涯学習活動の促進のため、ボランティアを広く市内外から募集し、活動の充実を図る。

―活動開始までの流れ―

登録前オリエンテーション ⇒ 一般研修 ⇒ 専門研修 ⇒ 活動開始

<スペースパークボランティアの会活動計画>

「案内グループ」

☆継続活動内容 来館者への景色や歴史などの説明、紙芝居の実演

☆発展活動内容 ボランティアガイドコーナーの設置及び景色・歴史ガイド
高齢者・身障者の観覧補助
出張活動の実施

「科学グループ」

☆継続活動内容 実験・工作教室などの指導及び説明、サイエンスフェスティバルへの参加

☆発展活動内容 実験・工作教室のオリジナルメニューの充実、出張活動の実施

「天文グループ」

☆継続活動内容 天体観望会での案内及び望遠鏡操作補助

☆発展活動内容 観望会などの自主開催及び観望リーフレットの作成

※スペースパークボランティアの会全体で、「スペースパークボランティアまつり」を実施する。

「運営部会」

- ☆総務部 組織力の安定及び強化を目指し、役員会や各運営部会の定期開催を行う。
- ☆企画部 会の親睦交流及び自己研鑽を目指し研修を行う。
- ☆広報部 ボランティアの会活動周知のための情報発信を行う。

V 令和4年度広報・営業活動

1 広報PR活動

(1) 広報戦略活動

科学館の事業・運営内容を、市民及び県民に告知するため、広報戦略活動を展開する。

プログラムガイド

宇宙劇場の番組案内やイベント情報などを掲載したチラシを作成し、年5回発行する。

☆構成：A4カラー2ページ

☆発行総数：375,000部

学校・団体利用の手引き

小中学校などの団体が、授業の一環として科学館を利用する際に学年や目的に応じて有効に活用できるよう、利用方法等をまとめたウェブ版を作成して、学校団体利用の促進を図る。

ウェブサイト

季節ごとの星空紹介や科学館のイベントなど、宇宙や科学に関する様々な情報を発信する。

メールマガジン

科学館の最新ニュース・イベント案内のほか、天文の紹介などを毎月メールで配信する。

テレビスポット

テレビ、新聞等を使用し、科学館の事業・運営内容を市民及び県民へ告知する。

新聞広告

新聞等を使用し、科学館の事業・運営内容を市民及び県民へ告知する。

広報紙及び雑誌等への掲載

市の広報紙「広報こおりやま」や「ラジオ市政広報」をはじめ、教育委員会や各課で発行する印刷物等へ科学館の案内を掲載する。

その他、タウン誌や旅行雑誌からの依頼等により、科学館の案内や情報を積極的に提供し、科学館のPRに努める。

看板等の設置

ビッグアイ入口への看板設置や、ペDESTロリアンデッキへのフラッグバナーの掲示などを行う。

SNS 等による情報発信（＃おうちでスペパ）

Facebook によるイベントや番組の情報発信を行う。また、Instagram や YouTube による実験・工作や天文・宇宙に関する情報発信「＃おうちでスペパ」を行う。

（２） 広報紙の配布

広報紙を県内各地に配布する。

２ 営業活動

今年度は新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しながら、市内の小中学校を中心に科学館の施設及び事業内容を紹介するための、営業活動を展開する。

Ⅵ 予算・決算

1 令和3年度決算

収入

科 目	金 額	説 明
基本財産利息収入	0	
指定管理料収入	242,529,092	郡山市ふれあい科学館指定管理料収入
施設利用料金収入	13,111,580	観覧料、ビュースコープ及び鉄道ジオラマ運転装置利用料
負担金収入	0	
販売収入	70,900	「ふくしま星・月の風景フォトコンテスト」作品写真集販売収入
雑収入	82,944	新型コロナ対策消耗品補填
雑収入	295,138	雇用保険料個人負担分
一般正味財産取り崩し収入	0	
合 計	256,089,654	

収入合計 ￥256,089,654

支出

事業費（科学館施設管理）

科 目	金 額	説 明
給料手当	66,326,210	1 職員費 116,099,643
福利厚生費	17,267,537	
臨時雇賃金	32,505,896	2 各種業務委託 58,611,222
旅費交通費	20,800	
通信運搬費	1,412,716	3 光熱水費 17,730,925
消耗什器備品費	0	
消耗品費	3,195,947	4 施設管理費 30,604,522
修繕費	1,204,522	
印刷製本費	1,925,238	
賃借料	5,424,290	
諸謝金	103,000	
手数料	36,970	
租税公課	12,863,790	
負担金支出	133,800	
委託費	58,611,222	
広告宣伝費	1,122,000	
燃料費	64,804	
光熱水料費	17,730,925	
損害保険料	292,920	
食糧費	0	
減価償却費	2,803,725	
合 計	223,046,312	

事業費（科学館事業）

科 目	金 額	説 明
旅費交通費	150,100	1 宇宙劇場運営
通信運搬費	0	2 展示ゾーン運営
消耗品費	3,462,740	3 展望ロビー利活用事業
印刷製本費	2,538,800	4 教育普及活動
賃借料	11,074,211	5 宇宙や科学に関する情報発信事業
諸謝金	93,600	6 開館 20 周年記念事業その他
手数料	73,376	7 その他
租税公課	4,200	
負担金支出	0	
委託費	9,906,751	
広告宣伝費	1,113,530	
損害保険料	38,500	
食糧費	106,387	
合計	28,562,195	

支出合計 ￥251,608,507

収支差額 ￥4,481,147

参考

使用料名	金額	説明
ふれあい科学館観覧料	12,474,380	宇宙劇場 33,111 人 常設展示 30,607 人 ワイヤパスト 53 人
ふれあい科学館使用料	637,200	ビュースコープ利用回数 3,152 回 鉄道ジオラマ運転装置利用回数 1,610 回
合計	13,111,580	

2 令和 4 年度予算

収入

科目	金額	説明
基本財産利息収入	0	
指定管理料収入	242,249,000	郡山市ふれあい科学館指定管理料収入
施設利用料金収入	27,000,000	観覧料、ビュースコープ及び鉄道ジオラマ運転装置利用料
負担金収入	0	
販売収入	150,000	「ふくしま星・月の風景フォトコンテスト」作品写真集販売収入
雑収入	88,000	宇宙劇場特別イベント共催料
雑収入	388,000	雇用保険料個人負担分
一般正味財産取り崩し収入	20,350,000	
合計	290,225,000	

収入合計 ￥290,225,000

支出

事業費（科学館施設管理）

科目	金額	説明
給料手当	75,421,000	1 職員費 132,332,000
福利厚生費	20,014,000	
臨時雇賃金	36,897,000	2 各種業務委託 59,442,000
旅費交通費	468,000	
通信運搬費	2,114,000	3 光熱水費 22,904,000
消耗什器備品費	0	
消耗品費	2,872,000	4 施設管理費 34,239,000
修繕費	2,600,000	
印刷製本費	1,733,000	
賃借料	5,427,000	
諸謝金	200,000	
手数料	327,000	
租税公課	13,774,000	
負担金支出	155,000	
委託費	59,442,000	
広告宣伝費	1,300,000	
燃料費	123,000	
光熱水料費	22,904,000	
損害保険料	316,000	
食糧費	26,000	
減価償却費	2,804,000	
合計	248,917,000	

事業費（科学館事業）

科目	金額	説明
臨時雇賃金	270,000	1 宇宙劇場運営
旅費交通費	845,000	2 展示ゾーン運営
通信運搬費	182,000	3 展望ロビー利活用事業
消耗品費	4,860,000	4 教育普及活動
印刷製本費	4,560,000	5 宇宙や科学に関する情報発信事業
賃借料	13,187,000	6 その他
諸謝金	1,147,000	
手数料	19,000	
租税公課	10,000	
負担金支出	20,000	
委託費	15,340,000	
広告宣伝費	261,000	
損害保険料	224,000	
食糧費	383,000	
合計	41,308,000	

支出合計 ￥290,225,000

Ⅶ 施設利用状況

1 月別入館者数

令和 3 年 4 月～令和 4 年 3 月

(単位：人)

月	展望ロビー入場者数	宇宙劇場入館者数	展示ゾーン入館者数	科学館入館者数
令和3年4月	7,774	1,257	1,211	2,468
5月	9,507	1,610	2,099	3,709
6月	10,072	3,598	2,465	6,063
7月	14,330	4,746	4,128	8,874
8月	12,236	3,960	3,711	7,671
9月	1,649	285	292	577
10月	12,822	3,798	3,942	7,740
11月	14,030	4,290	3,581	7,871
12月	17,835	4,962	4,877	9,839
令和4年1月	8,800	2,623	2,516	5,139
2月	0	0	0	0
3月	8,246	1,982	1,785	3,767
合計	117,301	33,111	30,607	63,718

〈参考〉

(単位：人)

年 度	展望ロビー入場者数	宇宙劇場入館者数	展示ゾーン入館者数	科学館入館者数
平成 13 年度	361,887	67,640	68,698	136,338
平成 14 年度	347,141	89,952	86,734	176,686
平成 15 年度	305,314	79,136	78,487	157,623
平成 16 年度	278,734	67,620	68,413	136,033
平成 17 年度	257,694	69,388	63,546	132,934
平成 18 年度	251,195	66,122	69,059	135,181
平成 19 年度	267,202	71,209	75,619	146,828
平成 20 年度	251,876	71,607	73,131	144,738
平成 21 年度	246,237	74,607	72,371	146,978
平成 22 年度	241,634	72,704	73,194	145,898
平成 23 年度	235,383	56,689	89,070	145,759
平成 24 年度	230,669	74,525	67,179	141,704
平成 25 年度	212,469	65,424	59,366	124,790
平成 26 年度	203,763	64,244	55,076	119,320
平成 27 年度	216,594	67,287	63,361	130,648
平成 28 年度	240,887	77,040	85,184	162,224
平成 29 年度	238,440	76,355	80,533	156,888
平成 30 年度	212,021	64,823	69,918	134,741
令和元年度	194,968	56,328	68,875	125,203
令和 2 年度	98,078	29,230	22,327	51,557

令和3年度	117,301	33,111	30,607	63,718
合 計	4,794,108	1,332,700	1,367,814	2,752,071

2 施設別入館者数

宇宙劇場

(単位：人)

月	平日					土曜・日曜・祝日					合計				
	日数	個人	1日平均	団体	1日平均	日数	個人	1日平均	団体	1日平均	日数	個人	1日平均	団体	1日平均
4月	17	402	24	32	2	9	823	91	0	0	26	1,225	47	32	1
5月	14	292	21	0	0	13	1,318	101	0	0	27	1,610	60	0	0
6月	18	331	18	2,191	122	8	1,076	135	0	0	26	1,407	54	2,191	40
7月	17	1,137	67	970	57	11	2,612	237	27	2	28	3,749	134	997	7
8月	14	2,089	149	97	7	8	1,774	222	0	0	22	3,863	176	97	1
9月	4	88	22	0	0	2	197	99	0	0	6	285	48	0	0
10月	17	617	36	1,201	71	10	1,980	198	0	0	27	2,597	96	1,201	12
11月	15	510	34	1,451	97	10	2,228	223	101	10	25	2,738	110	1,552	14
12月	16	980	61	537	34	11	3,413	310	32	3	27	4,393	163	569	3
1月	8	560	70	234	29	10	1,829	183	0	0	18	2,389	133	234	2
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	14	797	57	0	0	7	1,185	169	0	0	21	1,982	94	0	0
合計	154	7,803	51	6,713	44	99	18,435	186	160	2	253	26,238	104	6,873	27

展示ゾーン

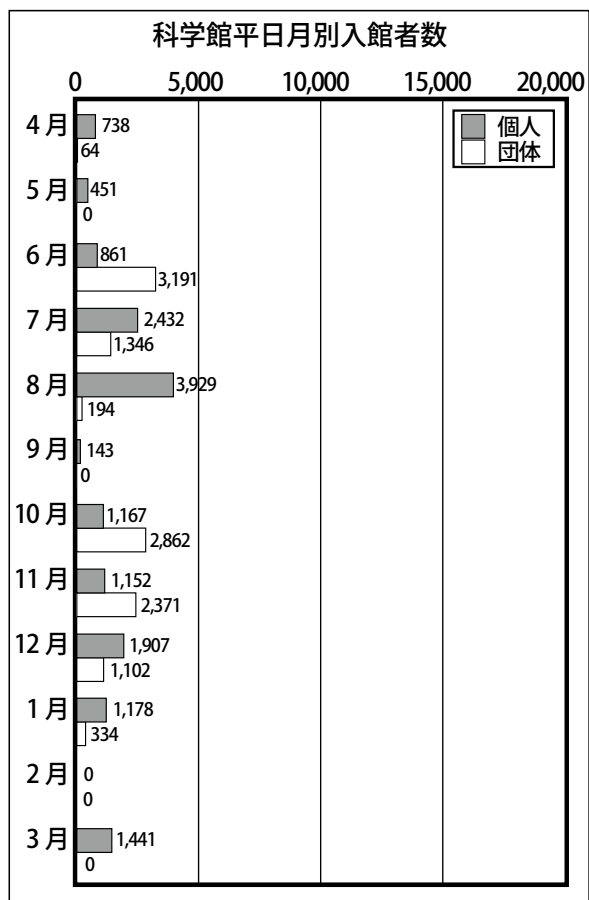
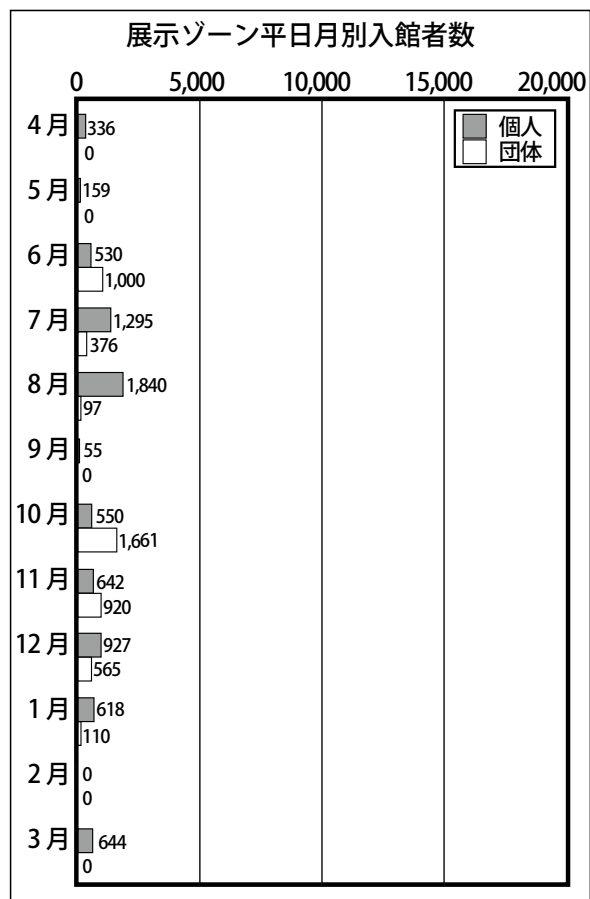
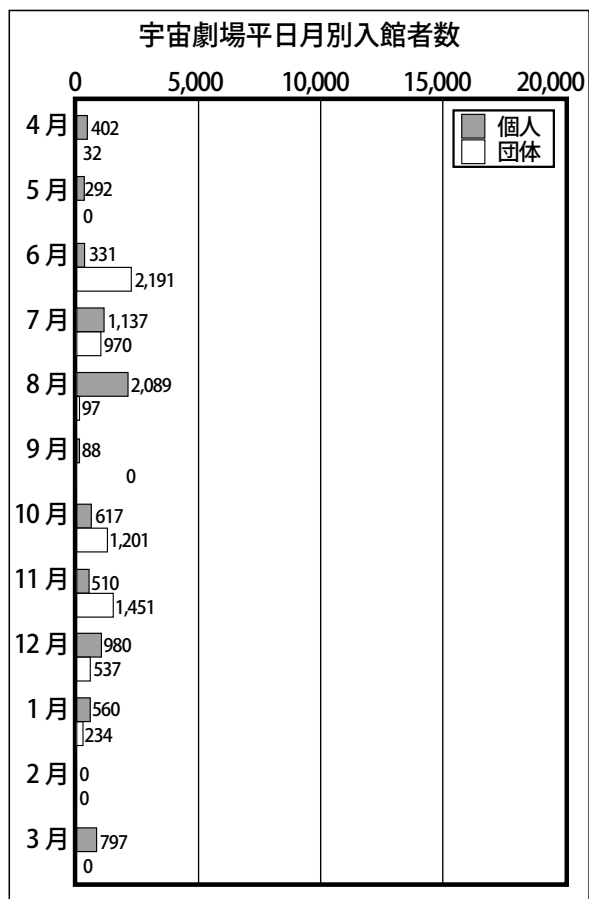
(単位：人)

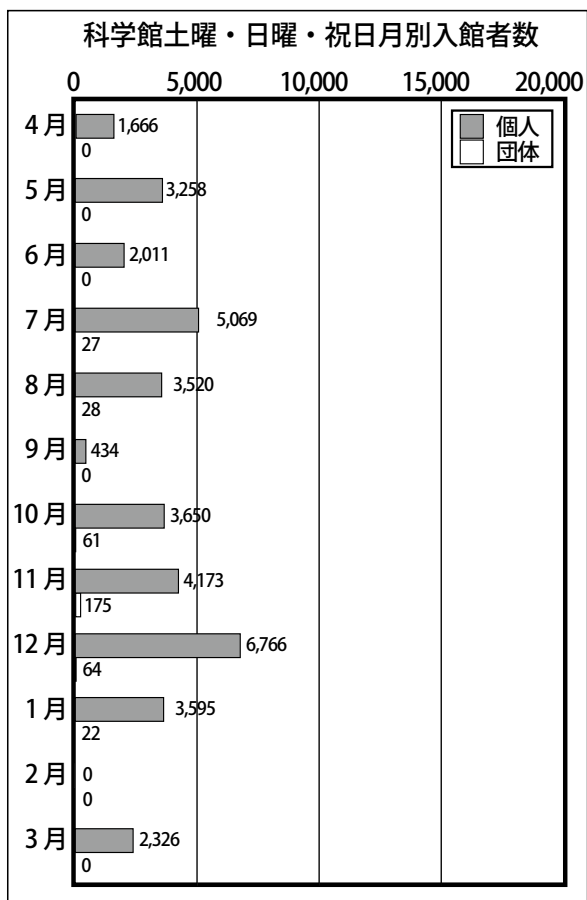
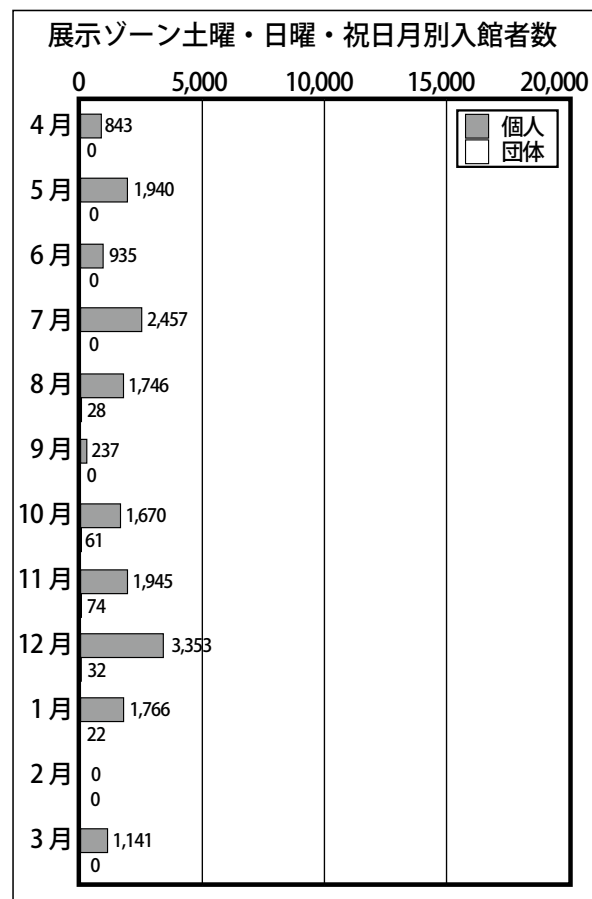
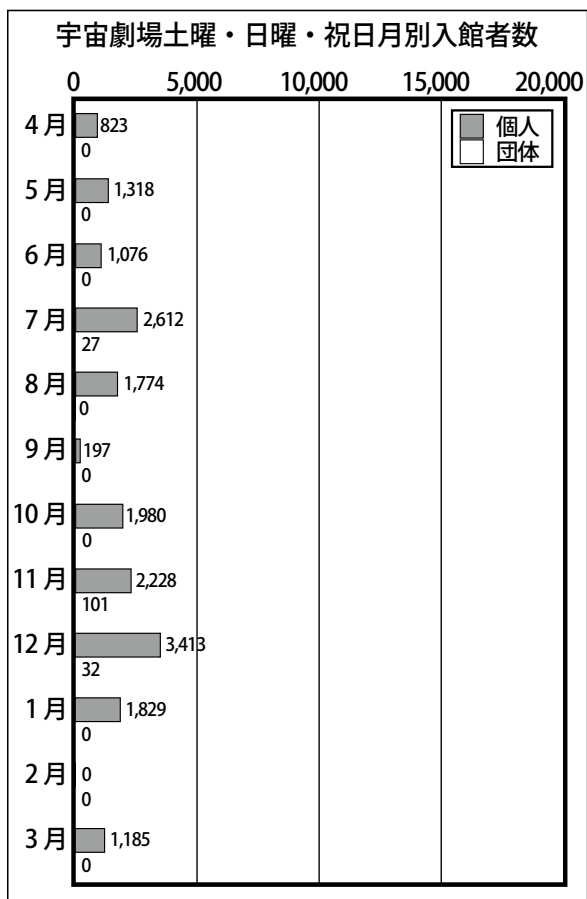
月	平日					土曜・日曜・祝日					合計				
	日数	個人	1日平均	団体	1日平均	日数	個人	1日平均	団体	1日平均	日数	個人	1日平均	団体	1日平均
4月	17	336	20	32	2	9	843	94	0	0	26	1,179	45	32	1
5月	14	159	11	0	0	13	1,940	149	0	0	27	2,099	78	0	0
6月	18	530	29	1,000	56	8	935	117	0	0	26	1,465	56	1,000	40
7月	17	1,295	76	376	22	11	2,457	223	0	0	28	3,752	134	376	7
8月	14	1,840	131	97	7	8	1,746	218	28	4	22	3,586	163	125	1
9月	4	55	14	0	0	2	237	119	0	0	6	292	49	0	0
10月	17	550	32	1,661	98	10	1,670	167	61	6	27	2,220	82	1,722	12
11月	15	642	43	920	61	10	1,945	195	74	7	25	2,587	103	994	14
12月	16	927	58	565	35	11	3,353	305	32	3	27	4,280	159	597	3
1月	8	618	77	110	14	10	1,766	177	22	2	18	2,384	132	132	2
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	14	644	46	0	0	9	1,141	127	0	0	21	1,785	85	0	0
合計	154	7,596	49	4,761	31	101	18,033	179	217	2	253	25,629	101	4,978	20

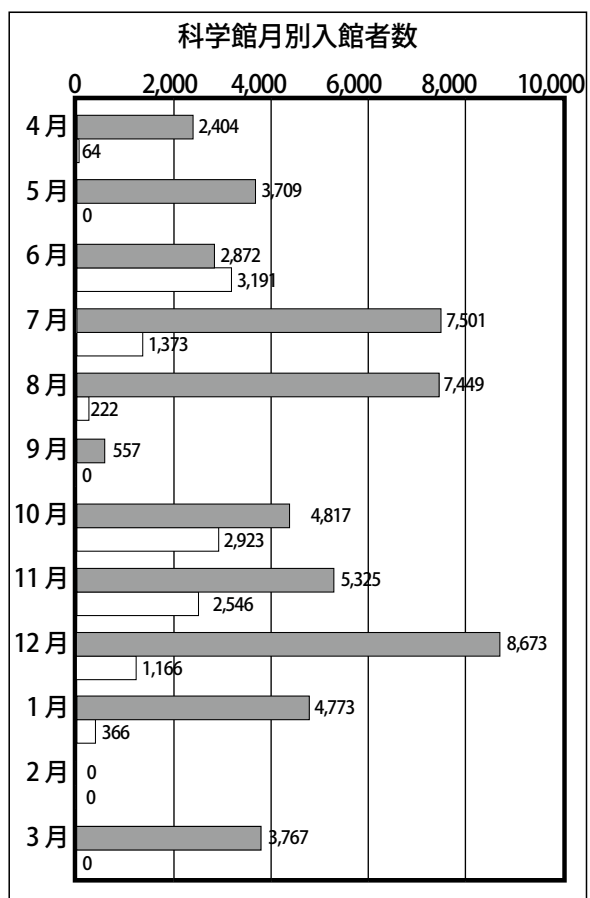
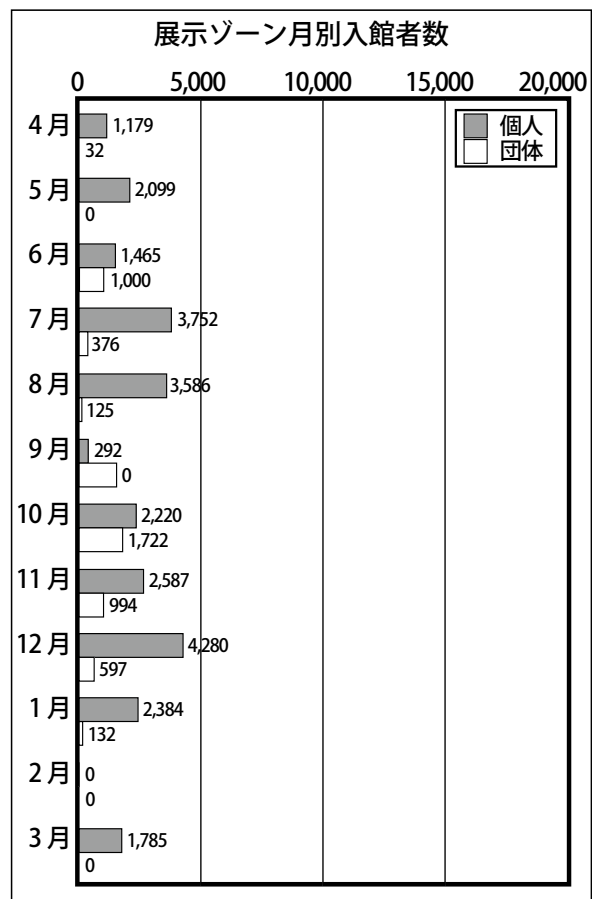
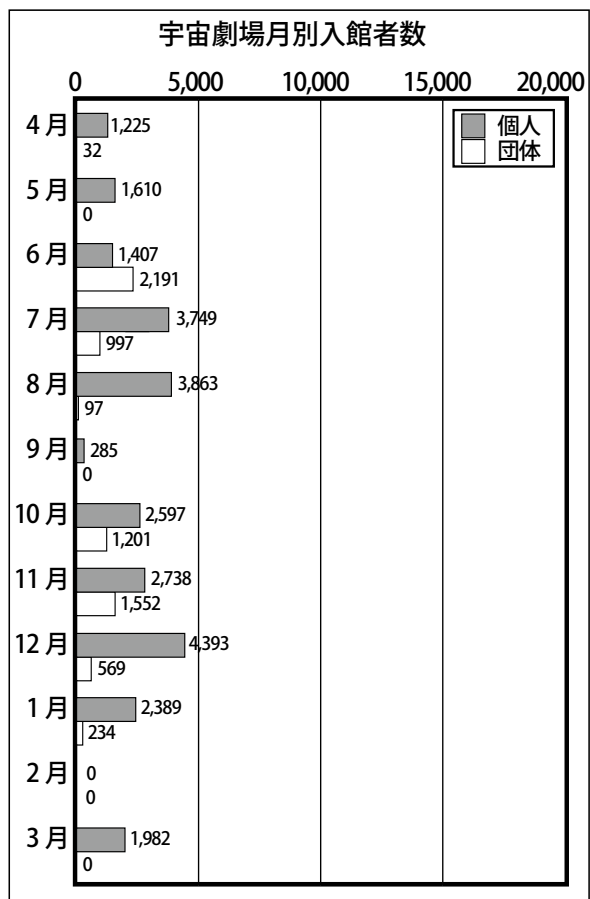
合計

(単位：人)

月	平日					土曜・日曜・祝日					合計				
	日数	個人	1日平均	団体	1日平均	日数	個人	1日平均	団体	1日平均	日数	個人	1日平均	団体	1日平均
4月	17	738	43	64	4	9	1,666	185	0	0	26	2,404	92	64	1
5月	14	451	32	0	0	13	3,258	251	0	0	27	3,709	137	0	0
6月	18	861	48	3,191	177	8	2,011	251	0	0	26	2,872	110	3,191	40
7月	17	2,432	143	1,346	79	11	5,069	461	27	2	28	7,501	268	1,373	7
8月	14	3,929	281	194	14	8	3,520	440	28	4	22	7,449	339	222	1
9月	4	143	36	0	0	2	434	217	0	0	6	577	96	0	0
10月	17	1,167	69	2,862	168	10	3,650	365	61	6	27	4,817	178	2,923	12
11月	15	1,152	77	2,371	158	10	4,173	417	175	18	25	5,325	213	2,546	14
12月	16	1,907	119	1,102	69	11	6,766	615	64	6	27	8,673	321	1,166	3
1月	8	1,178	147	344	43	10	3,595	360	22	2	18	4,773	265	366	2
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	14	1,441	103	0	0	7	2,326	332	0	0	21	3,767	179	0	0
合計	154	15,399	100	11,474	75	99	36,468	368	377	4	253	51,867	205	11,851	47







3 宇宙劇場区分別入館者数

(単位：人)

月	個 人						計
	幼児	小中学生	高校 大学生等	一般 (65歳未満)	一般 (65歳以上)	その他	
4月	86	188	93	645	60	153	1,225
5月	102	279	101	881	69	178	1,610
6月	128	219	117	685	49	209	1,407
7月	456	893	189	1,726	109	376	3,749
8月	380	1,027	322	1,668	122	344	3,863
9月	26	32	27	156	14	30	285
10月	238	451	145	1,264	107	392	2,597
11月	221	461	155	1,303	172	426	2,738
12月	433	826	331	2,167	208	428	4,393
1月	268	449	184	1,122	107	259	2,389
2月	0	0	0	0	0	0	0
3月	198	363	233	859	129	200	1,982
合 計	2,536	5,188	1,897	12,476	1,146	2,995	26,238

(単位：人)

月	団 体						合 計
	幼児	小中学生	高校 大学生等	一般 (65歳未満)	一般 (65歳以上)	計	
4月	0	30	0	2	0	32	1,257
5月	0	0	0	0	0	0	1,610
6月	661	1,296	0	135	99	2,191	3,598
7月	496	435	0	64	2	997	4,746
8月	0	92	0	5	0	97	3,960
9月	0	0	0	0	0	0	285
10月	156	986	0	58	1	1,201	3,798
11月	393	1,077	0	74	8	1,552	4,290
12月	83	421	33	32	0	569	4,962
1月	117	108	0	9	0	234	2,623
2月	0	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0	0	1,982
合 計	1,906	4,445	33	379	110	6,873	33,111

(単位：団体)

月	幼児	小中学生	高校 大学生等	一般 (65歳未満)	一般 (65歳以上)	その他	計
4月	0	0	0	0	0	1	1
5月	0	0	0	0	0	0	0
6月	17	24	0	0	0	3	44
7月	15	8	0	0	0	0	23
8月	0	0	0	0	0	3	3
9月	0	0	0	0	0	0	0
10月	4	22	0	0	0	0	26
11月	8	17	0	0	0	2	27
12月	2	6	1	0	0	1	10
1月	1	1	0	0	0	1	3
2月	0	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0	0	0
合 計	47	78	1	0	0	11	137

4 展示ゾーン区分別入館者数

(単位：人)

月	個 人				
	小中学生	高校 大学生等	一般 (65歳未満)	その他	計
4月	293	50	546	290	1,179
5月	568	89	974	468	2,099
6月	282	68	551	564	1,465
7月	1,030	112	1,548	1,062	3,752
8月	1,072	163	1,577	774	3,586
9月	69	15	137	71	292
10月	470	66	961	723	2,220
11月	587	69	1,033	898	2,587
12月	1,046	141	1,847	1,246	4,280
1月	568	88	1,014	714	2,384
2月	0	0	0	0	0
3月	457	142	741	445	1,785
合 計	6,442	1,003	10,929	7,255	25,629

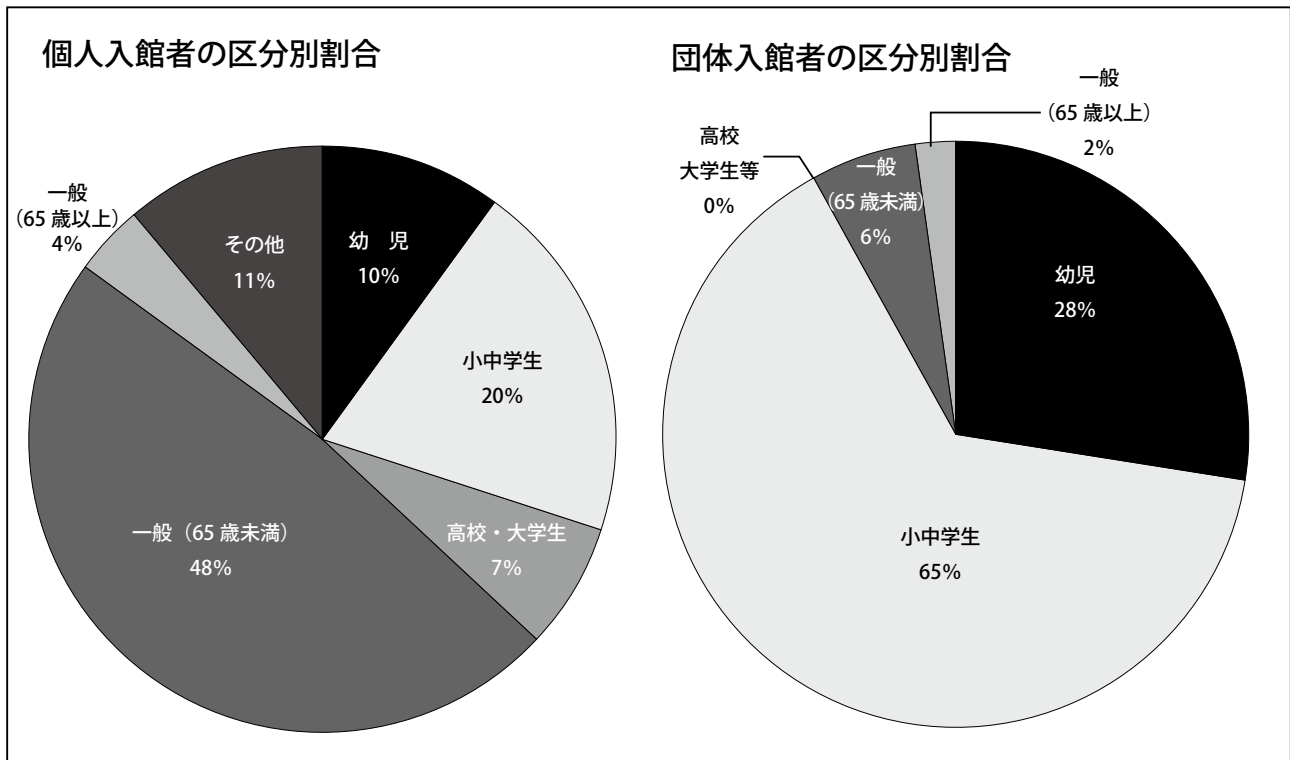
(単位：人)

月	団 体				合 計
	小中学生	高校 大学生等	一般 (65歳未満)	計	
4月	30	0	2	32	1,211
5月	0	0	0	0	2,099
6月	943	0	57	1,000	2,465
7月	353	0	23	376	4,128
8月	95	0	30	125	3,711
9月	0	0	0	0	292
10月	1,661	0	61	1,722	3,942
11月	938	0	56	994	3,581
12月	471	102	24	597	4,877
1月	128	0	4	132	2,516
2月	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	1,785
合 計	4,619	102	257	4,978	30,607

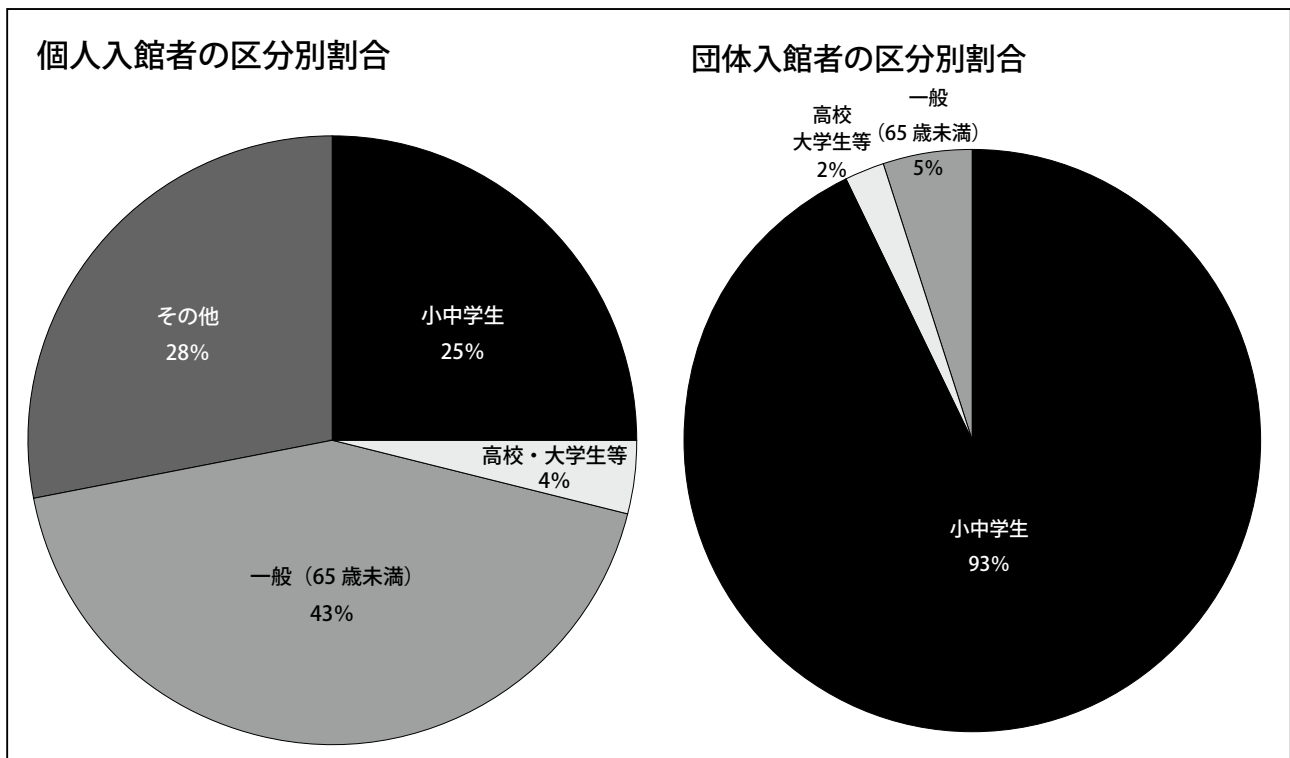
(単位：団体)

月	小中学生	高校 大学生等	一般 (65歳未満)	その他	計
4月	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0
6月	18	0	0	1	19
7月	6	0	0	0	6
8月	0	0	0	4	4
9月	0	0	0	0	0
10月	31	0	0	0	31
11月	16	0	0	2	18
12月	6	3	0	1	10
1月	1	0	0	2	3
2月	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0
合 計	78	3	0	10	91

宇宙劇場入館者の区分別割合



展示ゾーン入館者の区分別割合



5 平成 28 年度から令和 2 年度までの入館者数の変遷

平成 28 年度

(単位：人)

月	展望ロビー	宇宙劇場	展示ゾーン	科学館入館者数
平成 28 年4月	13,975	3,920	3,680	7,600
5月	17,862	5,559	5,328	10,887
6月	15,551	5,953	5,056	11,009
7月	25,020	12,083	7,359	19,442
8月	32,803	14,269	9,909	24,178
9月	17,406	6,520	5,645	12,165
10月	26,197	5,952	17,728	23,680
11月	12,985	3,131	2,673	5,804
12月	28,308	5,220	11,896	17,116
平成 29 年1月	19,048	3,791	8,646	12,437
2月	11,985	3,337	2,330	5,667
3月	19,747	7,305	4,934	12,239
合計	240,887	77,040	85,184	162,224

平成 29 年度

(単位：人)

月	展望ロビー	宇宙劇場	展示ゾーン	科学館入館者数
平成 28 年4月	13,975	3,920	3,680	7,600
5月	17,862	5,559	5,328	10,887
6月	15,551	5,953	5,056	11,009
7月	25,020	12,083	7,359	19,442
8月	32,803	14,269	9,909	24,178
9月	17,406	6,520	5,645	12,165
10月	26,197	5,952	17,728	23,680
11月	12,985	3,131	2,673	5,804
12月	28,308	5,220	11,896	17,116
平成 29 年1月	19,048	3,791	8,646	12,437
2月	11,985	3,337	2,330	5,667
3月	19,747	7,305	4,934	12,239
合 計	240,887	77,040	85,184	162,224

平成 30 年度

(単位：人)

月	展望ロビー	宇宙劇場	展示ゾーン	科学館入館者数
平成 30 年4月	12,909	2,917	3,160	6,077
5月	15,064	3,553	4,613	8,166
6月	14,764	5,179	5,170	10,349
7月	20,953	8,558	6,965	15,523
8月	30,503	10,680	10,991	21,671
9月	17,307	6,330	5,197	11,527
10月	15,410	3,991	4,852	8,843
11月	13,275	3,828	2,867	6,695
12月	25,818	5,713	11,573	17,286
平成 31 年1月	16,020	3,604	6,745	10,349
2月	12,435	4,805	2,822	7,627
3月	17,563	5,665	4,963	10,628
合計	212,021	64,823	69,918	134,741

令和元年度

(単位：人)

月	展望ロビー	宇宙劇場	展示ゾーン	科学館入館者数
平成 31 年4月	15,298	3,846	4,542	8,388
令和元年5月	14,962	3,738	4,548	8,286
6月	13,290	5,189	4,774	9,963
7月	25,712	8,316	11,233	19,549
8月	38,322	11,404	16,084	27,488
9月	16,831	5,421	5,293	10,714
10月	11,024	3,003	2,820	5,823
11月	11,959	2,703	2,545	5,248
12月	22,076	6,180	8,190	14,370
令和2年1月	14,907	4,448	5,207	9,655
2月	10,587	2,080	2,769	4,849
3月	0	0	870	870
合計	194,968	56,328	68,875	125,203

令和 2 年度

(単位：人)

月	展望ロビー	宇宙劇場	展示ゾーン	科学館入館者数
令和2年4月	0	0	78	78
5月	1,833	259	156	415
6月	5,790	1,569	1,047	2,616
7月	9,397	3,320	2,136	5,456
8月	14,116	6,374	4,187	10,561
9月	11,804	4,566	3,794	8,360
10月	10,124	2,586	2,614	5,200
11月	11,401	3,027	2,271	5,298
12月	11,031	2,609	2,004	4,613
令和3年1月	6,422	1,496	1,191	2,687
2月	6,488	1,623	1,186	2,809
3月	9,672	1,801	1,663	3,464
合計	98,078	29,230	22,327	51,557

6 令和3年度施設利用状況の結果分析

(1) 月別入館者

☆有料ゾーン入館者数

○令和3年度：63,718人（前年度：51,557人）

○前年度比：約23.5%増（12,161人増）

☆展望ロビー入館者数

○令和3年度：117,301人（前年度：98,078人）

○前年度比：約19.5%増（19,223人増）

☆月別平均入館者数

○有料ゾーン：5,309人（前年度：4,296人）

○展望ロビー：9,775人（前年度：8,173人）

○展望ロビーから有料ゾーンへの入館率：約54.3%

（前年度比：約1.7%増 ※前年度：約52.6%）

☆有料ゾーン月別入館者割合

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
3.9%	5.8%	9.5%	14%	12%	1%	12.1%	12.3%	15.4%	8%	0%	6%

☆有料ゾーン月別入館者前年度比

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
3164.1%	893.7%	231.7%	162.6%	72.6%	6.9%	148.8%	148.5%	213.2%	191.2%	0%	108.7%

(2) 施設別（宇宙劇場／展示ゾーン）入館者

☆宇宙劇場入館者数（前年度：29,230人）

○令和3年度：33,111人 ○前年度比：約13.2%増

☆展示ゾーン入館者数（前年度：22,327人）

○令和3年度：30,607人 ○前年度比：約37%増

(3) 来館形態別（個人／団体）入館者

☆個人利用者数（前年度：41,452人）

○令和3年度：51,867人 ○前年度比：約25.1%増

☆団体利用者数（前年度：10,105人）

○令和3年度：11,851人 ○前年度比：約17.2%増

☆来館形態比

○個人：約81.4%（前年度：約80.4%）

○団体：約18.6%（前年度：約19.6%）

☆利用傾向（平日／土・日・祝）

○平日：約42.2%（前年度：約44.5%）

○土・日・祝：約57.8%（前年度：約55.5%）

(4) 区分別（幼児／小・中学生／高校・大学生／一般）入館者

☆宇宙劇場区分別入館者数（割合 ※総数：33,111 人）

- 幼児：4,442 人（約 13.4%） 内訳＝個人：2,536 人 団体：1,906 人
- 小・中学生：9,633 人（約 29.1%） 内訳＝個人：5,188 人 団体：4,445 人
- 高校・大学生：1,930 人（約 5.8%） 内訳＝個人：1,897 人 団体：33 人
- 一般（65 歳未満）：12,855 人（約 38.8%） 内訳＝個人：12,476 人 団体：379 人
- 一般（65 歳以上）：1,256 人（約 3.8%） 内訳＝個人：1,146 人 団体：110 人
- その他（障がい者 など）：2,995 人（約 9.1%）

☆展示ゾーン区分別入館者数（割合 ※総数：30,607 人）

- 小・中学生：11,061 人（約 36.1%） 内訳＝個人：6,442 人 団体：4,619 人
- 高校・大学生：1,105 人（約 3.6%） 内訳＝個人：1,003 人 団体：102 人
- 一般（65 歳未満）：11,186 人（約 36.6%） 内訳＝個人：10,929 人 団体：257 人
- その他（幼児、障がい者など）：7,255 人（約 23.7%）

有料ゾーン（宇宙劇場、展示ゾーン）の入館者を区分別に見た場合、例年どおり、個人利用では「一般（65 歳未満）」、団体利用では「小・中学生」の利用が最も多い結果となりました。

宇宙劇場と展示ゾーンの個人と団体を含めた全体では、「一般（65 歳未満）」が最も多く約 37.7%、次いで「小・中学生」約 32.5%と、昨年度と同様に「一般（65 歳未満）」が多い結果となりました。

(5) 総括

施設利用状況は、前年度に比べ入館者合計が 63,718 人で約 23.5%増、宇宙劇場及び展示ゾーンの施設利用料金収入額合計が 12,474,380 円で約 22.1%増、展望ロビーにおける施設利用料金が 637,200 円と前年度と比べ約 36.4%の増となりました。

入館者数、宇宙劇場・展示ゾーン及び展望ロビーの施設利用料金収入が増加したのは、新型コロナウイルスワクチン接種が進み感染者数が落ち着いた 10 月から 12 月までの入館者が前年同時期の 15,111 人から 25,450 人と多かったことが大きな要因と考えられます。

しかし、前年度から入館者数及び施設利用料金が増加したとはいえ、コロナ禍前の令和元年度は、入館者数 125,203 人、施設利用料金 24,998,640 円と比較すると 50%程度となっております。

このような状況の中、令和 2 年 4 月からスタートしたおうちでスぺパの配信も 2 年目を迎えました。YouTube、Instagram を活用し天文解説や実験工作の動画などをご覧いただきました。

引き続き、今後も内容の充実を図りながら、幅広い年代層の市民の皆様方に科学館の魅力を発信していくことが必要であると考えております。

そして、コロナ禍前の水準に回復するには、もうしばらく時間が必要ではありますが、館として感染症防止対策を行いながら、事業の実施や開催方法等を検討しながら、

市民の皆様は安全・安心して楽しんでいただける館運営に努めていきたいと考えております。

Ⅷ その他

1 条例・規則

(1) 条例

○郡山市ふれあい科学館条例

平成 13 年 3 月 23 日

郡山市条例第 33 号

(設置)

第 1 条 地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号。以下「法」という。）第 244 条第 1 項の規定に基づき、市民の科学に関する知識と教養の向上を図り、もって文化の発展に寄与するため、郡山市ふれあい科学館（以下「科学館」という。）を設置する。

(名称及び位置)

第 2 条 科学館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
郡山市ふれあい科学館	郡山市駅前二丁目 11 番 1 号

第 3 条 削除

(事業)

第 4 条 科学館は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 科学技術に関する資料及び装置を展示し、並びに利用に供すること。
- (2) プラネタリウムその他の投影装置による天体運行等の投影を行うこと。
- (3) 科学技術及び天文等に関する講習会、講演会等を開催すること。
- (4) 科学技術に関する調査研究を行い、及び科学情報等を提供すること。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、設置の目的を達成するために必要な事業

(開館時間)

第 5 条 科学館の開館時間は、午前 10 時から午後 5 時 45 分（入館は、午後 5 時）までとする。
ただし、科学館の展望ロビーの開館時間は、午前 10 時から午後 8 時までとする。

2 前項の規定にかかわらず、市長が必要と認めたときは、同項に規定する開館時間を臨時に変更することができる。

(休館日)

第 6 条 科学館の休館日は、次に掲げるとおりとする。ただし、展望ロビーは、市長が特に支障がないと認めるときは、科学館の休館日に入館することができる。

- (1) 月曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日にあたる場合は、その翌日とする。）
- (2) 1 月 1 日から 1 月 4 日まで及び 12 月 28 日から 12 月 31 日までの日

2 前項の規定にかかわらず、市長が必要と認めたときは、同項に規定する休館日を臨時に変更し、又は臨時に設けることができる。

(観覧料等)

第7条 科学館の常設展示室又は宇宙劇場に入場し、展示物又は天体運行等の映像を観覧しようとする者は、別表第1に定める観覧料を納入しなければならない。

2 科学館の附属設備等を使用しようとする者は、別表第2に定める使用料を納入しなければならない。

(観覧料の免除)

第8条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、観覧料の全部又は一部を免除することができる。

- (1) 市(市の機関を含む。)が主催する事業の活動として観覧するとき。
- (2) その他市長が特に観覧料を免除する必要があると認めるとき。

(観覧料等の不返還)

第9条 既納の観覧料及び使用料(以下「観覧料等」という。)は、これを返還しない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、その全部又は一部を返還することができる。

- (1) 観覧又は使用をしようとする者の責めによらない理由により観覧又は使用ができなくなったとき。
- (2) その他市長が特別の理由があると認めたとき。

(利用の制限)

第10条 市長(第12条の規定により指定管理者(法第244条の2第3項に規定する指定管理者をいう。以下同じ。)に管理を行わせる場合にあっては、指定管理者)は、科学館に入館しようとする者又は入館している者が次の各号のいずれかに該当すると認めたときは、入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

- (1) 公益を害し、又は善良な風俗を乱すおそれがあるとき。
- (2) 科学館の施設、設備、資料等を汚損し、損傷し、若しくは滅失したとき又はこれらのおそれがあるとき。
- (3) この条例又はこれに基づく規則に違反したとき又はそのおそれがあるとき。
- (4) 前3号に掲げる場合のほか、管理運営上適当でない行為をしたとき又はそのおそれがあるとき。

(入館者の賠償責任)

第11条 科学館に入館した者は施設、設備、資料等を汚損し、損傷し、又は滅失したときは、その損害を賠償しなければならない。ただし、市長がやむを得ない理由があると認めたときは、その額を減額し、又は免除することができる。

(管理の代行)

第12条 市長は、科学館の管理について、次に掲げる業務を指定管理者に行わせることができる。

- (1) 第4条に規定する事業の実施に関する業務
- (2) 第10条に規定する利用の制限に関する業務
- (3) 第19条に規定する利用料金に関する業務
- (4) 施設、設備、資料等の維持管理に関する業務

(指定管理者の募集の公告等)

第13条 市長は、前条の規定により指定管理者に科学館の管理を行わせようとするときは、

あらかじめ規則で定める事項を公告するものとする。ただし、指名する法人その他の団体又は指名する複数の団体のうちから選定したものを指定管理者として指定しようとする場合は、この限りでない。

(指定管理者の申請)

第14条 指定管理者の指定を受けようとする団体は、規則で定めるところにより、申請書に科学館の管理の実施に関する計画書（以下「事業計画書」という。）等を添付して市長に申請しなければならない。

2 指定管理者の指定を受けることができる団体は、次の各号に掲げる要件のいずれにも該当する団体とする。ただし、法第244条の2第11項の規定により指定管理者の指定を取り消された団体にあつては、前条の規定による公告又は指名の日において、当該取消しの日の翌日から起算して2年を経過していなければならない。

- (1) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4に規定する者に該当しないこと。
- (2) 会社更生法（平成14年法律第154号）、民事再生法（平成11年法律第225号）等による更生手続又は再生手続を行っていないこと。
- (3) 郡山市税を滞納していないこと。
- (4) その他規則で定める要件

(指定管理者の選定)

第15条 市長は、前条第1項の規定による申請があつたときは、事業計画書等の内容を次に掲げる基準により審査し、科学館の管理を行うことについて適当と認める団体を、指定管理者の候補となる団体に選定するものとする。

- (1) 科学館における市民の平等な利用を確保できるものであること。
- (2) 科学館の効用を最大限に発揮できるものであること。
- (3) 科学館の管理に係る経費の節減を図ることができるものであること。
- (4) 科学館の管理を安定して行うために必要な人的能力、物的能力その他の経営上の基盤を有していること。
- (5) 申請した団体が科学館の管理に伴い作成し、又は取得した個人情報の保護のための適切な措置を講じることができるものであること。
- (6) その他市長が科学館の設置の目的を効果的に達成するために必要があると認めて定める基準

2 市長は、前項の規定により選定をしたときは、速やかにその結果を前条第1項の規定により申請した団体に通知しなければならない。

(指定管理者の指定)

第16条 市長は、前条第1項の規定により選定した指定管理者の候補となる団体について、議会の議決を経たときは、当該団体を指定管理者に指定するものとする。

2 市長は、前項の規定により指定管理者を指定する場合において、科学館の管理運営上必要な条件を付することができる。

(協定の締結)

第17条 指定管理者は、指定管理者の指定の期間の開始前に、科学館の管理に関し、

規則で定める事項について市長と協定を締結しなければならない。

(事業報告書の提出)

第18条 法第244条の2第7項の規定による事業報告書の提出は、毎年度終了後60日(同条第11項の規定により指定管理者の指定を取り消された団体にあつては、その取り消された日の翌日から起算して60日)以内にしなければならない。

(利用料金)

第19条 観覧又は使用をしようとする者は、指定管理者に対し、科学館の利用に係る料金(以下「利用料金」という。)を納入しなければならない。この場合において、第7条の規定は適用しない。

2 利用料金は、指定管理者の収入として収受させる。

3 利用料金の額は、観覧料等の額の範囲内において、指定管理者があらかじめ市長の承認を得てそれぞれ定める。

4 指定管理者は、前項の規定により観覧料の額の範囲内において利用料金の額を定めたときは、第8条の規定、郡山市障害者の利用に係る公の施設の使用料の免除に関する条例(平成11年郡山市条例第24号)の規定及びこれらの規定に基づく規則の規定並びに第9条の規定及びこれに基づく規則の規定に準じて、当該利用料金の免除及び返還の業務を行わなければならない。この場合において、これらの規定中「観覧料」又は「観覧料及び使用料」とあるのは「利用料金」と、「市長」とあるのは「指定管理者」と読み替えるものとする。

5 指定管理者は、第3項の規定により使用料の額の範囲内において利用料金の額を定めたときは、第9条の規定及びこれに基づく規則の規定に準じて、当該利用料金の返還の業務を行わなければならない。この場合において、これらの規定中「観覧料及び使用料」とあるのは「利用料金」と、「市長」とあるのは「指定管理者」と読み替えるものとする。

6 指定管理者は、第3項の規定により利用料金の額を定めたときは、利用料金を当該指定管理者の収入として収受する旨及びその額又は算出方法等について科学館に入館する者の見やすい方法により公表しなければならない。

(指定等の公告)

第20条 市長は、次に掲げるときは、その旨を公告しなければならない。

(1) 第16条第1項の規定により指定管理者を指定したとき。

(2) 前条第3項の規定により利用料金の額を承認したとき。

(3) 法第244条の2第11項の規定により指定管理者の指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じたとき。

(4) 前3号の規定により公告した事項に変更があったとき。

(開館時間等の変更)

第21条 指定管理者は、必要があると認めるときは、あらかじめ市長の承認を得て、第5条に規定する開館時間を臨時に変更し、又は第6条に規定する休館日を臨時に変更し、若しくは臨時に設けることができる。

(事業計画書等の内容の変更等)

第22条 指定管理者は、第14条第1項の規定により提出した事業計画書その他規則で

定める書類の内容について変更しようとするときは、あらかじめ市長の承認を受けなければならない。ただし、規則で定める軽微な事項を変更しようとするときは、この限りでない。

- 2 指定管理者は、前項ただし書に規定する軽微な事項を変更したときは、市長にその旨を届け出なければならない。

(秘密保持義務)

第 23 条 指定管理者による管理の業務に従事している者又は従事していた者は、科学館の管理の業務に関して知り得た秘密をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に利用してはならない。

(指定管理者の原状回復義務)

第 24 条 指定管理者は、指定管理者の指定の期間が満了したとき又は法第 244 条の 2 第 11 項の規定により指定管理者の指定を取り消され、若しくは期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じられたときは、直ちに施設、設備、資料等を原状に回復し、市長に引き渡さなければならない。ただし、市長の承認を得たときは、この限りでない。

(指定管理者の賠償責任)

第 25 条 指定管理者は、施設、設備、資料等を汚損し、損傷し、又は滅失したときは、その損害を賠償し、又はこれを原状に回復しなければならない。ただし、市長が相当の理由があると認めたときは、その全部又は一部を免除することができる。

(委任)

第 26 条 この条例の施行について必要な事項は、規則で定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、規則で定める日から施行する。
(平成 13 年 6 月 1 日教委規則第 11 号で平成 13 年 10 月 1 日から施行)
(郡山市障害者の利用に係る公の施設の使用料の免除に関する条例の一部改正)
- 2 郡山市障害者の利用に係る公の施設の使用料の免除に関する条例(平成 11 年郡山市条例第 24 号)の一部を次のように改正する。
[次のよう] 略

附 則(平成 15 年郡山市条例第 26 号)

この条例は、平成 15 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 17 年郡山市条例第 68 号)

- 1 この条例は、公布の日から施行する。
- 2 この条例の施行の際現に改正前の第 10 条の規定により委託している郡山市ふれあい科学館の管理及び運営は、改正後の第 16 条第 1 項の規定により指定された指定管理者の指定の期間が開始する日までの間は、なお従前の例による。

附 則(平成 26 年郡山市条例第 62 号)抄

(施行期日)

- 1 この条例は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

(郡山市ふれあい科学館条例の一部改正に伴う経過措置)

- 6 施行日前に改正前の郡山市ふれあい科学館条例の規定によりなされた手続、処分その他の行為は、第5条の規定による改正後の郡山市ふれあい科学館条例の相当規定によりなされた手続、処分その他の行為とみなす。

附 則 (平成29年郡山市条例第47号)

この条例は、平成30年4月1日から施行する。

* 別表以下省略

(2) 規則

○郡山市ふれあい科学館条例施行規則

平成 27 年 3 月 30 日

郡山市規則第 26 号

(趣旨)

第 1 条 この規則は、郡山市ふれあい科学館条例（平成 13 年郡山市条例第 33 号。以下「条例」という。）の施行について必要な事項を定めるものとする。

(観覧券の交付)

第 2 条 市長（条例第 16 条第 1 項の規定により指定された指定管理者の指定の期間中にあっては、指定管理者）は、条例第 7 条第 1 項の規定により観覧料（指定管理者の指定の期間中にあっては、条例第 19 条第 1 項に規定する利用料金）を納入した者に対して郡山市ふれあい科学館観覧券（第 1 号様式）を交付する。

(観覧料の免除)

第 3 条 条例第 8 条の規定により免除することができる観覧料の額は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定めるとおりとする。

- (1) 条例第 8 条第 1 号に規定する場合 当該観覧料の全額
- (2) 条例第 8 条第 2 号に規定する場合 市長が認める額

2 前項の規定により観覧料の免除を受けようとする者は、あらかじめ郡山市ふれあい科学館観覧料免除申請書（第 2 号様式）を市長に提出しなければならない。

(観覧料等の返還)

第 4 条 条例第 9 条ただし書の規定により返還する観覧料等の額は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定めるとおりとする。

- (1) 条例第 9 条第 1 号に規定する場合 当該観覧料等の全額
- (2) 条例第 9 条第 2 号に規定する場合 市長が認める額

2 前項に規定する観覧料等の返還を受けようとする者は、郡山市ふれあい科学館観覧料等返還請求書（第 3 号様式）を、市長に提出しなければならない。

(遵守事項)

第 5 条 郡山市ふれあい科学館（以下「科学館」という。）において、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 所定の場所以外で飲食し、喫煙し、又は火気を使用しないこと。
- (2) 他に危害又は迷惑を及ぼすおそれのある物品又は動物を持ち込まないこと。
- (3) 風紀及び秩序を乱さないこと。
- (4) その他職員の指示に従うこと。

(募集時の公告事項等)

第 6 条 条例第 13 条の規則で定める事項は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 名称、所在地、構造、規模等の科学館の概要
- (2) 指定管理者が行う管理の基準及び業務の範囲
- (3) 指定管理者の指定の期

- (4) 利用料金に関する事項
 - (5) 指定管理者の指定を受けることができる団体の資格
 - (6) 指定管理者に支出する委託費の額に関する事項
 - (7) 次条第1項に規定する申請書等に関する事項
 - (8) 指定管理者の申請を受け付ける期間
 - (9) 指定管理者の選定の基準及び方法
 - (10) その他市長が必要と認める事項
- 2 条例第13条の規定による公告は、郡山市公告式条例（昭和40年郡山市条例第2号）第2条第2項の掲示場に掲示することにより行うものとする。
- （申請書等）**
- 第7条 条例第14条第1項の規定による申請は、指定申請書（第4号様式）に次に掲げる書類を添付して行うものとする。
- (1) 条例第14条第1項に規定する事業計画書
 - (2) 科学館の管理の業務に関する収支予算書
 - (3) 定款、寄附行為又はこれらに準じる規約を記載した書類
 - (4) 法人にあっては、登記事項証明書
 - (5) 法人でない団体にあっては、役員の氏名及び住所を記載した書類
 - (6) 申請の日の属する事業年度の直近2事業年度における貸借対照表、損益計算書その他の団体の財務の状況を明らかにすることができる書類
 - (7) 申請の日の属する事業年度の直近2事業年度における団体の事業の内容を明らかにすることができる書類
 - (8) 納税証明書等郡山市税に係る団体の納税状況を証する書類その他これらに準じる書類
 - (9) その他市長が必要と認める書類
- 2 条例第14条第2項第4号の規則で定める要件は、次に掲げるとおりとする。
- (1) 申請した団体の取締役、執行役その他これらに準ずべき者のうちに次のいずれかに該当する者がいないこと。
 - ア 破産者で復権を得ないもの
 - イ 指定管理者の指定を取り消された団体において、当該取消しの日前30日以内にその取締役、執行役その他これらに準ずべき者であった者で、条例第13条の規定による公告又は指名の日（以下「公告等の日」という。）において、当該取消しの日から起算して2年を経過しないもの
 - ウ 禁錮以上の刑に処された者で、その執行を終わり、又はその執行を受けることがなくなった日から起算して、公告等の日において2年を経過しないもの
 - エ 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第6号に規定する暴力団員
 - (2) 本市の議会の議員又は市長が取締役、執行役その他これらに準ずべき者を務める団体（市長にあっては、市が資本金、基本金その他これらに準ずるものの2分の1以上を出資し、又は出えんしている法人を除く。）でないこと。
 - (3) 市長が必要と認める資格を有する者を配置できること。

(選定通知)

第8条 条例第15条第2項の規定による通知は、選定結果通知書（第5号様式）によるものとする。

(指定通知)

第9条 条例第16条第1項の規定により指定をするときは、指定通知書（第6号様式）により申請した団体に通知するものとする。

(協定締結事項)

第10条 条例第17条の規則で定める事項は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 条例第14条第1項に規定する事業計画書に記載された事項
- (2) 指定管理者に支出する委託費の額に関する事項
- (3) 科学館の管理に伴い取得し、又は作成した個人情報の保護及び情報の公開に関する事項
- (4) 事業報告に関する事項
- (5) 利用料金に関する事項
- (6) 指定管理者の指定の取消し及び管理の業務の停止に関する事項
- (7) その他市長が必要と認める事項

(事業計画書等の変更)

第11条 条例第22条第1項ただし書の規則で定める軽微な事項は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 指定管理者の本店、支店、事務所等の所在地の変更
- (2) 指定管理者の取締役、執行役その他これらに準ずべき者の変更
- (3) その他市長が軽微であると認める事項

(委任)

第12条 この規則で定めるもののほか必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 この規則の施行の日前に郡山市スポーツ推進委員設置規則等を廃止する規則（平成27年郡山市教育委員会規則第1号）による廃止前の郡山市ふれあい科学館条例施行規則（平成13年郡山市教育委員会規則第12号。以下「廃止前の規則」という。）の規定により交付された定期観覧券は、この規則の規定により交付された定期観覧券とみなす。
- 3 この規則の施行の際現に廃止前の規則の様式の規定に基づき作成されている用紙は、当分の間、所要の調整をして使用することができる。

附 則 (平成30年郡山市規則第26号)

この規則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則 (平成30年郡山市規則第48号)

この規則は、公布の日から施行する。

2 利用案内

<普通観覧料>

区 分	常設展示	宇宙劇場
一 般	400 円	400 円
高校生・大学生等	300 円	300 円
小中学生	200 円	200 円
幼児・65 歳以上	無料	100 円
※宇宙劇場の幼児…座席を使用しない場合は無料 ※団体割引…20 名以上の団体は 20% OFF		

<定期観覧料（ワンイヤーパスポート）>

区 分	常設展示・宇宙劇場共用 (同一人が 1 年間観覧する場合)
一 般	4,000 円
高校生・大学生等	3,000 円
小中学生	2,000 円

<宇宙劇場番組開始時間>

投映回数	平 日	土・日・祝日
1 回目	10 : 15	11 : 00
2 回目	11 : 30	12 : 30
3 回目	14 : 00	14 : 00
4 回目	15 : 30	15 : 30
5 回目		17 : 00
6 回目	19 : 00 ※金曜日のみ（祝日を除く）	
※番組開始時刻は変更になる場合があります。		

<開館時間>

常設展示…10 : 00 ～ 17 : 45（入場は 17 : 00 まで）

宇宙劇場…10 : 00 ～ 17 : 45（入場は 17 : 00 まで）

※金曜日は 10 : 00 ～ 19 : 45（入場は 19 : 00 まで）

<休館日>

毎週月曜日（その日が祝日の場合は、その翌日）、年末年始（12/28 ～ 1/4）

※機器点検等により臨時に休館となる場合有

<展望ロビー>

10 : 00 ～ 20 : 00

3 スペースパークボランティアの会会則

スペースパークボランティアの会会則

(名称・事務所)

第1条 本会は「スペースパークボランティアの会（略称 S.P.V という）」と称し、事務所を郡山市ふれあい科学館（以下「科学館」という）内に置く。

(目的)

第2条 本会は「市民の科学に関する知識と教養の向上を図り、もって文化の発展に寄与する。」という科学館の設置目的に基づき、科学館の協力者として、また生涯学習者として、自主性をもって活動することにより、会員の資質向上と会員相互の交流を図ることを目的とする。

(活動・種別)

第3条 会員は本会の目的を達成するために、次の活動を行う。

- (1) 施設案内や展示の解説・来館者の観覧支援
 - (2) 本会及び科学館主催事業の支援
 - (3) 会員の研鑽及び親睦を図る活動
 - (4) その他必要な活動
- 2 活動は科学館と協議の上、実施する。
- 3 活動項目は、随時拡充していくものとする。
- 4 活動内容により、次の活動グループを置く。
- (1) 案内グループ
 - (2) 科学グループ
 - (3) 天文グループ

(会員)

- 第4条 本会の会員は、スペースパークボランティアの会の登録者をもって構成する。
- 2 会員に会長名で登録証を発行する。
- 3 会員の資格は、1年とする。ただし、登録の更新は妨げない。

(研修)

- 第5条 会員は、活動に必要な所定の研修を受講しなければならない。
- (1) 一般研修 活動を適正かつ円滑に行うための基本研修
 - (2) 専門研修 活動に必要な専門知識を習得するための研修
 - (3) その他会員の資質向上を図るための研修

(役員)

- 第6条 本会に次の役員を置く。
- (1) 会 長 1名

- (2) 副会長 2名
- (3) 運営委員 若干名
- 2 運営委員は、自薦および会員の推薦で選出する。
- 3 会長及び副会長は、運営委員の互選により選出し、総会の承認を得る。
- 4 役員は本会の運営や活動に関し必要な事において、科学館職員の助言を得ることができる。
- 5 役員の任期は1年とし、再任は妨げない。

(職務)

第7条 会長は本会を代表し、会務を統括する。

- 2 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるとき又は欠けたときはその職務を代行する。
- 3 役員は会議に出席し、会務の重要事項の審議とその執行にあたる。

(会議)

第8条 本会の会議は、総会および役員会とし、会長が召集する。

- (1) 総会は原則として年1回開催し、活動報告・計画立案、役員の選出などを協議する。
- (2) 役員会は、必要に応じ開催することができる。
- (3) 総会は、過半数の出席（委任状を含む）により成立する。
- 2 本会に次の部会を置く。
 - (1) 総務部会
 - (2) 企画部会
 - (3) 広報部会

(登録資格の失効)

第9条 会員が次に該当した場合は、登録資格を失う。

- (1) 退会届の提出をした場合
- (2) 特別の理由がなく、6ヶ月以上定められた活動を行わない場合
- (3) 心身の健康上の理由から活動の継続が不可能である場合
- (4) 来館者等への接遇が適切でなく、トラブルを起こした場合
- (5) 政治活動や宗教活動を行った場合
- (6) 本会及び科学館の名誉を傷つけたり、他の会員に著しく迷惑を及ぼした場合
- (7) 営利を目的とした行為を行った場合
- (8) その他、科学館の運営及びボランティア活動に不適切であると認められる場合

(年度)

第10条 この会の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年の3月31日に終わる。

(委任)

第11条 この会則に定めるもののほかに、本会の運営や活動に関し必要な事項は、役員会の総意を得て、別に定める。

(改廃)

第 12 条 この会則は、総会の承認を得なければ改廃できない。

附 則

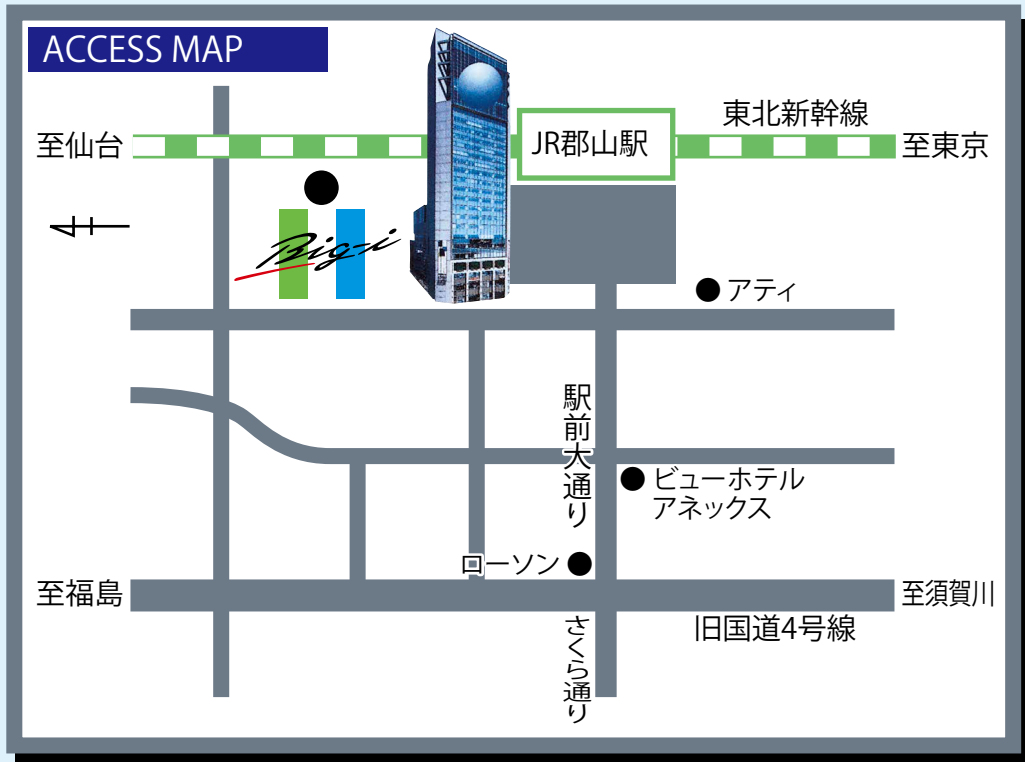
この会則は、平成 16 年 2 月 15 日から施行する。

この会則は、平成 17 年 3 月 13 日から施行する。

この会則は、平成 18 年 3 月 5 日から施行する。

この会則は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

〈アクセスマップ〉



郡山市ふれあい科学館 スペースパーク

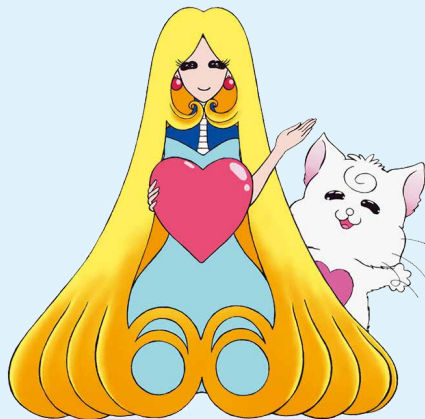
〒963-8002 福島県郡山市駅前二丁目11番1号(ビッグアイ20～24階)

Tel 024-936-0201 Fax 024-936-0089

メールアドレス info@space-park.jp

ウェブサイト <http://www.space-park.jp>

Facebook ・ Instagram ・ YouTube ・ LINE配信中!



エンゼルナ & ミーニャン

©松本零士/郡山市